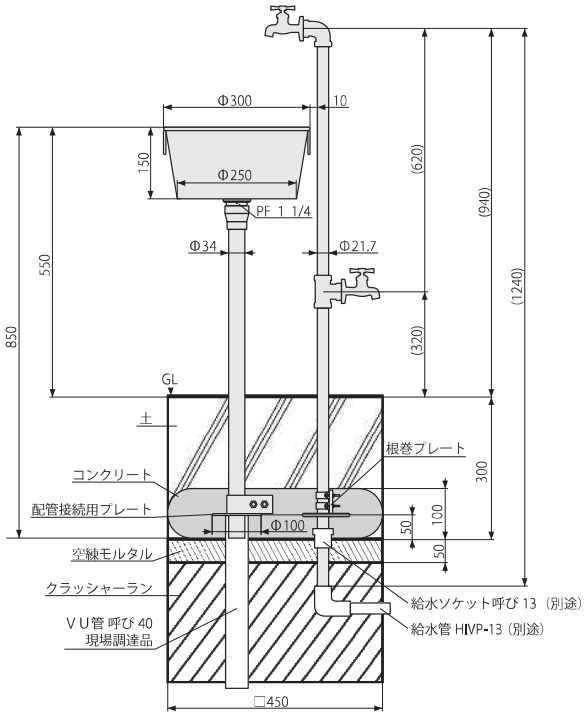
パイプロップ 小庭セット／カモプロップ 小庭セット

施工断面図　寸法図

【パイプロップ 小庭セット】

■ 寸法図･施工断面図

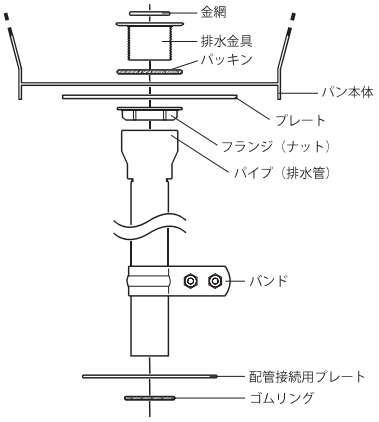


■ 施工方法

バケツパンに付属のフランジ（ナット）が締まっていることを確認します。
パンの下に出た排水金具のネジにシールテープを数周右向きに巻き、支柱となるパイプをねじ込み固定します。

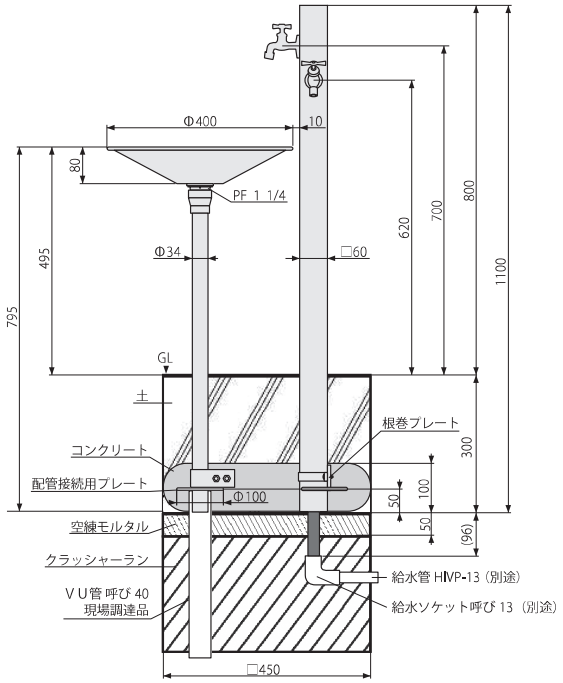
⚠ 排水金具がゆるまないように注意してください。
ゆるんだときは締めなおしてください。

⚠ バケツスタンドパンの特性上，底部に水がたまりますが異常ではありません。バケツは経年により錆が発生します。



【カモプロップ 小庭セット】

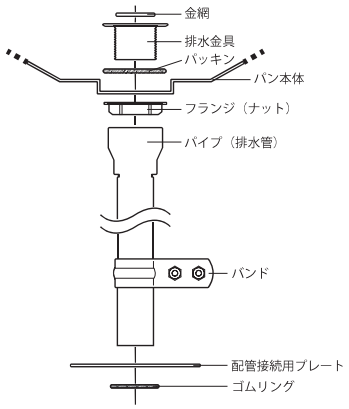
■ 寸法図･施工断面図



■ 施工方法

ステンパンに付属のフランジ（ナット）が締まっていることを確認します。
パンの下に出た排水金具のネジにシールテープを数周右向きに巻き、支柱となるパイプをねじ込み固定します。

⚠ 排水金具がゆるまないように注意してください。
ゆるんだときは締めなおしてください。

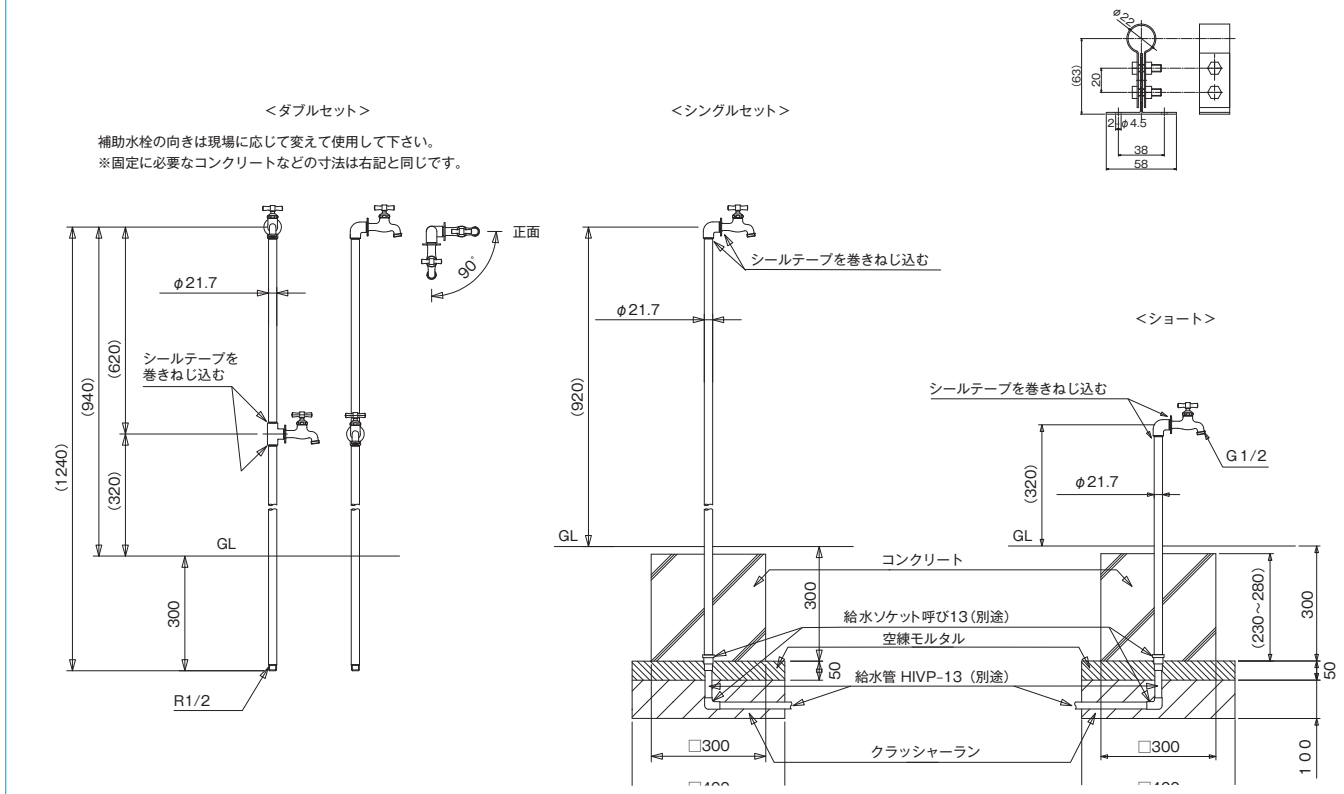


パイプロップ／カモプロップ

施工断面図　寸法図

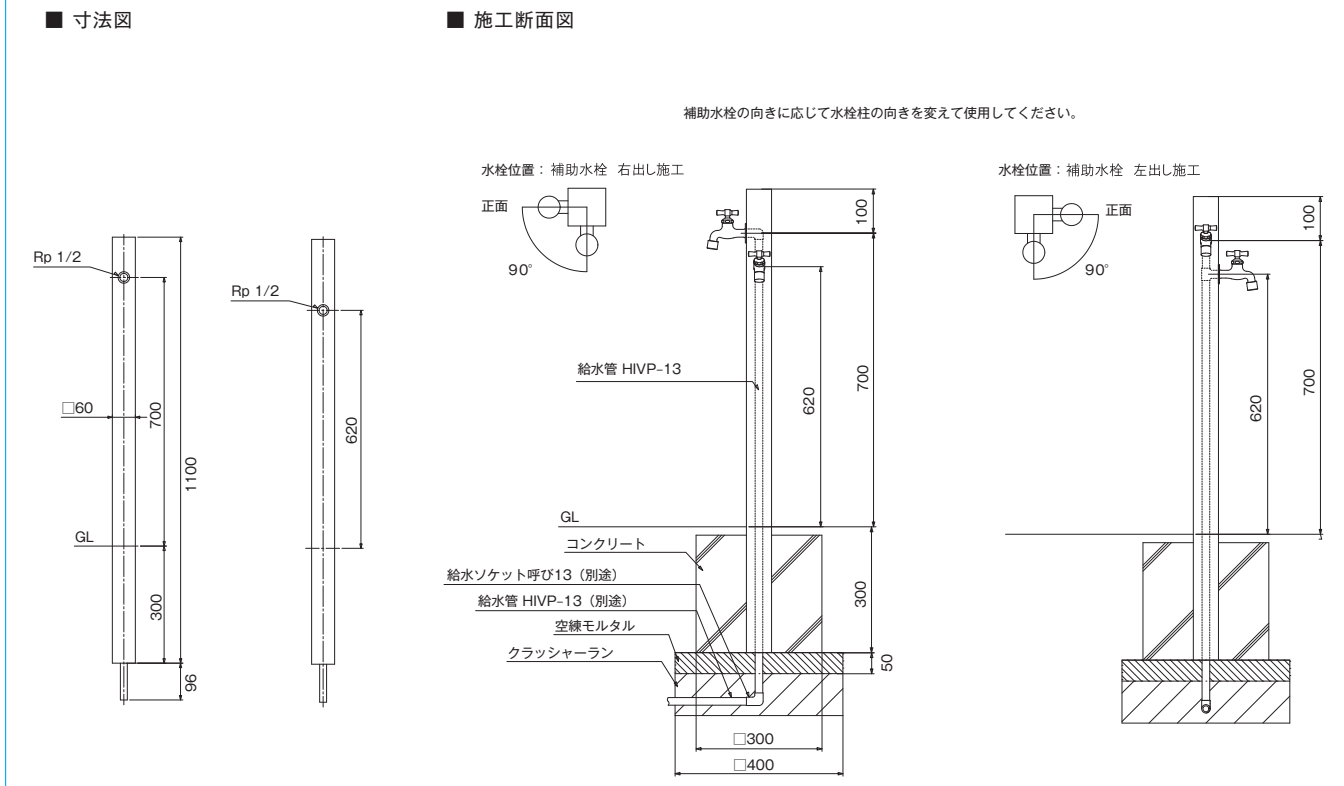
【パイプロップ】

■ 寸法図　■ 施工断面図　■ 支持金具　寸法図



【カモプロップ】

■ 寸法図　■ 施工断面図

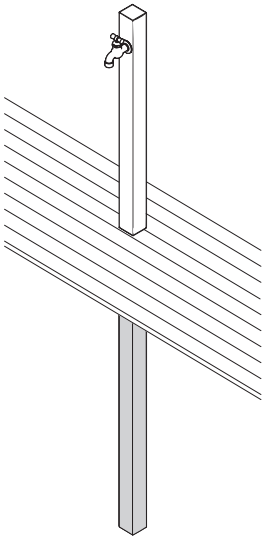


ガーデン

カモプロップ

施工断面図

【カモプロップ ロングセット】

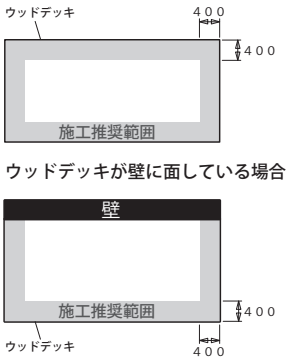


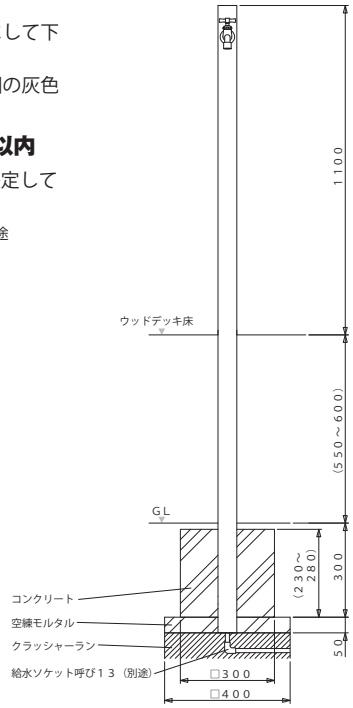
■施工する際にはこの施工寸法図を参考にして下さい。
■本製品を施工する位置については、下図の灰色で示したように

ウッドデッキの端から４００mm以内

を目途に、無理なく施工できる範囲で決定して下さい。

※ウッドデッキへの固定をより確実に行う場合は、 別途「**M5797 ウッドデッキ金具**」をお買い求め下さい。





凍結防止ソケット

施工要領　寸法図

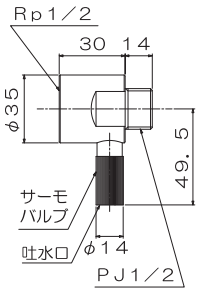
⚠ 使用条件とご注意

本製品にはサーモバルブを採用しております。
その使用条件及び、注意点を以下に示します。

給水圧力	最低必要圧力	0.04MPa
	最高圧力	0.75MPa
	適正圧力	0.2～0.3MPa
使用温度範囲		−15～60℃
開弁温度		2.5±2℃
閉弁温度		5.0℃以下
取付姿勢		排水が垂直下向き

- 取り付けの時は必ず元栓を閉めて作業してください。
- 排水には十分注意してください。（サーモバルブが働いて流れだした水が地面で凍結し、すべって怪我をする恐れがあります。）
- ご使用の水道が、イ．給水圧力0.04～0.75MPa。
  ロ．水道本管の水温（蛇口をあけて１～２分後の水温）が5.0℃以上であること。
- 外気温度が、−15℃以上であること。
- 家庭内に蛇口を取付ける場合、蛇口の周囲温度が0.5℃以下にならず、屋外の温度がマイナスになるような場所では使用できません。（サーモバルブが働かないうちに屋外の配管が凍結する場合があります）
- 本製品の下には、十分な空間を確保してください。サーモバルブの凍結により、凍結防止機構が機能しなくなります。
- 凍結防止のため開いた弁は、感知部の水温が5.0℃以上に上がらない時は水が止まらないことがあります。

■ 外観寸法図



■ 施工手順

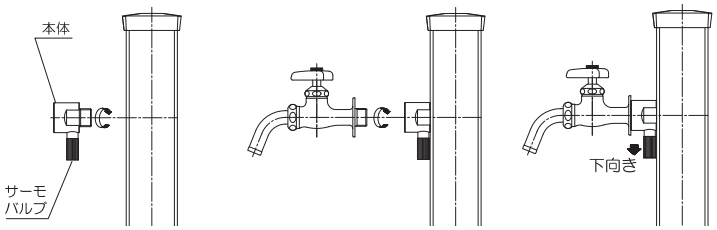
1 本製品をシールテープを用いて、水栓柱に取付ます。

⚠ 必ずサーモバルブの吐水口が垂直下向きになるように取付してください。サーモバルブに無理なカを加えると、破損の恐れがあります。本体の両側を工具で挟んで取付してください。

2 水栓をシールテープを用いて、本製品に取付ます。

★ サーモバルブがずれないよう、製品本体を工具などで挟み込んで固定しながら取付してください。

3 元栓を開き、水漏れがないことを確認してください。

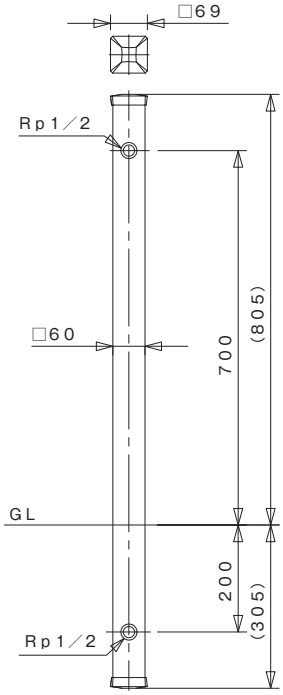


ガーデン

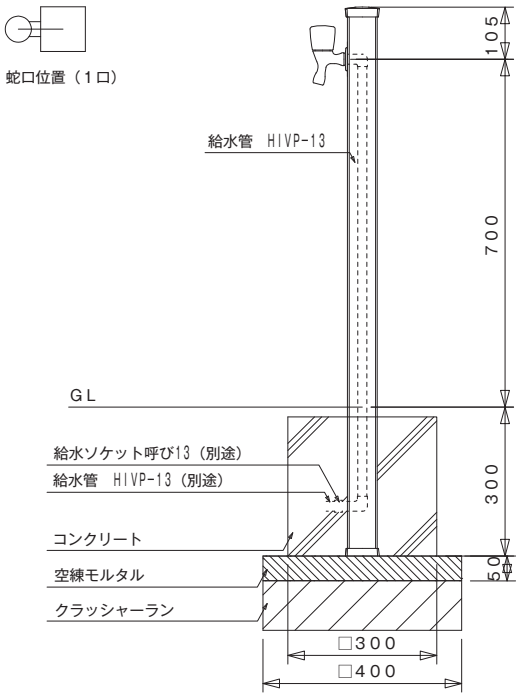
プロッププロップ

施工断面図　寸法図

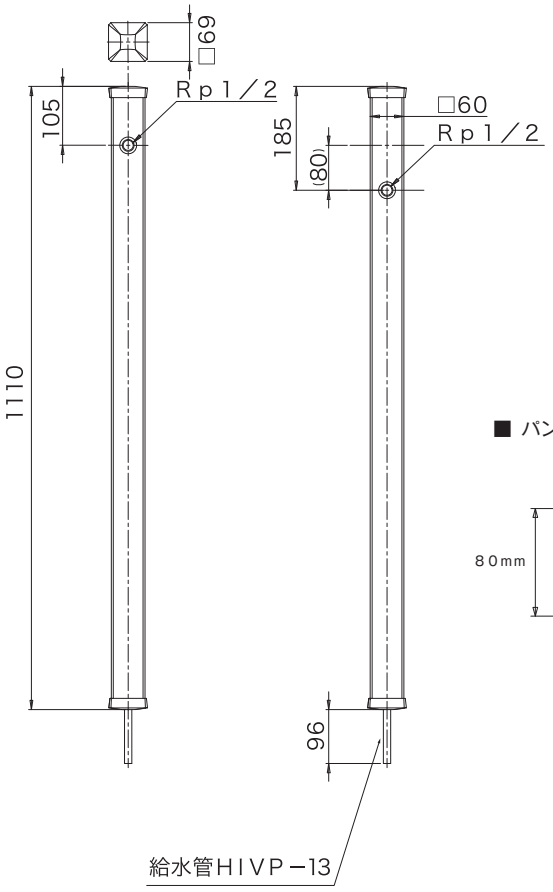
■ 寸法図



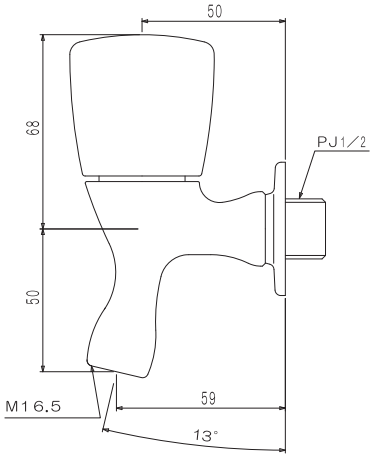
■ 施工断面図



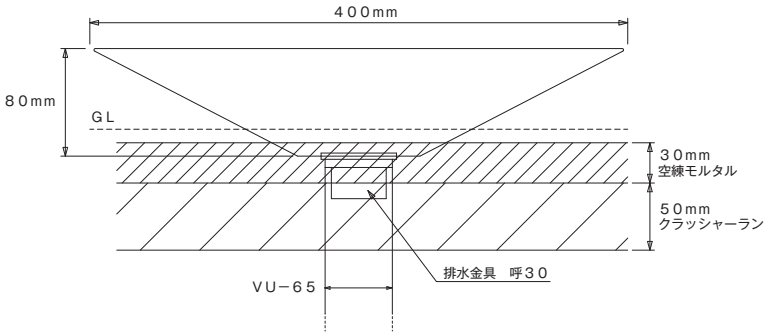
■ 寸法図(ダブル)



■ 陶器水栓 寸法図



■ パン 施工断面図

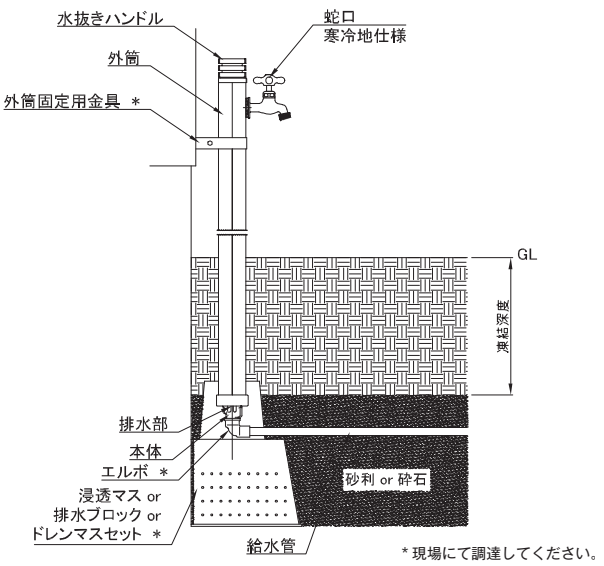


ガーデン

水抜付水栓柱

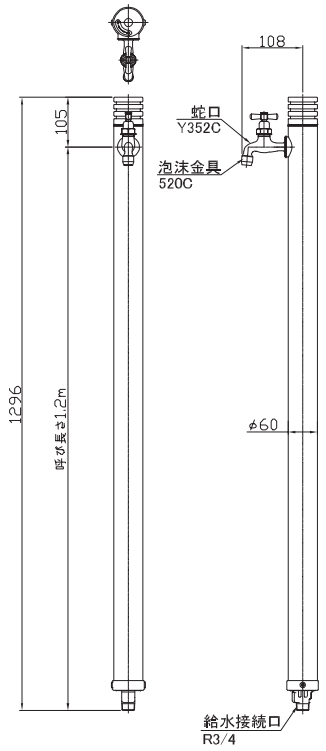
【アンフリ】

■ 施工参考断面図



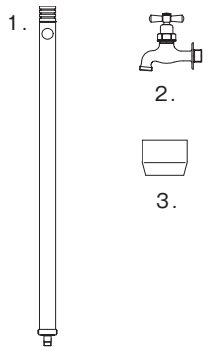
※ 排水部をふさがない。
※ 浸透ます・排水ブロック等を使用して水はけをよくする。
※ 水栓柱上方に、1300mm以上の空間を空ける。

■ 寸法図



■ 納入品

1. 本体
2. 蛇口：ユーロモダン(一文字ハンドル)
3. 泡沫金具



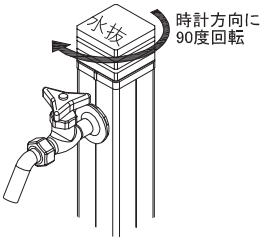
※ 納入品に不足・傷等問題がある場合は、
商品到着後10日以内にご連絡ください。

■ 水抜き操作（凍結防止）

● 水抜き操作をする前に、
必ず蛇口からホースを外してください。

① 水抜きハンドルを右に90度回転させて
”水抜”を正面に合わせます。
② 蛇口を開けると水が抜けます。
（同時に地中にも排出されています）
③ 水抜きが終わったら、蛇口を閉めます。
※ 吸気機構付きなので、万が一蛇口を
開け忘れても水抜きされます。

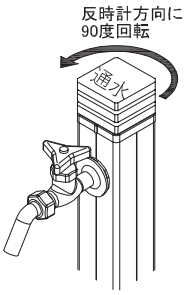
水抜き操作



■ 通水操作

① 水抜きハンドルを左に90度回転させて
”通水”を正面に合わせます。

● 通水操作直後は蛇口から
水が飛び散ることがあります。

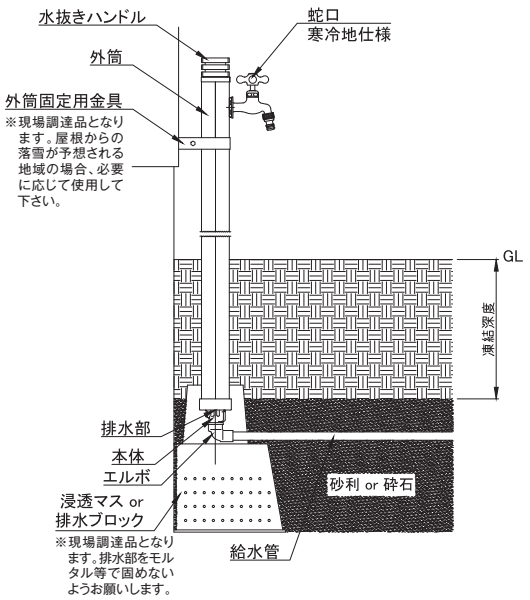


通水操作
(使用時)

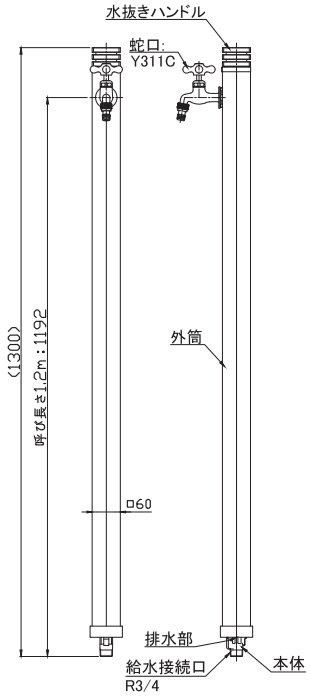
ガーデン

【水抜機能付き水栓柱】

■ 各部名称



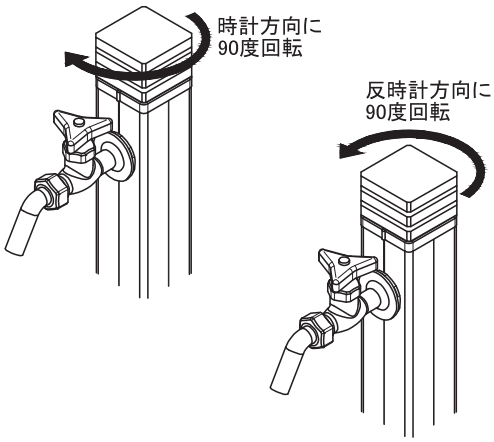
■ 寸法図



■ 水抜き操作（凍結防止）

❗水抜き操作前に、必ずホースを蛇口から外す。

1.水抜きハンドルを右に90度(時計方向に90度)回転させて"水抜"を正面にあわせます。
2.蛇口を開けます。→水が抜けます。
3.水抜きが終わったら、蛇口を閉めます。
4.泡沫金具を蛇口より取外し、水を切って保管下さい。
泡沫金具は吐水部が網のため、水の表面張力で吐水部に水が残り、寒冷期間中、泡沫金具を蛇口に付けたままにすると、凍結により割れが生じる恐れがあります。

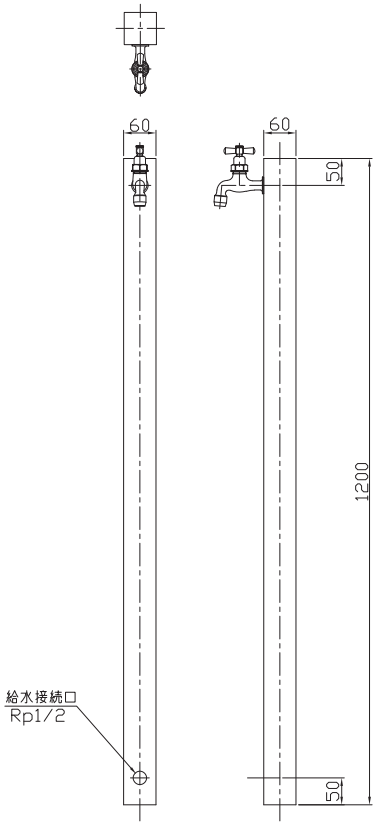


■ 行っていただきたい事項

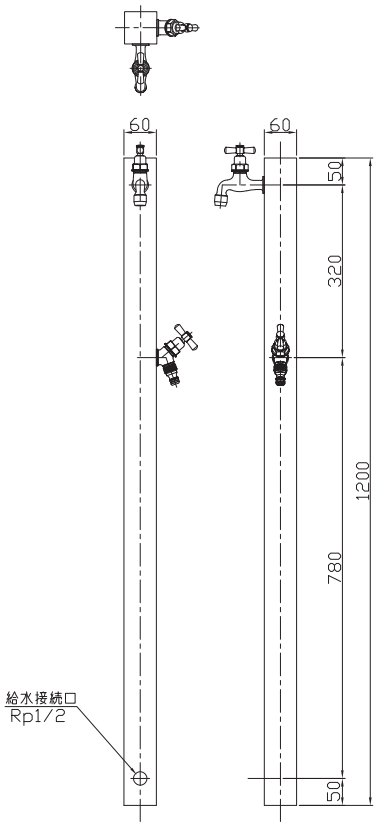
1.冬期間は確実に水抜き操作を行って下さい。凍結が起きると、器具が破損し漏水の恐れがあります。
2.水抜きハンドルは、「全閉」、「全開」の状態でご使用下さい。
3.水抜き操作を行う場合は、必ず蛇口からホースを外して下さい。ホースが付いていると、ホース内の水(汚水)が逆流する恐れがあります。
4.器具保守のため、月に一度程度の割合で操作し、確実に水が抜ける事を確認して下さい。
5.仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外の使用は、器具の破損や性能劣化等が発生する恐れがあります。
6.蛇口を交換する場合は、必ず寒冷地仕様(固定コマ)の蛇口を使用下さい。寒冷地仕様以外の蛇口は、水抜ハンドルを開栓しても蛇口から空気が入らず水が抜けないため、凍結・破損・漏水が発生する恐れがあります。
7.水抜き操作を行った場合でも、蛇口の内部のみが凍る場合があります。このような場合は、蛇口にお湯をかけて解凍することが出来ます。但し、熱湯など非常に高温のお湯をかけますと、蛇口内のパッキンが損傷し、漏水の原因となりますので、60℃以下の温度のお湯で解凍作業を行って下さい。

水栓柱

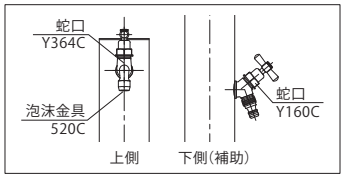
カクサス



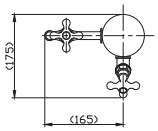
カクサスT

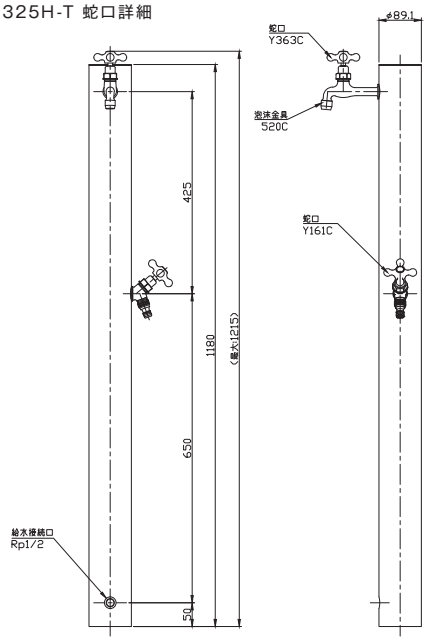


ウォーターポスト 325G-T1/325H-T　※図面は325G-T1です。（蛇口が異なります）

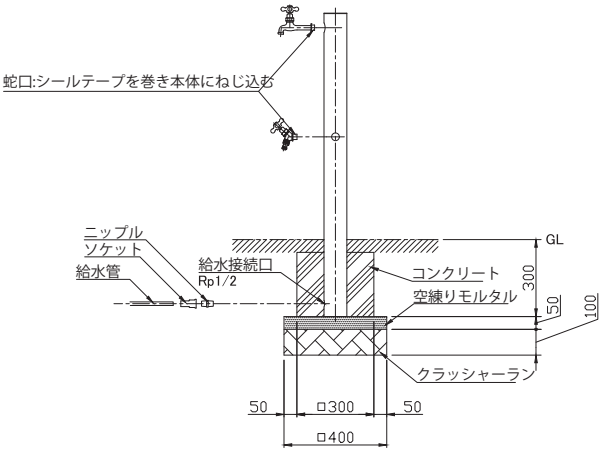


325H-T 蛇口詳細





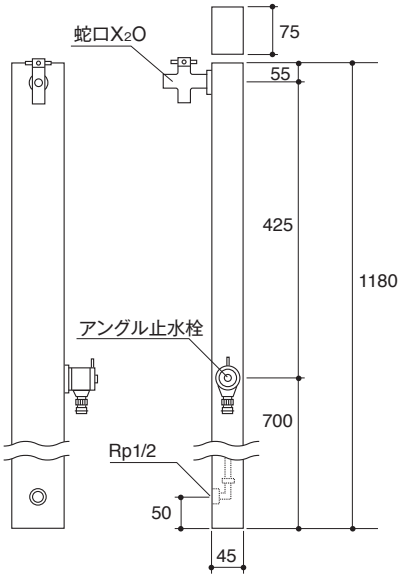
施工断面図

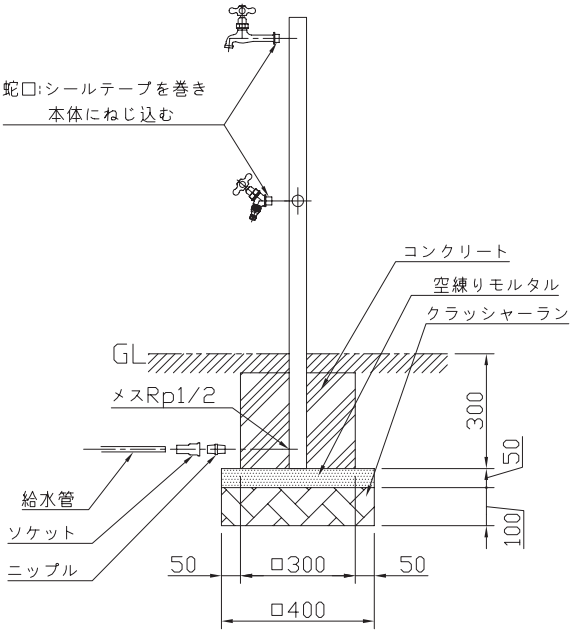


ガーデン

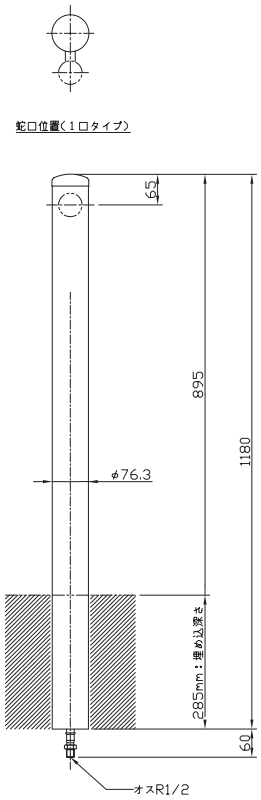
スクエアー 326G/326GT（蛇口が異なります）

施工断面図

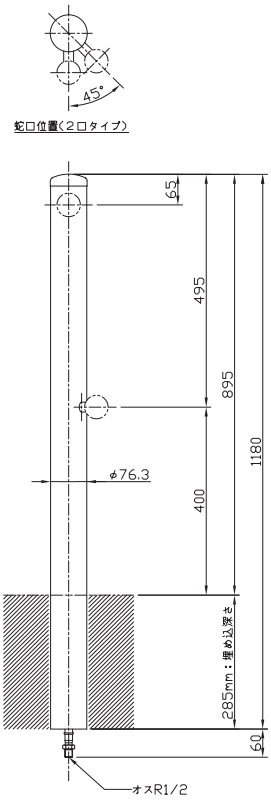




ウォーターポール
一口水栓柱 351-1/352-1/353-1/355-1



ウォーターポール
二口水栓柱 351/352/353/355



水栓柱

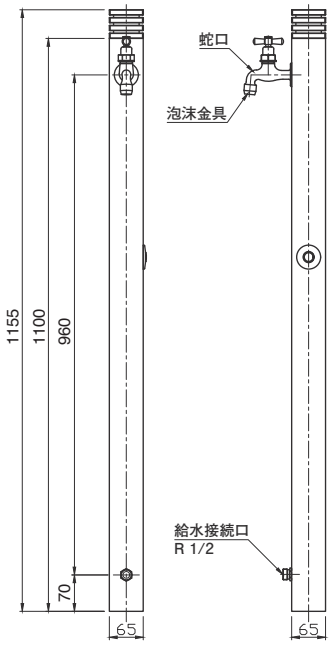
【ソーリン】

■施工

本製品の水道工事、取り付け工事は、指定水道工事店にご依頼下さい。

■詳細寸法・製品仕様

1口シリーズ

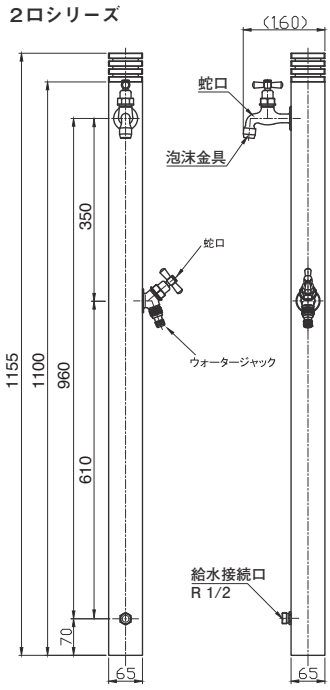


・本体：アルミ製

品　番	塗装色/仕上	蛇口/泡沫金具
367B-1	ブラック	蛇口：Y352C ・一文字ハンドル ・色：シルバー 泡沫金具：520C ・色：シルバー
367C-1	チョコ	
367DG-1	ダークグリーン	
367W-1	ホワイト	
367VR-1	ワインレッド	

・内部給水管
　給水耐衝撃性硬質塩化ビニル管
・内部給水管断熱
　ウレタン発泡

2口シリーズ



・本体：アルミ製

品　番	塗装色/仕上	蛇口/泡沫金具
368B	ブラック	蛇口：Y352C ・一文字ハンドル ・色：シルバー 蛇口：Y162C ・ウォータージャック付 ・色：シルバー 泡沫金具：520C ・色：シルバー
368C	チョコ	
368DG	ダークグリーン	
368W	ホワイト	
368VR	ワインレッド	

・内部給水管
　給水耐衝撃性硬質塩化ビニル管
・内部給水管断熱
　ウレタン発泡

■納入品一覧

1口タイプ

品　番	本　体	蛇　口 Y352C	泡沫金具 520C
367B-1	1 セット	1ケ	1ケ
367C-1	1 セット	1ケ	1ケ
367DG-1	1 セット	1ケ	1ケ
367W-1	1 セット	1ケ	1ケ
367VR-1	1 セット	1ケ	1ケ

2口タイプ

品　番	本　体	蛇　口 Y352C	蛇　口 Y162C	泡沫金具 520C
368B	1 セット	1ケ	1ケ	1ケ
368C	1 セット	1ケ	1ケ	1ケ
368DG	1 セット	1ケ	1ケ	1ケ
368W	1 セット	1ケ	1ケ	1ケ
368VR	1 セット	1ケ	1ケ	1ケ

■本製品の適応水質と温度

・本製品は常温の水道水用です。温水や、水道水以外の水質の水は使用しないで下さい。

■ご注意いただきたい事項

1.本製品の取り付け工事・水道工事は、指定工事店にて行って下さい。
2.納入品一覧に記載の無い物(給水管・継手・シールテープ・砕石・コンクリート等)は別途ご用意下さい。
3.埋め込寸法に関し、条令等法的規制がある場合は、必ずその規制に従って下さい。
4.蛇口の取り付けや、本体の取り付け接続は現場にて行って下さい。
5.本製品を危険と思われる場所や、通行の邪魔になると思われる場所への設置はおやめ下さい。
6.本製品は耐火構造ではありませんので、火気に近い場所への設置は行わないで下さい。
7.本製品は寒冷地用ではありません。 凍結による破損が懸念される場合は、配管内の排水、ヒーターの設置など、地域や気候に応じた凍結防止対策を行って下さい。

■行っていただきたい事項

1.設置地盤は十分に転圧し、沈下等が起きないようにして下さい。

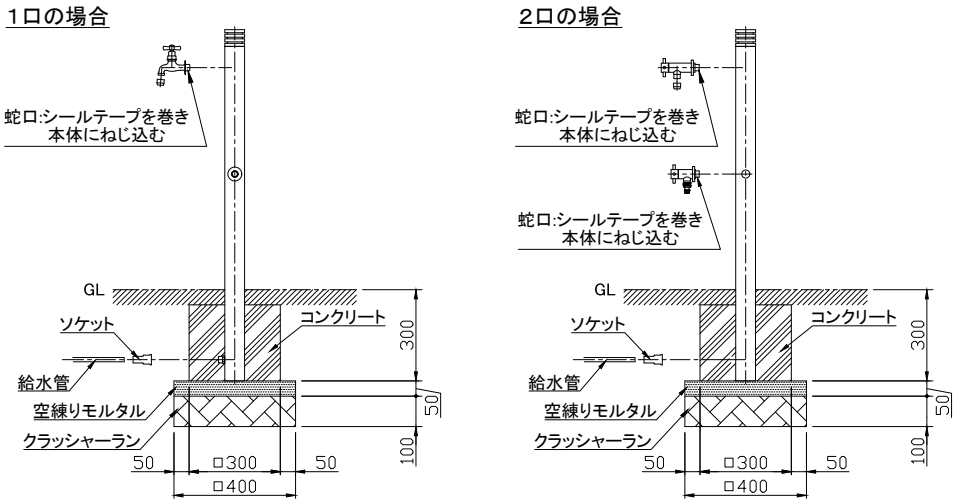
2.本体は倒れないよう、モルタル等で確実に固定して下さい。

3.蛇口接続ヶ所及び埋設接続ヶ所には、止水処理をシールテープ・接着剤などで十分に行って下さい。

4.埋設接続部は、埋設前に必ず水漏れの無いことを確認して下さい。埋設接続部での水漏れは、発見が難しく、思い掛けない水道料金の増加をまねきます。

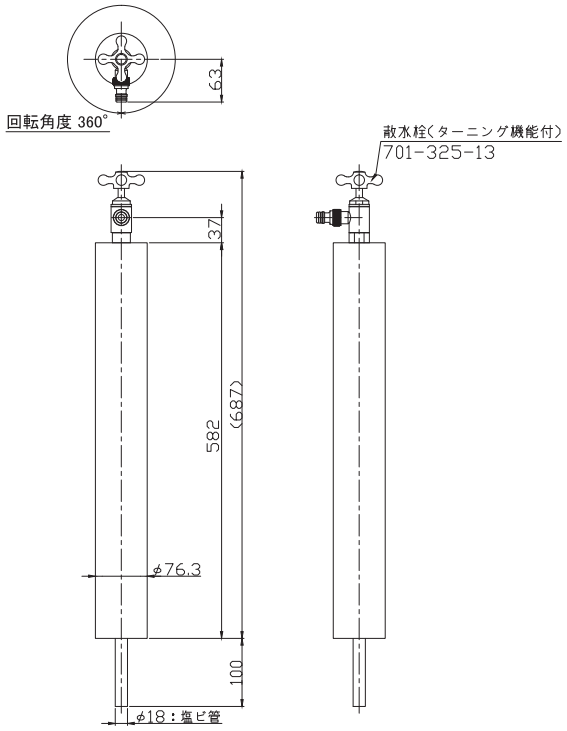
5.通水確認後、管内の異物や汚れ除去のため、必ず水洗(フラッシング)を十分に行って下さい。水洗時間が短い、水勢が弱い場合などは、水洗効果が発揮されず、水漏れの原因となる場合があります。

■参考施工図

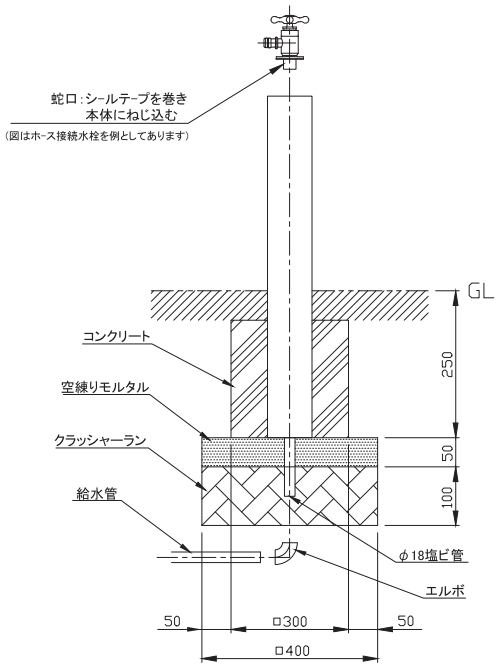


散水栓

■ 散水栓ターンタイプ 寸法図

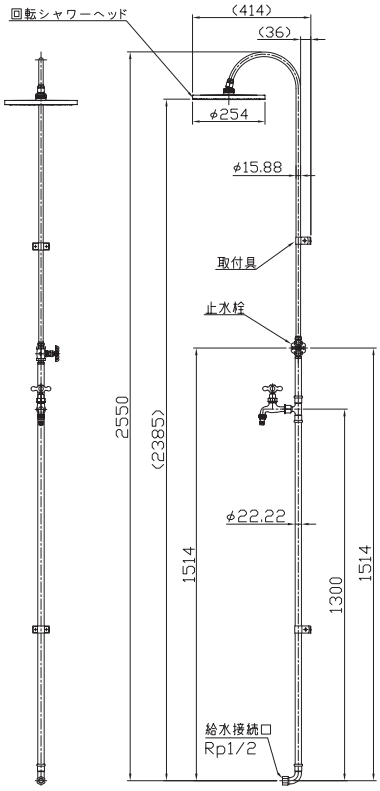


■ 参考施工図

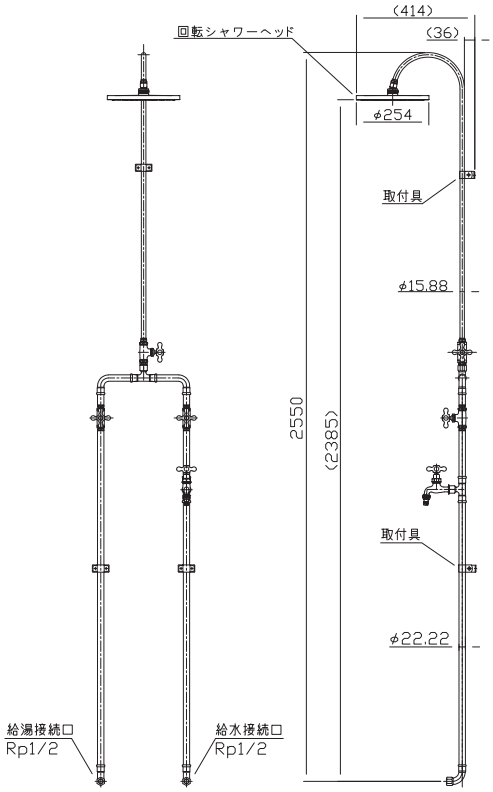


シャワー水栓柱

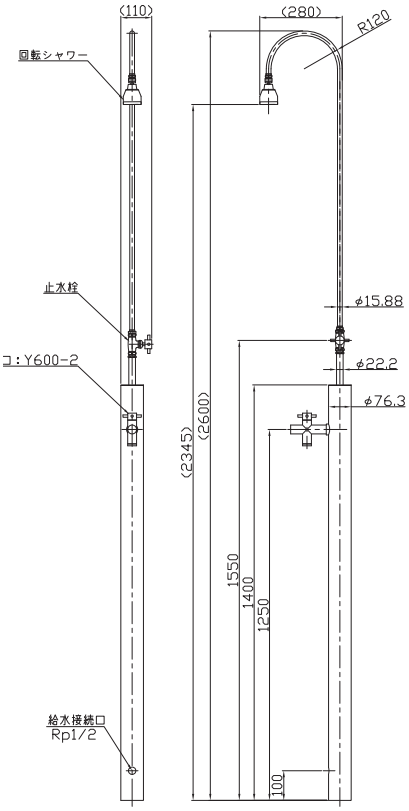
ヌーディS



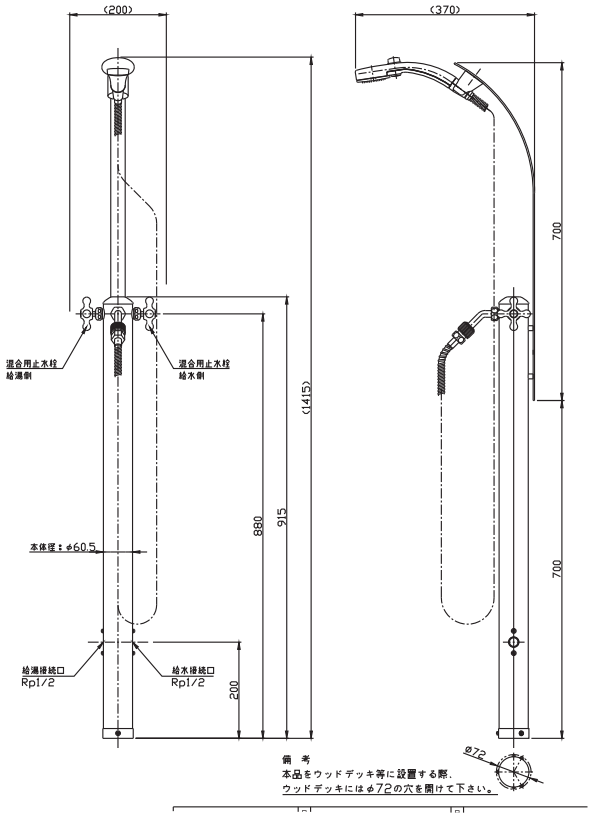
ヌーディM



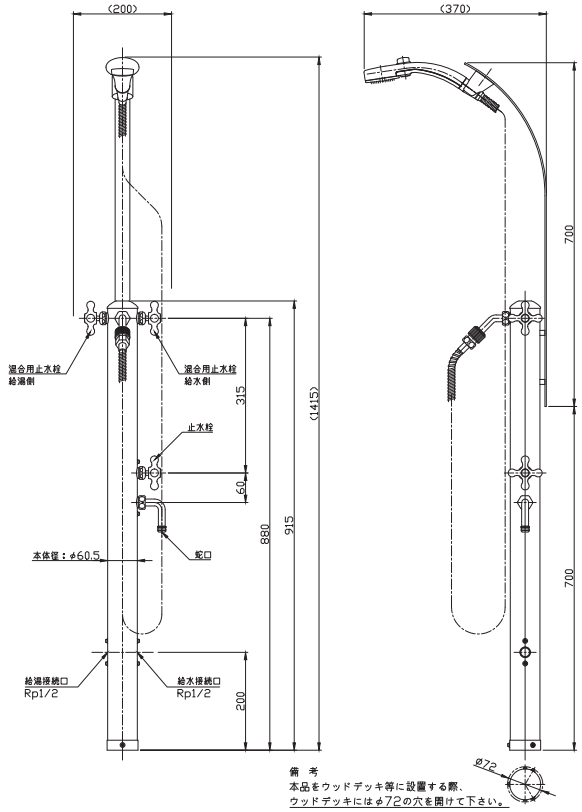
スタンダード 650G



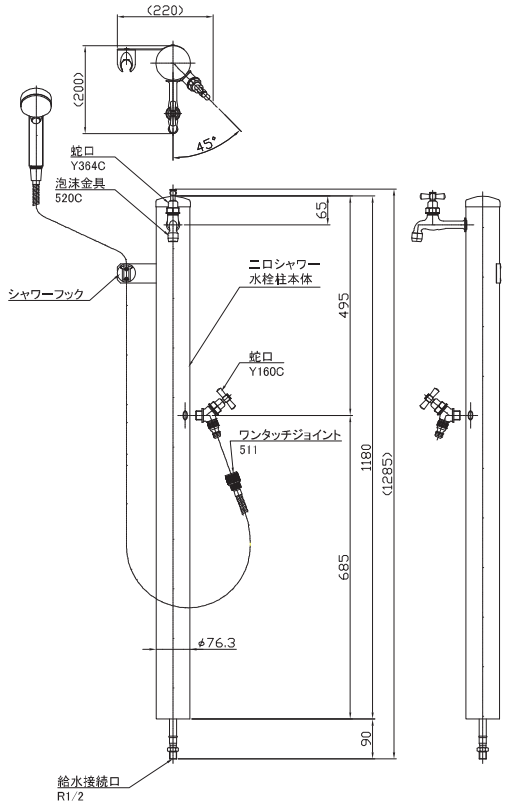
ペットシャワー 混合水栓柱一口 604G

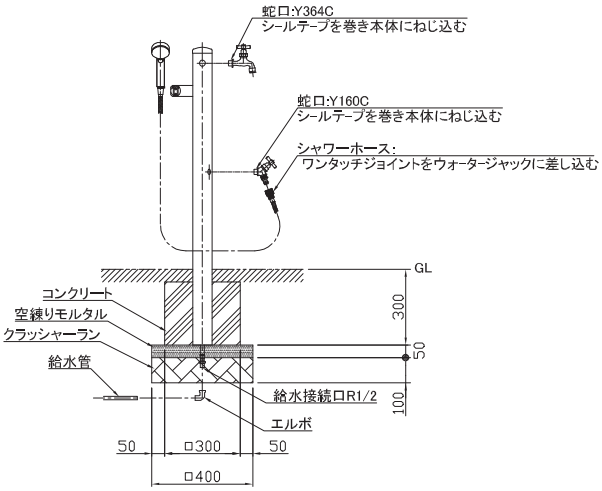


ペットシャワー 混合水栓柱二口 605G



ニロシャワー水栓柱 351H-TS2



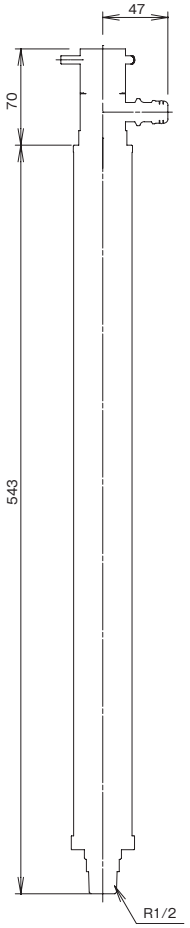


ウォーターコック

【スプリンクル】

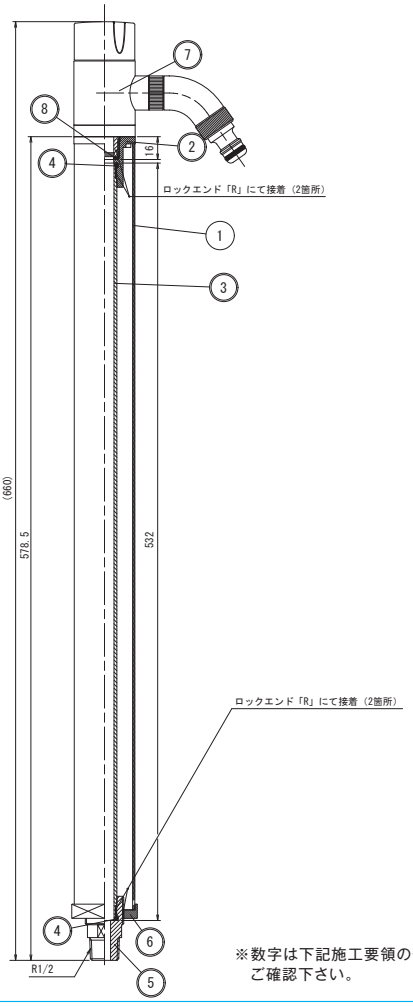
■ 寸法図

スプリンクル
G215



【3Dスプリンクル】

■ 寸法図



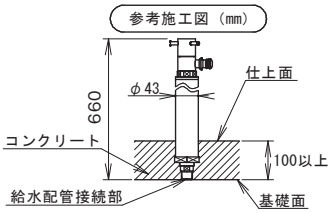
※数字は下記施工要領の部品名称をご確認下さい。

【スプリンクル&3Dスプリンクルの施工要領】

■ 施工手順

1 設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。

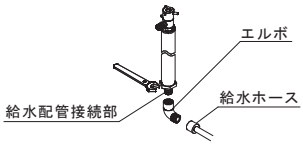


⚠注意

- ●水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- ●ＰＣ板などの十分強固な上に設置して下さい。
- ●配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

2 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



⚠注意

- ●取付け前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流して下さい。
- ●接続の際は、給水配管接続部がまわらないように、スパナ等の工具で掴んで接続して下さい。

3 通水点検

蛇口の施工後に水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。
このとき、蛇口を全開し、管内のゴミを取り除く為に、約30～60秒間勢いよく通水を行って下さい。
水がでない・止まらない一番の原因が『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』ですので、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

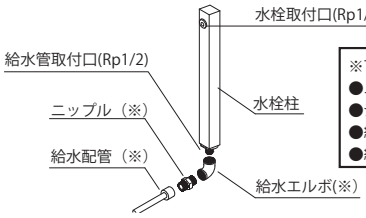
■ 3Dスプリンクルの部品名称

注：部品表の接水部品は○印で示す、又引出し記号には◎印で示す。

番号	品名	材料	規格番号	記号	個数	部品番号	適用
9							
⑧	パッキン18•11•2.5	合成ゴム		EDPM	1	PKE130	
⑦	3Dホース接続回転水栓				1	G102K-3D	
⑥	水栓柱締め付けナット	真鍮	JIS H 3250	C3604BC	1	SOK110	SOH275
⑤	SUS管用接続金具R1/2	青銅合金棒	JIS H 5120	CAC406C	1	SOK148	
④	P15	合成ゴム		P15	2	P15	
③	給水SUS管532mm	ステンレス		SUS304TP-A	1	SSD035	
②	散水栓上部接続金具	青銅合金棒	JIS H 5120	CAC406C	1	SOK149	
①	水栓柱本体537.5	アルミ		A6063S-T5	1	SOH307-S	

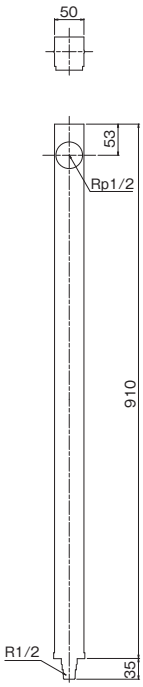
【木目水栓柱】

■ 各部名称



※下記を参考に、必要な部材を別途手配してください。
- ●ニップル　：　13×13ニップル
- ●シールテープ
- ●給水エルボ：13×13エルボ
- ●給水配管　：　HI-VP仕様　呼び13

■ 寸法図



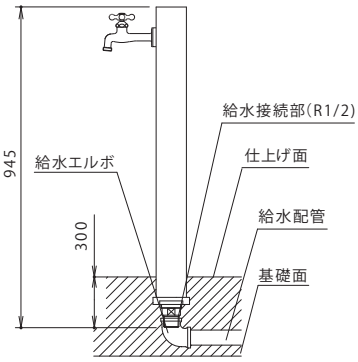
■ 施工手順

①設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。

⚠ 注意
- ●水栓柱は住宅の基礎面上に設置してください。
- ●基礎がない場合は砂利石、PC板などの十分強固な上に設置してください。
- ●給水は、上水道に接続してください。
- ●開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

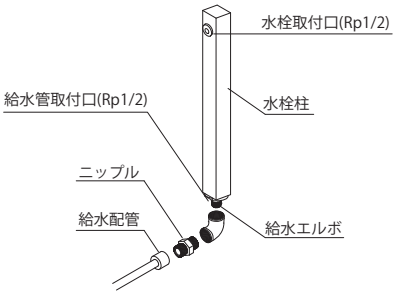
参考施工図(mm)



②水栓柱の取付け

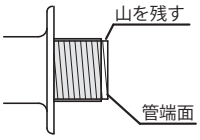
水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。

⚠ 注意
取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。



③水栓の取付け

水栓のねじにシールテープを巻きつけます。
テープは、管端面からはみ出さないよう、
ねじ山を１～２山 残した状態で、テープが
たるまないよう巻きつけます。



ねじを正面から見て、
時計周りにきつく巻く。

管端からはみ出して巻きつけると、テープが切れて
管内のゴミとなり、水漏れ原因となります。

④通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。
●このとき、確実にフラッシングを行ってください。
フラッシング：蛇口を全開し、約30~60秒間勢いよく通水を行ってください。

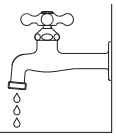
施工後数日～数ヶ月で、『水がでない、止まらない、ポタ漏れする』等のお問い合わせが頻発しております。
その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。
フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いてください。

■ 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

水栓より少量の水を出してください。
（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、
確実に凍結予防策を講じてください。

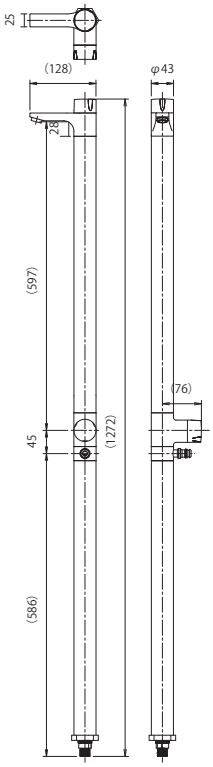
少量の水を出すなど



ウォーターコック

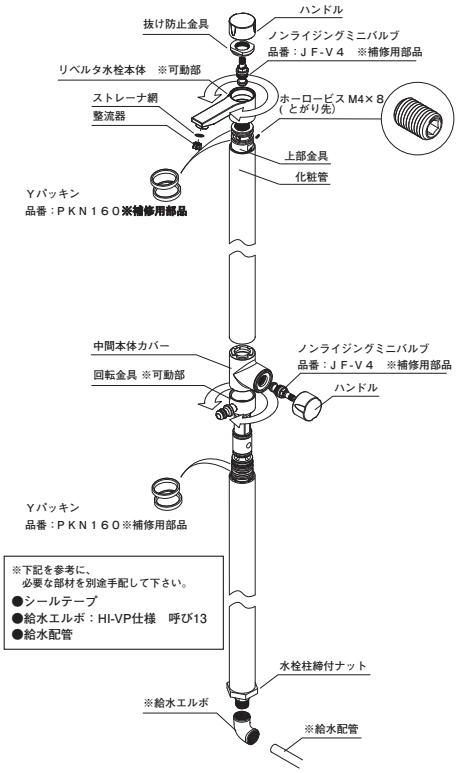
【リベルタⅡ】

■ 寸法図



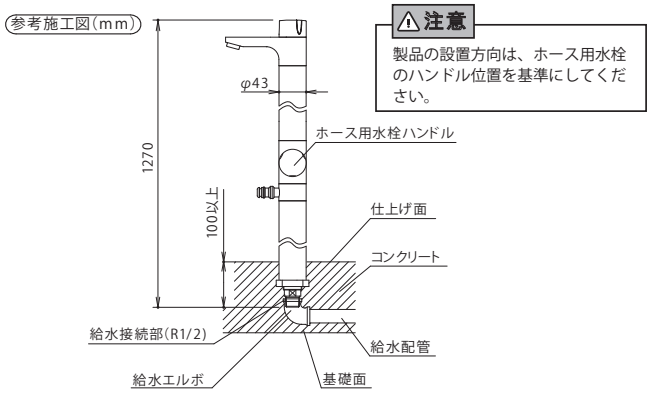
■ 構造

構造を表したイラストです。
本製品の構造をご理解いただくのにご使用ください。



■ 施工手順

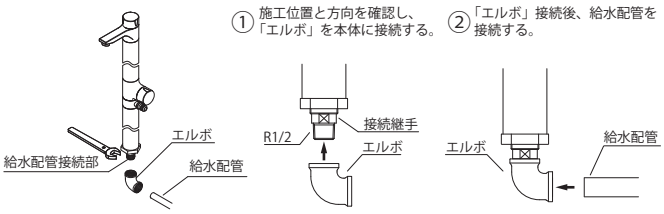
①設置場所の確認　給水配管の位置を確認する。



⚠注意
製品の設置方向は、ホース用水栓のハンドル位置を基準にしてください。

②エルボの接続・位置決め・配管の接続

●工具を使ってしっかりと締め付け、接続してください。
●先に「エルボ」を接続すると、後の施工が容易になります。
●仮固定・位置決めは、「エルボ」を接続した後に行ってください。
●配管種類に合わせて、継手等を手配してください。



③通水点検

蛇口施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを確認します。
●このとき、確実にフラッシングを行ってください。
フラッシング：蛇口を全開にし、約 30 ～ 60 秒間勢いよく通水を行ってください。

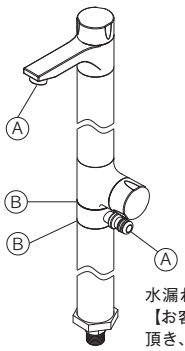
施工後数日～数ヶ月で、『水が出ない、止まらない、ポタ漏れする』等のお問い合わせが頻発しております。
その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。

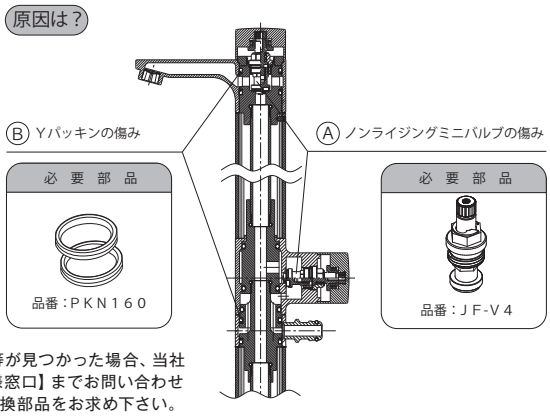
フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

水漏れをした場合

水漏れ箇所の確認

A：吐水口
B：管の継ぎ目

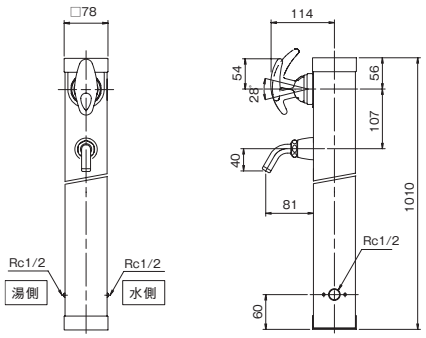




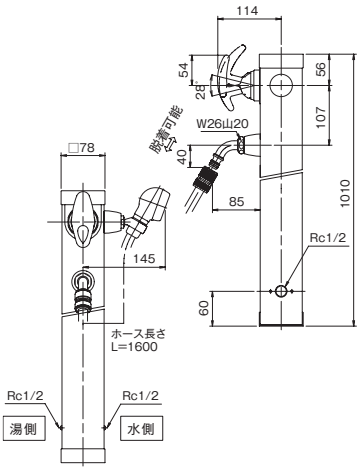
水漏れ等が見つかった場合、当社【お客様窓口】までお問い合わせ頂き、交換部品をお求め下さい。

ガーデン

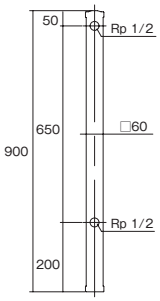
混合水栓柱
G101-KS



混合水栓柱（シャワー仕様）
G101-KSS

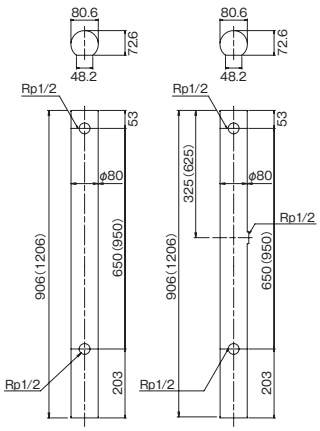


ステンレス水栓柱
G206-S60K

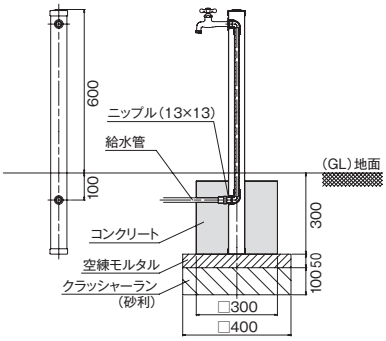


※給水口の接合はP97を
参照ください。

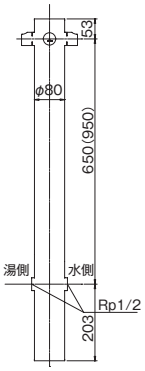
レゼーナ 900/1200



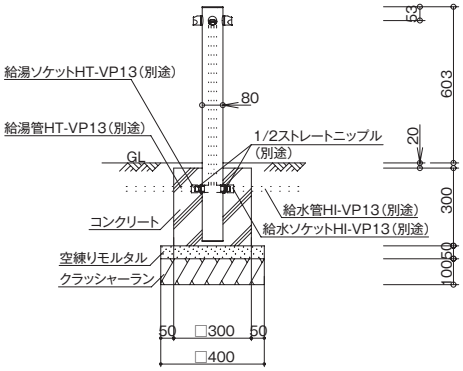
施工断面図



混合水栓柱レゼーナ（切替栓付き） 900/1200



施工断面図



ガーデン

水電柱

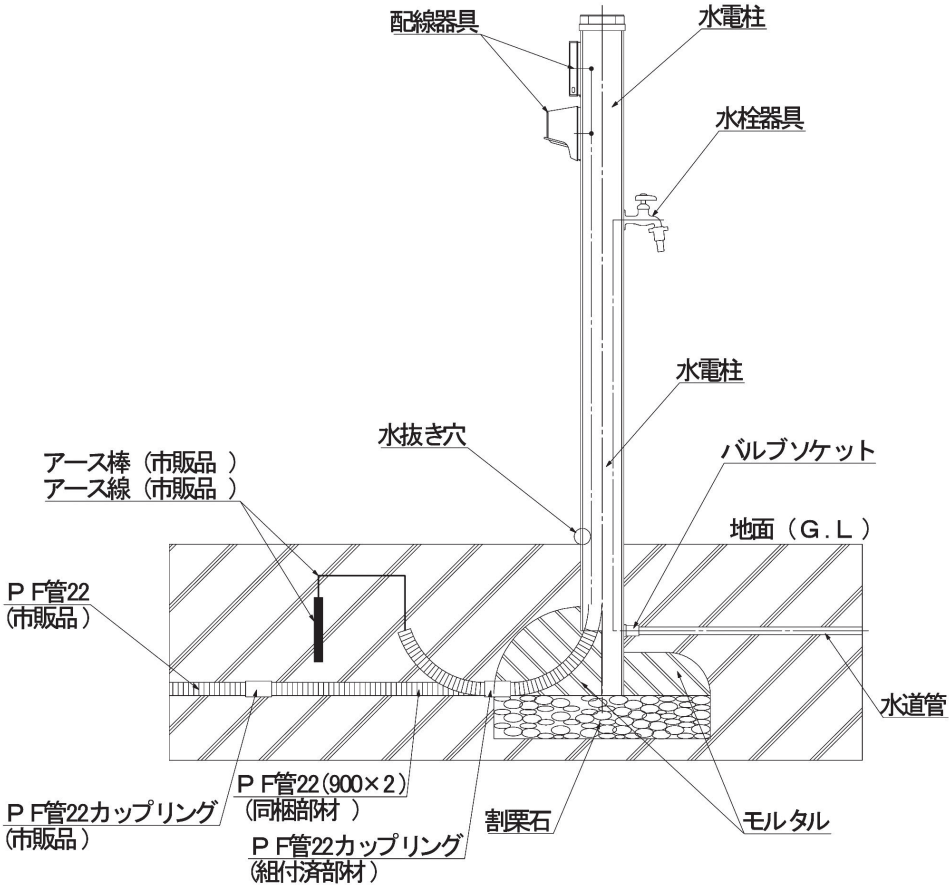
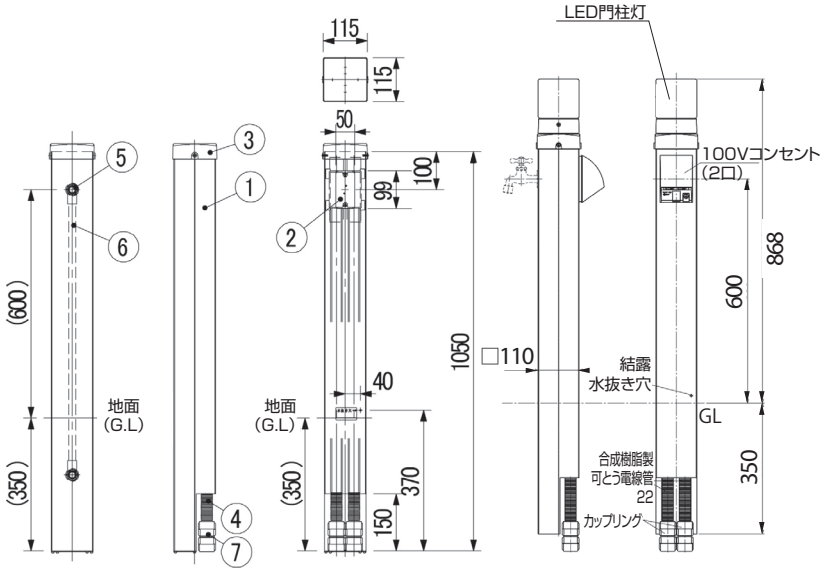


図１:工事完成図



図面:S型照明なし

図面:S型照明付

No.	部品名称	数量
①	柱	1
②	ジョイントボックス(PS)E	1
③	トップ（添付）	1
④	合成樹脂製可とう電線管 22	2
⑤	水道用合成樹脂製塩化ビニル管用給水栓エルボ HI-VP13×Rp1/2（JIS）	2
⑥	水道用合成樹脂製塩化ビニル管 HI-VP13（JIS）	1
⑦	合成樹脂製可とう電線管用カップリング 22（添付）	2
	トラスタッピンネジ 4×12 （添付）	3
	皿小ネジ M4×20 （添付）	2
	合成樹脂製可とう電線管 22 用キャップ（添付）	2
	合成樹脂製可とう電線管 22（添付）	2

工事の取り合いにより施工手順が異なります。次の順に従って施工して下さい。

■水道工事が先の場合の据付工事

■水道工事

1.埋設穴を確保

設置場所にモルタルと割栗石寸法(500㎜×500㎜×450㎜)と水道配管とPF管配管工事を考慮したスペースを確保し、穴を掘る。

2.割栗石の敷設

水電柱の設置位置に合わせ、水はけ用の深さ100㎜程度(500㎜×500㎜)の割栗石を敷く。(図1参照)

3.水電柱の据付け

水電柱を埋設穴の割栗石の上に立て、添え木等により仮固定し、垂直・水平の寸法を調整する。

4.水道管の配管

水道管を適切な深さで地中配管し、水電柱下部の水道管接続部にバルブソケットを用いて接続する。

5.水道配管側のモルタルの打設

水電柱の下端のPF管を同梱のPF管で延長し、水道管・バルブソケットと水抜き穴を埋めないように注意し、モルタルを打設します。PF管の管端は同梱のキャップを嵌め、埋まらないように地面(G.L)から出しておきます。(図1参照)

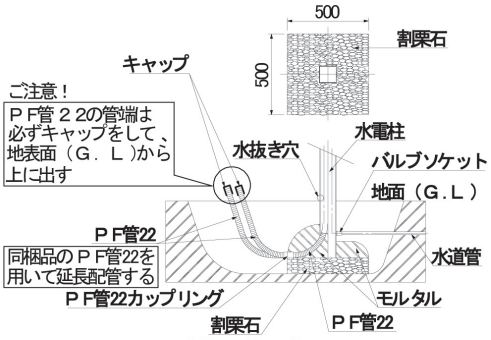


図1 水道管とPF管の配管状況

6.埋設穴の処理

埋設穴に誤って人が落ちないように適切な処理を施す。

■電気工事

7.PF管の配管

PF管を適切な深さで地中配管し、水電柱のPF管の先端のキャップを外してPF管カップリングを用いて接続する。(図2参照)

注意 PF管の配管は、電線の通線に配慮して曲げ半径は管の直径の6倍(R200mm以上推奨)以上として下さい。

8.アースをとる

アース棒を打ち込み、アース線を水電柱の最上部まで通線し、アース線接続部に付属のアース線ネジを用いて接続する。(図2、3参照)

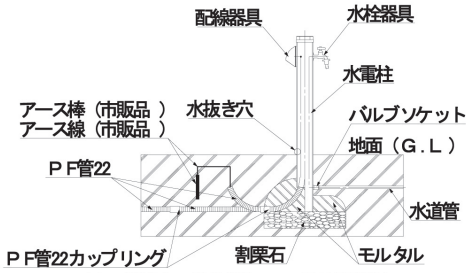


図2 水道管とPF管の配管、アース線の配線状況

9.トップの取付け

トップを添付のネジを用いてネジ締め固定します。(図3参照)

注意 ネジが効かなくなったり、トップの割れ・欠けの原因となりますので、締め過ぎにご注意下さい。

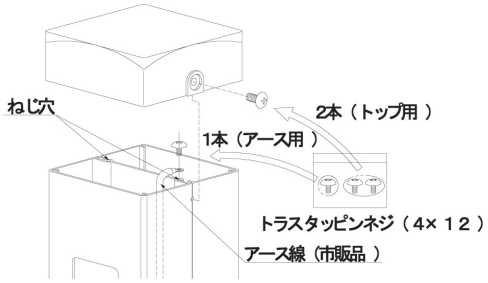


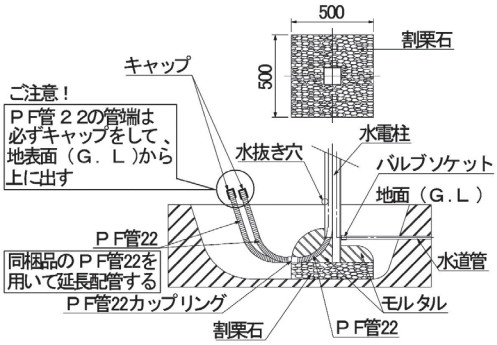
図3 水電柱最下部アース線接続状況

10. 埋戻し

水抜き穴を塞がないようにPF管及び水道管を埋込みライン(水電柱最下部より350㎜)まで水電柱を埋め戻す。(図2参照)

注意 コンクリート埋設の場合、コンクリートが乾くまで充分養生して下さい。

■水道工事が先の場合は、下図の(図A)のところまで施工し電気工事へ引き継いで下さい。



図A(図1と同図)

≪注意事項≫

①電柱に組付けられているＰＦ管22に同梱のＰＦ管カップリングとＰＦ管22を用いて延長します。

②延長したＰＦ管22の管端に異物浸入防止用に同梱のキャップを嵌めます。
※このときＰＦ管の管端は、電気工事の時に簡単の位置が分かり易いように地面(Ｇ．Ｌ)より上に出しておいてください。

③添え木等を用いて水電柱の水平・垂直・寸法を調整し、固定用モルタルを工事後の水道管のメンテナンスに配慮し、水道配管を避けて打設します。

④埋設穴に誤って人が落下しないよう適切な処置を施します。

水電柱

■電気工事が先の場合の据付工事

■電気工事

1.埋設穴を確保

設置場所にモルタルと割栗石寸法（500 ㎜×500 ㎜×450 ㎜）と水道配管とPF管配管工事を考慮したスペースを確保し、穴を掘る。

2.割栗石の敷設

水電柱の設置位置に合わせ、水はけ用の深さ 100 ㎜程度（500 ㎜×500 ㎜）の割栗石を敷く。（図 5 参照）

3.水電柱の据付け

水電柱を埋設穴の割栗石の上に立て、添え木等により仮固定しながら垂直、水平の寸法を調整する。

4.PF管の配管

PF管を適切な深さで地中配管し、水電柱のPF管の先端のキャップを外してPF管カップリングを用いて接続する。（図5参照）

5.アースをとる

アース棒を打ち込み、アース線を水電柱の最上部まで通線し、アース線接続部に付属のアース線ネジを用いて接続する。（図 4、5 参照）

6. トップの取付け

トップを添付のネジを用いてネジ締め固定します。（図 5 参照）

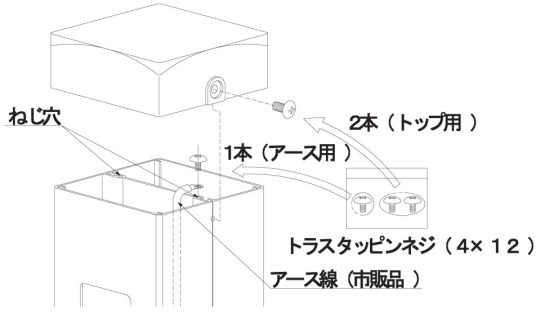


図 4　水電柱最下部アース線接続状況

注意　ネジが効かなくなったり、トップの割れ・欠けの原因となりますので、締め過ぎにご注意下さい。

7.PF管配管側のモルタルの打設

水電柱の水道管接続部と水抜き穴を塞がないように注意しながらモルタルを打設する。（図 5 参照）

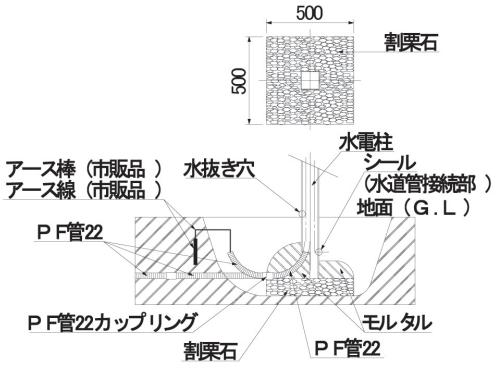


図 5　水道管とPF管の配管、アース線の配線状況

■水道工事

8.埋設穴の処理

埋設穴に誤って人が落ちないように適切な処理を施す。

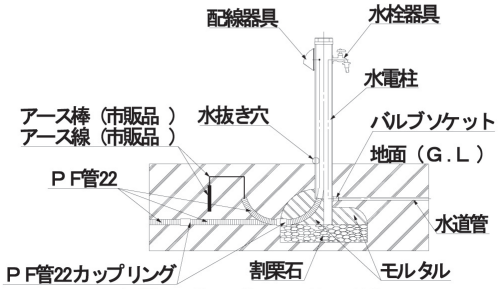


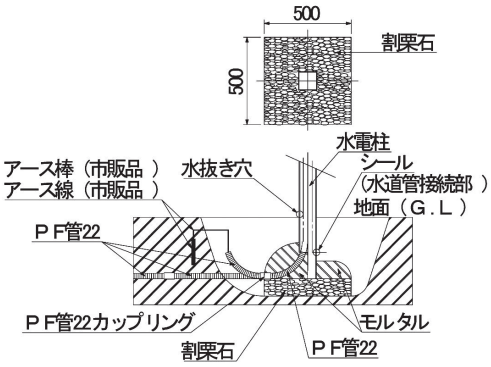
図 6　水道管とPF管の配管、アース線の配線状況

10. 埋戻し

水抜き穴を塞がないようにPF管及び水道管を埋込みライン（水電柱最下部より 350 ㎜）まで水電柱を埋め戻す。（図 6 参照）

注意　コンクリート埋設の場合、コンクリートが乾くまで充分養生して下さい。

■電気工事が先の場合は、下図の（図B）のところまで施工し水道工事へ引き継いで下さい。



図B（図5と同図）

≪注意事項≫

①電柱に組付けられているPF管 22 に同梱のPF管カップリングとPF管 22 を用いて延長します。

②電柱から延長したPF管と埋設してきた PF 管を接続し、水電柱の近くにアースを打ち込みます。

③アース線を水電柱内部に通線し、一方を水電柱上部のアース線接続部に、もう一方に打ち込んだアースに繋ぎます。

④添え木等を用いて水電柱の水平・垂直・寸法を調整し、固定用モルタルを水道管のメンテナンスに配慮し、シール（水道管接続部）にモルタルが被らないように水電柱と PF 管に固定用モルタルを打設します。

⑤埋設穴に誤って人が落下しないよう適切な処置を施します。

■水栓器具及び配線器具の設置

水栓器具の取付けは水栓器具、配線器具の取付けは通線後、配線器具の注意事項に従って取り付ける。

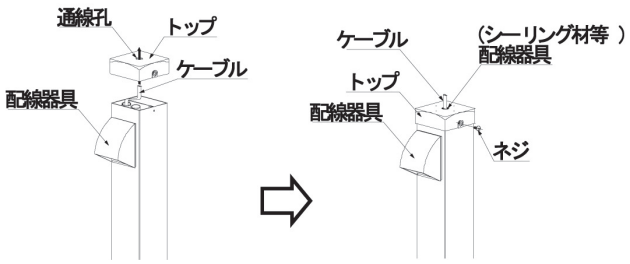
■照明器具の取付

1. ケーブルを水電柱最上部まで通線し、引き出しておく。

2. トップ（添付）の中央に照明器具用のケーブルを通線のための孔を開ける。
注意 ケーブルを傷付けないよう孔には面取りを施して下さい。

3. トップの孔にケーブルを通しながらポールに取付け、開口（ケーブル通線部）の隙間を防水処理（シーリング処理）を施す。（図７参照）

図７ 通線及び防水処理



4. 照明器具の基台を、タッピンネジ（4×20）を用いてトップにネジ締め固定する。（図８参照）
注意 取付けピッチが66.7㎜、基台の大きさが最大110×110㎜以下の照明器具を選択し、タッピンネジ（4×20）を用いてネジ締め固定して下さい。

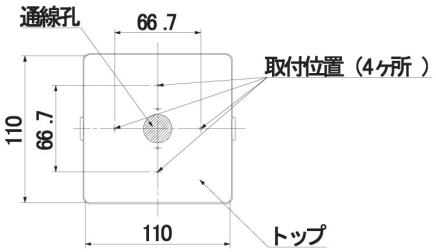


図８ 通線孔及び照明器具の取付け位置（トップ）

5. 照明器具の取付け及び電気工事は照明器具の注意事項に従い、資格を有する方が行って下さい。

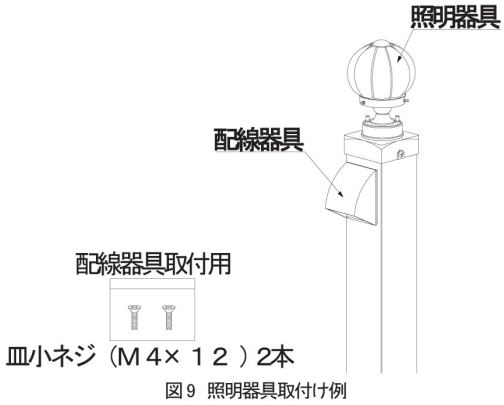


図９ 照明器具取付け例

※参考例で付属の照明器具とは違います。

⚠ 警告

禁止	• 商品の仕様にないものの取付け、植栽や他の構造物の支え、踏み台、運動具、遊具等、目的以外の使用はしない。 製品に想定以外の負荷が加わり、曲がりや転倒の原因となります。 • 本説明書にない追加工、改造はしない。 強度低下による曲がりや転倒、追加工部からの腐食による寿命低下の原因となります。
必ず守る	• 商品の組立・施工は、必ず『本説明書』を読み、正確に行う。また組立・施工後に『本説明書』を施主様にお渡し、取扱方法及びメンテナンスについてご説明する。 • 高所作業が伴う場合は、転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、また暗所作業時の照度の確保などを必ず行う。 • 電気工事は「電気工事士」の資格のある方が、「電気設備の技術基準」および「内線規定」に基づき、水道工事は指定工事店が「水道法施工令」に基づき行う。 • 水電柱にはアース工事（D種接地工事：接地抵抗 100Ω以下）を行う。 • 建柱時は、水電柱下面の水はけを良くする。 • EV・PHEV充電用として用いる場合は、必ず専用回路とし、漏電ブレーカーを設置する。

⚠ 警告

禁止	• 凍結の恐れがある地域には、設置しない。 器具の凍結は、器具が破損し、漏水が発生する恐れがあります。 • 本品を給湯器や暖房機などの排気を妨げる場所や排気熱が直接当たる場所に設置しない。 本品が換気の妨げとなり、通切な換気ができなくなる可能性があります。 • 本品を危険な場所や通行の妨げになる場所へ設置しない。 • 運搬中は振り回さない。 人や物などに当たり、ケガの原因となります。 • 塩分を含む砂（海砂）を用いたコンクリート（またはモルタル）を使用しない。また大気中や地質に強い酸・アルカリ成分が含まれる場所には使用しない。 ポールが腐食し、破損・倒壊する恐れがあり危険です。
必ず守る	• 荷崩れしないように保管する。 ポールを立て掛けるなど不安定な保管は倒れて本品が破損するだけでなく、ケガの原因となります。 • 組立や運搬時に手を挟まないように注意する。 • 蛇口の取付け前に配管内の洗浄をする。（1 分程度の流水） 配管内のゴミ、切り屑などが蛇口のパッキンを傷付ける恐れがあります。

お願い

※ EV普通充電で用いる場合は、日本配線システム工業会『EV普通充電用電気設備の施工ガイドライン』を参考とし、設計・施工を行って下さい。

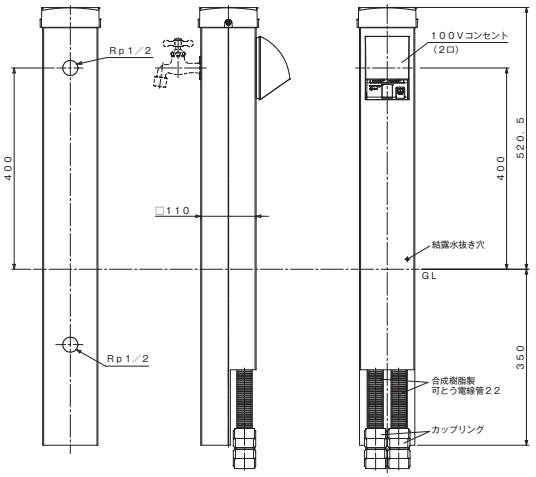
- 外観商品ですので、輸送や保管など取扱いにご注意下さい。
- 製品を破損したまま使用すると事故原因となりますので、破損した際はすぐに施工店にご連絡ください。
- 破損や劣化、作動不良の原因となるので、本品の近くで火気を使用しないでください。
- 本品の汚れを拭き取る場合は、研磨剤入りのクレンザー、シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等を使用せず、水で薄めた中性洗剤を使用し、最後に水で濡らした布で拭き取って下さい。
- 施工の際、ポール（外筒）に無理な荷重を掛けないで下さい。
- 水電柱に充電コンセントを付けて車が通るところに設置する場合、必ず防護柵や車止めなどを設置し、水電柱への衝突対策をして下さい。
- 排水管を設けない場合は、水はけのいい場所や水が流れても支障がない場所を選び、設置して下さい。
- 凍結の恐れのある地域（寒冷地）では、最寄りの水道工事店にご相談の上、適切な凍結防止策を施して設置して下さい。
- ご不要の折には地域の条例に従って正しく廃棄して下さい。
- 改良のため予告なしに製品の一部を変更することがありますので、ご了承ください。

水電柱／水栓パン

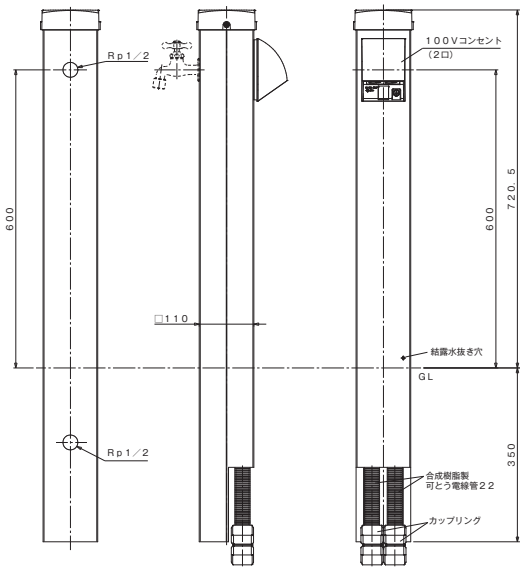
寸法図

【水電柱】

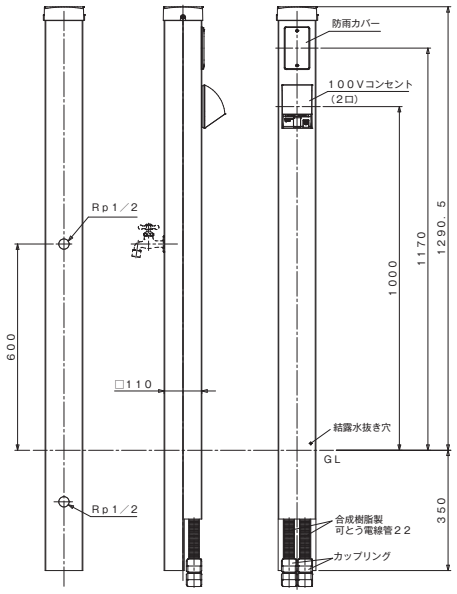
SS



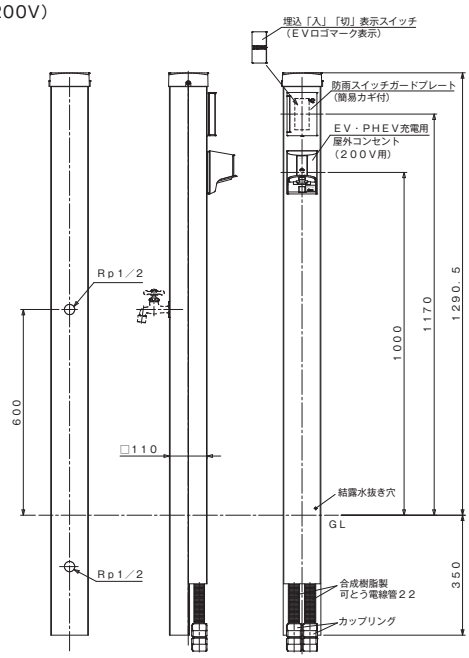
S



M

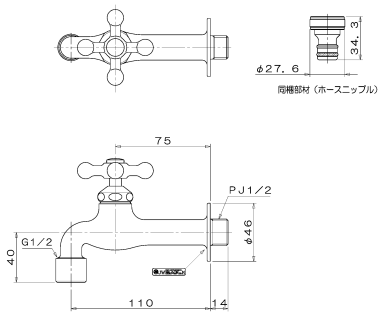


M(EV·200V)

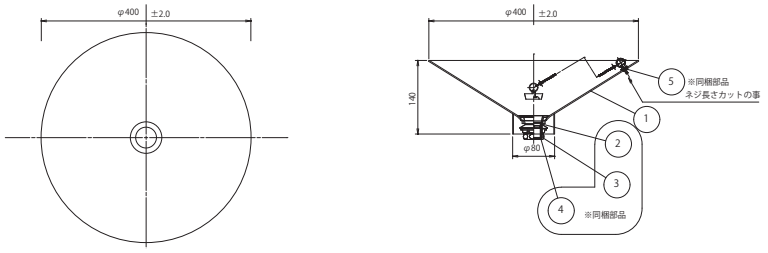


【水栓パン】

専用胴長横水栓



ステンレスガーデンパン

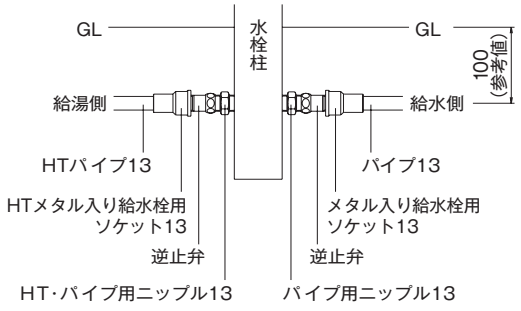


番号	品名	材料	規格番号	記号	個数	部品番号	適用
⑤	ゴム栓φ25用　加工カット	合成ゴム等			1	SOK177*	※同梱部品
④	パッキン	ノンアスベスト			1	SOK130 ※同梱部品	004－090
3	袋ナット	鍛造用黄銅	JIS H 3250	C3771BE	1		003－163
②	排水金具組	鍛造用黄銅	JIS H 3250	C3771BE	1		006－012
①	本体	ステンレス			1	SOH326	

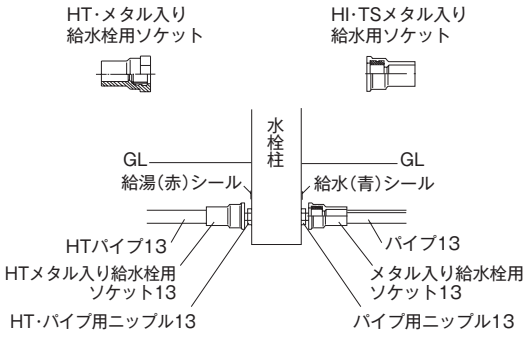
水栓柱接合図

施工断面図

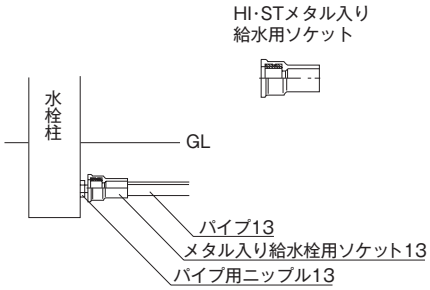
ウォーターコック　G101-KS/G101-KSS



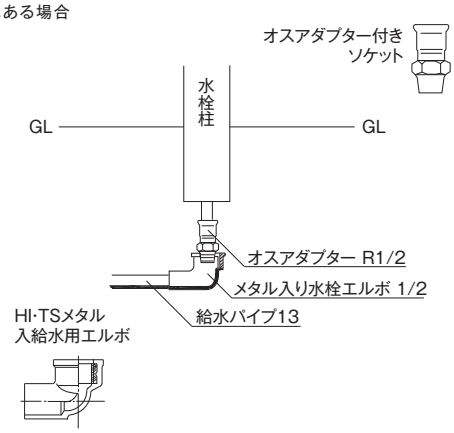
シャワー水栓柱　604G/605G



給水口が横にある場合

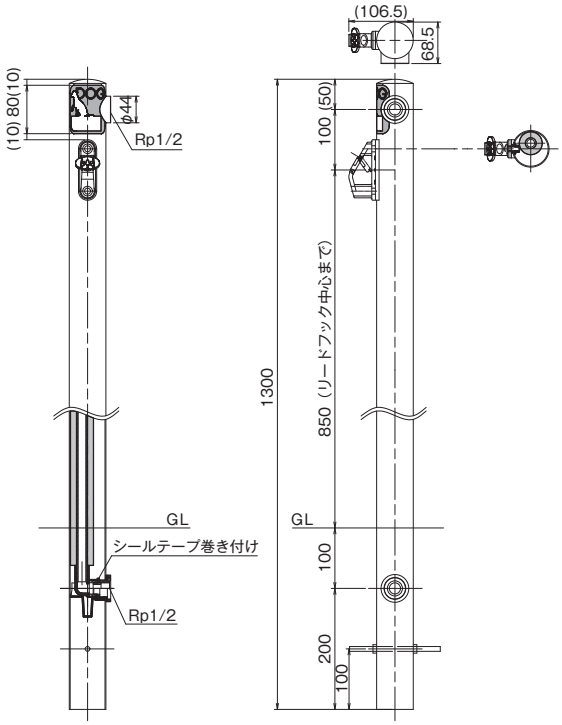


給水口が下にある場合



リードフック水栓柱

寸法図

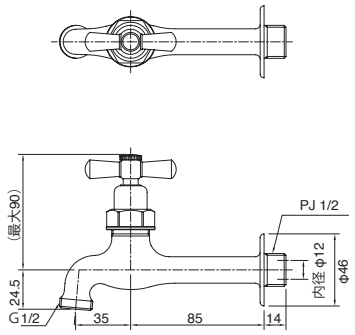


ガーデン

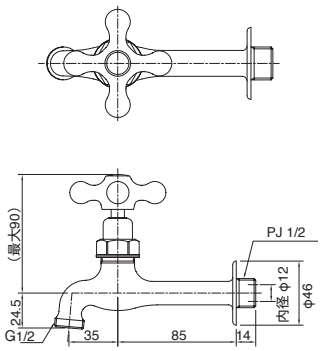
カラン

【カランの寸法図】 ※ゴールド色はご使用期間の経過により、表面の色が落ち着いた色調に変化していきます。

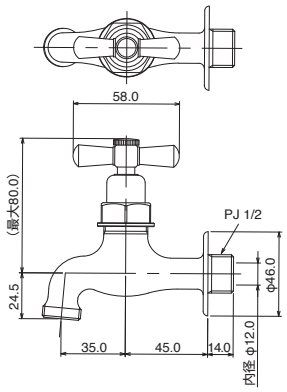
ユーロモダン胴長（一文字ハンドル）
Y362/Y362C



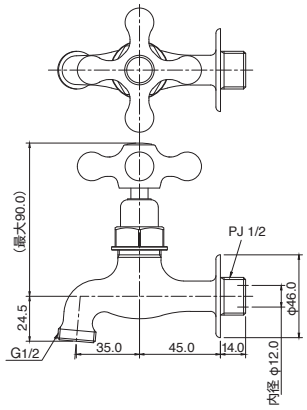
ユーロモダン胴長（クロスハンドル）
Y361/Y361C



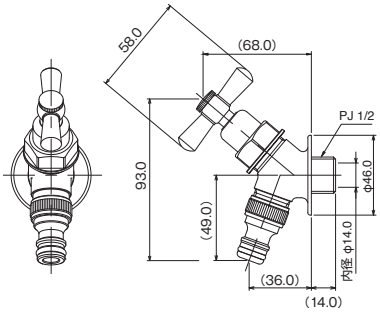
ユーロモダン（一文字ハンドル）
Y352/Y352C



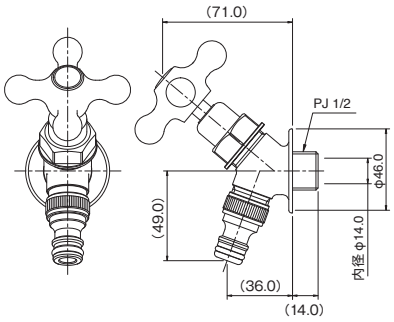
ユーロモダン（クロスハンドル）
Y353/Y353C



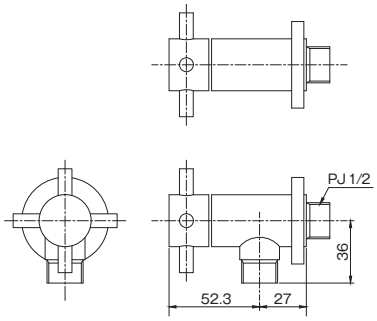
ユーロガーデン一文字
Y162C



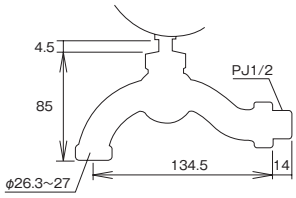
ユーロガーデンクロス
163C



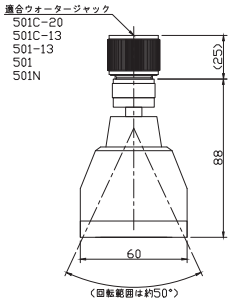
BEAU（ボー）
Y155-1



えなが・こがら
A115/A117

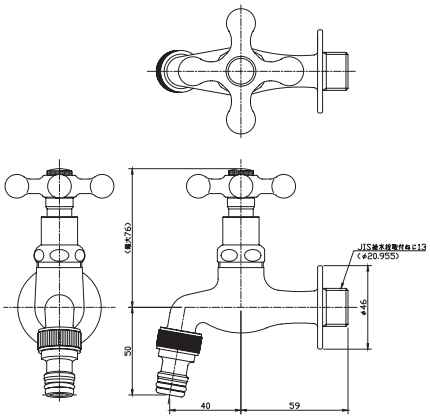


固定型シャワーヘッド
0507

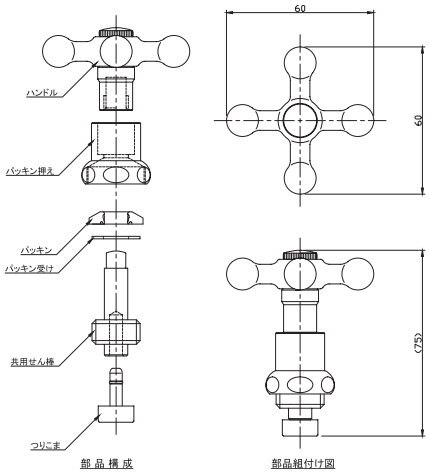


ガーデン

十字ハンドル(安心機能タイプ)
Y311CM



安心機能ナットセット
512



【水栓金具の取付け方】

水栓金具の交換をするときは、止水栓を止めて下さい。止水栓は、ほとんど水道メーターの付近にあります。右にまわすと閉まり、左にまわすと開きます。

1 古い水栓金具を左にまわして外します。次に配管内のゴミを取り除きます。
※配管内のゴミが残っていると、パッキンを傷つけ、水もれの原因になります。

2 新しい水栓金具のネジ部分にシールテープを全体が2~3重になるように巻きます。シールテープは軽く引っ張りながら、ネジに食い込むように巻きます。

3 新しい水栓金具を右にまわしてねじ込みます。最後までねじ込んで水栓が斜めになる場合は、いったん外してシールテープの量を増減して正しい位置になるよう調節します。
※一度ねじ込んだものを左にまわして戻すと、水もれの原因になります。

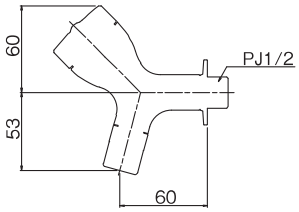
4 最後に止水栓を開き、水もれを点検します。
※水もれをする場合は②から戻って作業しなおして下さい。

カランN

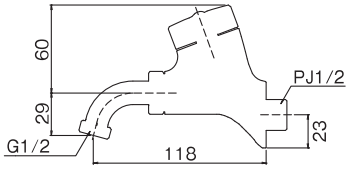
※P99「水栓金具の取付け方」をご参照下さい。
※ゴールド色はご使用期間の経過により、表面の色が落ち着いた色調に変化していきます。

【カランNの寸法図】

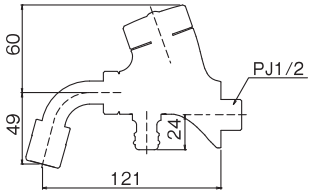
ミズロック横水栓 151型
AT151



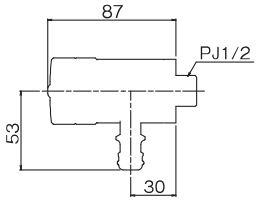
ミズロック万能水栓 152型
AT152



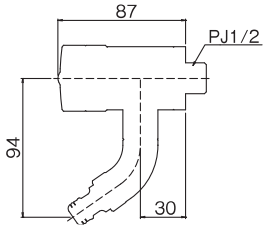
ミズロック二口万能水栓 153型
AT153



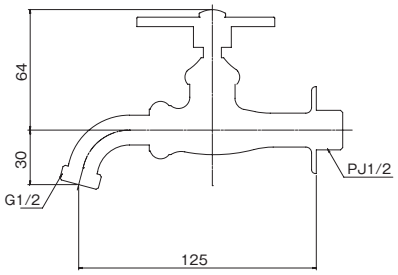
AT式ホース接続回転水栓
G102K-AT



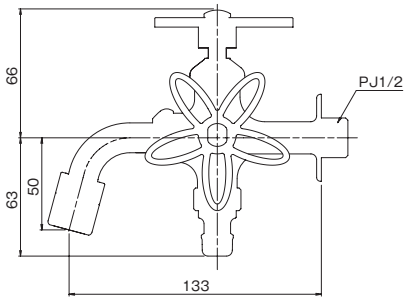
AT式ホース接続回転水栓3D
G102K-AT3D



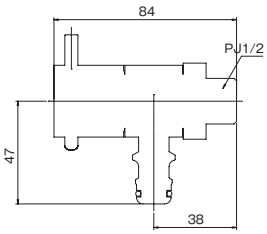
万能ホーム胴長水栓（スミレハンドル）
BHD13-SE/BHD13-SM



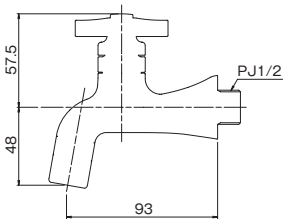
二口万能胴長水栓（スミレハンドル）
FBD16-SE/FBD16-SM



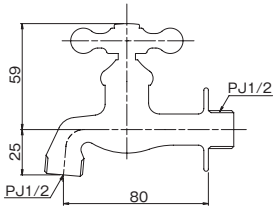
ホース接続回転水栓
G102K-M



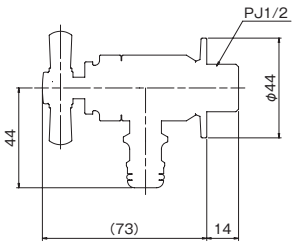
オーバル横水栓
G10VY



横水栓
K13-E/K13-ME

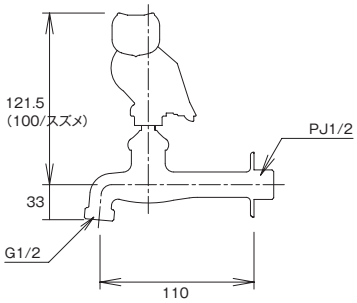


ホース接続水栓
G102-IB/G102-IM

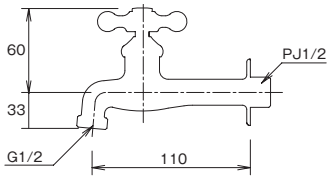


胴長横水栓（フクロウ）
DN13-OW

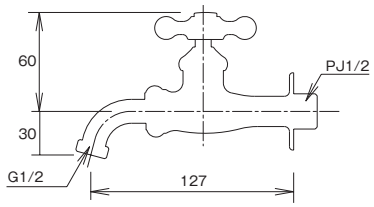
胴長横水栓（スズメ）
DN13-SP



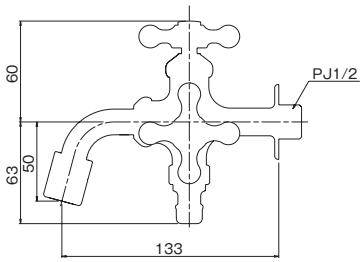
胴長横水栓
DN13-E/DN13-M/DN13-B/DN13-MS



万能ホーム胴長水栓
BHD13-E/BHD13-M

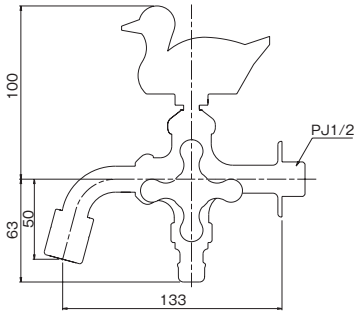


二口万能胴長水栓
FBD16-E/FBD16-M/FBD16-B/FBD16-MS

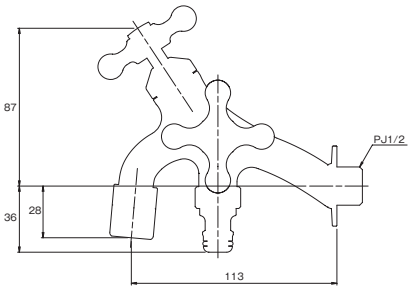


二口万能胴長水栓（カモ）
FBD16-WD

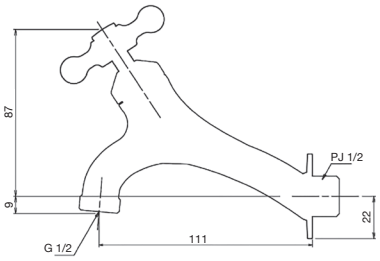
二口万能胴長水栓（スズメ）
FBD16-SP



T16型二口横水栓
T16F-E/T16F-B/T16F-M

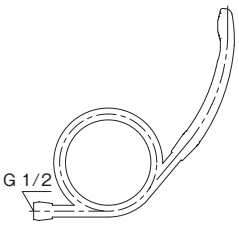


T14型胴長横水栓
T14D-E/T14D-B/T14D-M



【シャワーホースの寸法図】

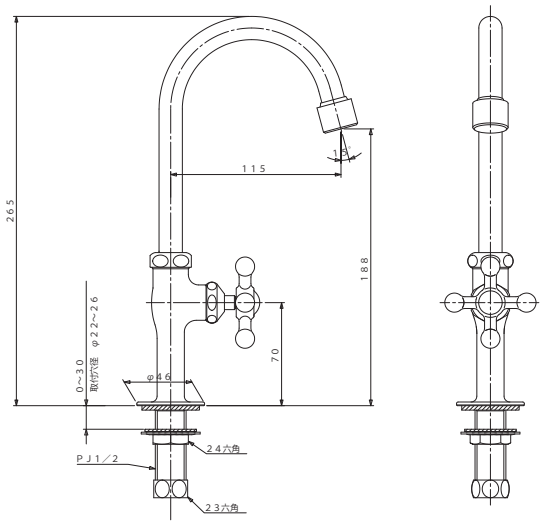
G216SHS-M



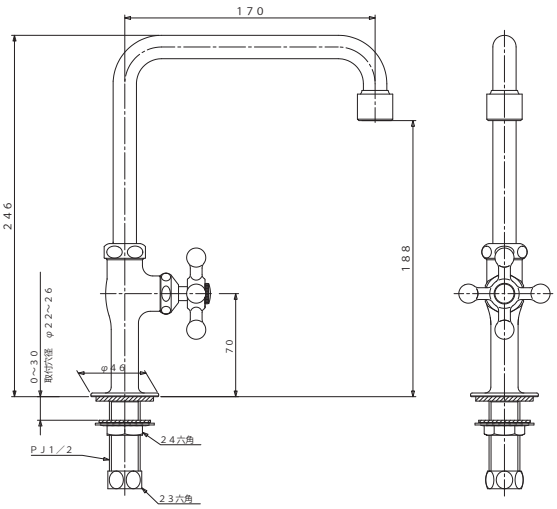
立水栓

【スワンの寸法図】

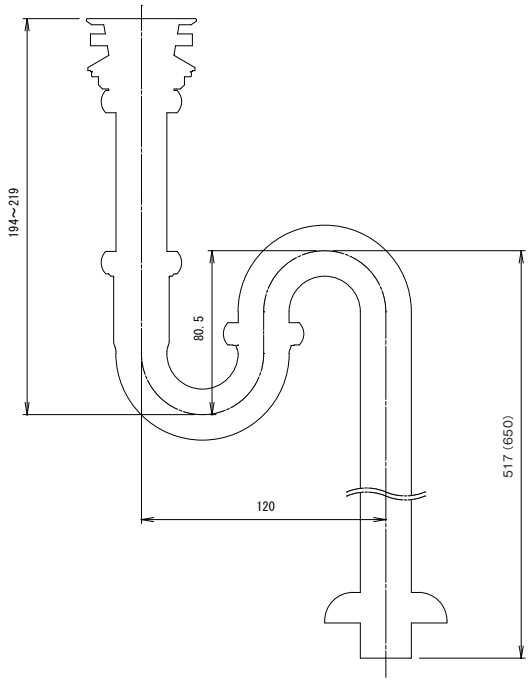
K13-13SP／K13-13SPB／K13-13SPNS／K13-13SPBS



K13-13LP／K13-13LPB

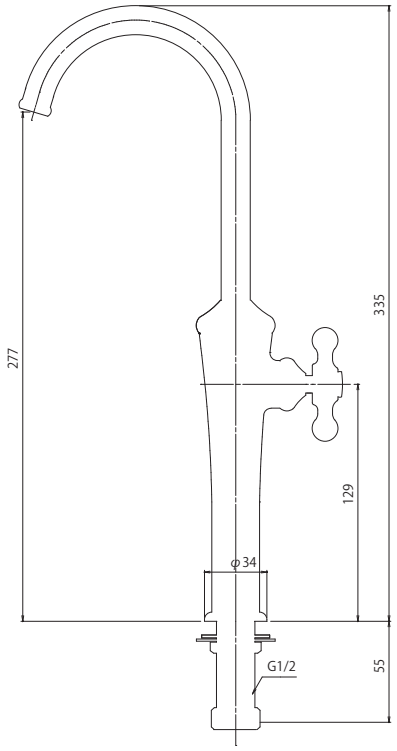


【Sトラップ・Sトラップ（ロングタイプ）の寸法図】



※（　）内の数値はロングタイプ

【レトロンの寸法図】



ガーデン

【スワンの施工要領】

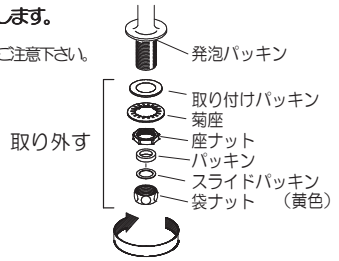
・正しい設置および正しい使用がされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いかねますので予めご了承下さい。

器具の取り付け

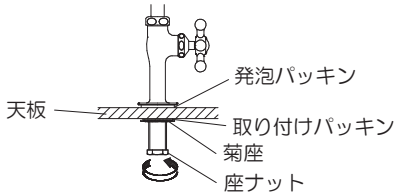
取り付け順にしたがって確実にお取り付け下さい。取り付け後は本管を開き、締め付け各部からの漏れの無いことを確認し、実用テストを必ず実施して下さい。

1 水栓に取り付けてある袋ナット、座ナットのネジを回し、菊座、取り付けパッキンを取り外します。

※取り外す時には部品をなくさないようにご注意下さい。

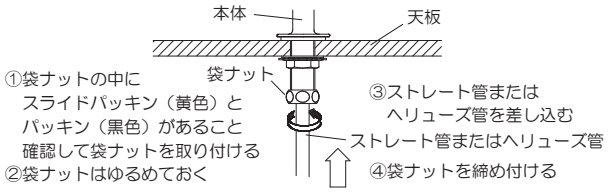


2 本体をハンドルが右側になるように天板の穴に差し込み、下から取り付けパッキン、菊座をいれ座ナットで締め付けます。



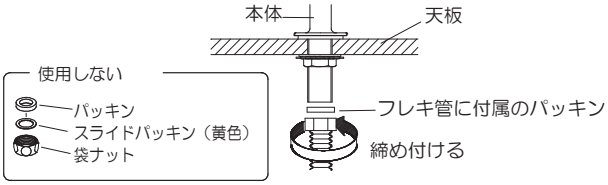
3 本体と止水栓を接続します。（ストレート管、ヘリューズ管の場合）

※付属の袋ナットにスライドパッキン（黄色）とパッキン（黒色）が入っていることを確認して袋ナットを取り付けて下さい。
※袋ナットをゆるめ、ストレート管またはヘリューズ管を差し込み、袋ナットを締め付けて下さい。



3 本体と止水栓を接続します。（フレキ管の場合）

※フレキ管で接続する場合、付属の袋ナット、パッキン、スライドパッキンは使用しません。フレキ管のナットで直接本体に接続して下さい。
※本体とフレキ管の間には必ずフレキ管に付属されているパッキンを使用して下さい。



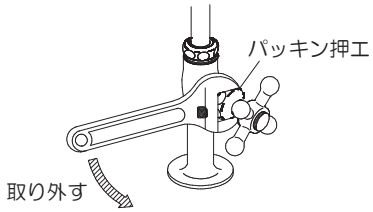
取り付け後の点検

※水栓の出し止めを数回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認して下さい。
※天板の上から水栓に対し、水をかけてキャビネット内に浸入がないか確認して下さい。

コマの掃除

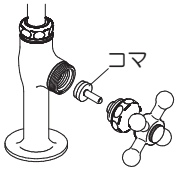
止水できなくなった場合には、コマにゴミがついていることがありますので、下記の手順によりコマの掃除を行って下さい。

1 止水栓のハンドルを閉じて給水を止めます。パッキン押エのネジを回して上部を取り外します。



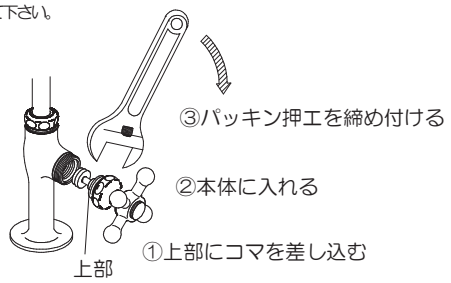
2 コマを取り出し、ゴミを取り除きます。

※コマが取れない場合は、ラジオペンチ等ではさんで取り出して下さい。



3 上部にコマを差し込み、本体に取り付け締め付けます。

※全ての部品を取り付け、水栓の出し止めを数回繰り返し、接続部から水漏れがないことを確認して下さい。



吐水口の掃除

吐水口部が詰まると吐水量が少なくなったり、温度調整が出来なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき吐水口部を掃除して下さい。

※吐水口部を外して、網目やすに詰まったゴミをブラシなどで取り除いて下さい。

お手入れの方法

いつまでも美しさを保つため、柔らかい布で磨き、メッキされたところはときどきミシン油やカーワックスなどをしみ込ませた布で磨いて下さい。

※クレンザー、みがき粉、粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはメッキ面を傷つけますので使用しないで下さい。

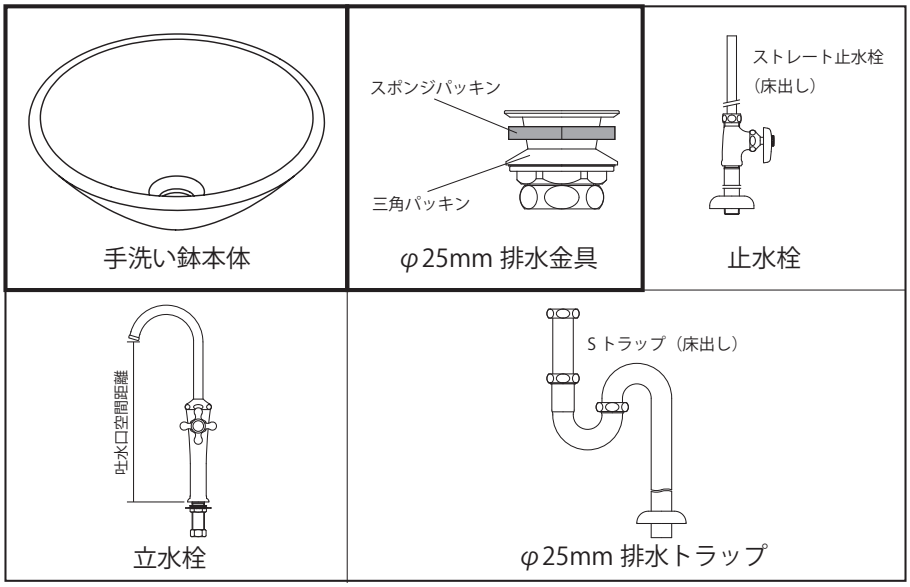
※また、酸性洗剤はメッキを侵しますので使用しないで下さい。間違って使用したときはすぐに水洗いして下さい。

※K13-13SPB・K13-13LPB（ブロンズメッキ）、K13-13SPBS（ブラックサテンメッキ）は特殊メッキのため、経年により色が変わる場合があります。

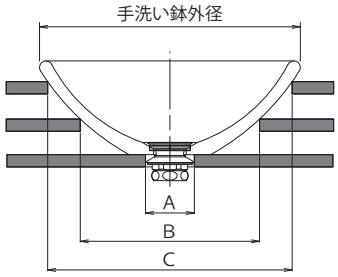
立水栓

【レトロン／Sトラップ／Sトラップ（ロングタイプ）】

各部の名称



参考寸法



手洗い鉢外径	天板穴径（参考寸法）		
	A：置き型	B：半埋め型	C：埋め型
φ250	φ60以上	φ150	φ230
φ300	φ60以上	φ200	φ280
φ350	φ60以上	φ250	φ330
φ400	φ60以上	φ300	φ380

施工に関する安全上のご注意

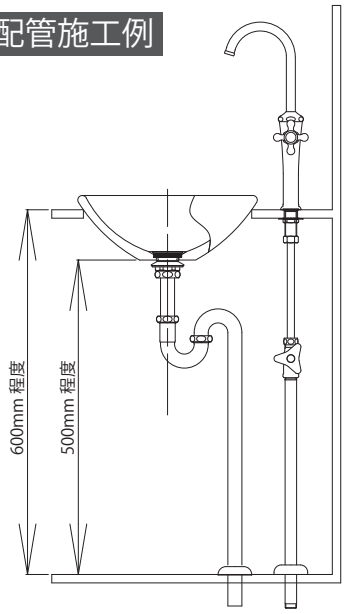
●手洗い鉢の取付工事は必ず専門の工事店に依頼してください。●手洗い鉢には様々な材質がありますが、壊れ物としてご認識ください。落としたりぶつけたりしますと、欠けたり割れたりするおそれがあります。●工具などの硬いものを手洗い鉢の上に落としたり、のせて引きずったりしないでください。

参考施工図

●下図は参考図です。必ず天板開口前に水栓や手洗い鉢の位置のバランスを見て開口位置を決定してください。
●天板と手洗い鉢のすき間に必ずコーキング処理をしてください。
●施工後には必ず通水点検を行ってください。
●必ずモンキーレンチ等の工具を用いて締付けてください。
手締めをすると水漏れが発生するおそれがあります。

※通水点検※
●水栓を吐水させ、適切な吐水量であるか確認します。
水はねが激しい場合は、止水栓を絞るか、手洗鉢の位置を微調整してください。
吐水量が排水能力を上回る（あふれる）場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
●通水、排水経路の接続部に水漏れが無いか確認します。
●排水がスムーズに行われているか確認をします。

床出し配管施工例



日頃のお手入れ

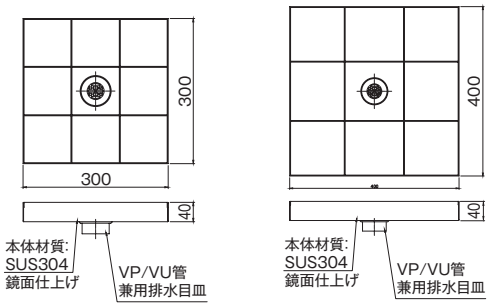
製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

● 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。● 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。● ゴミ等により排水口が目詰まりすることがあります。その場合、排水口を掃除してください。● 酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。

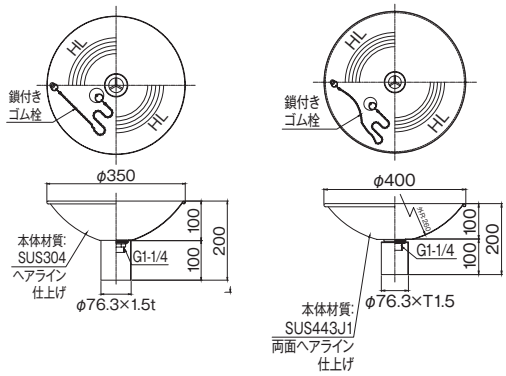
メタルパン

施工断面図　寸法図

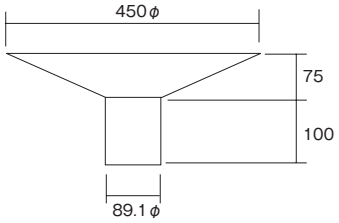
フラット300　フラット400
414G/415G



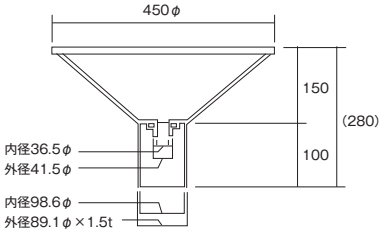
アールパンS HL 412/アールパンM HL 411



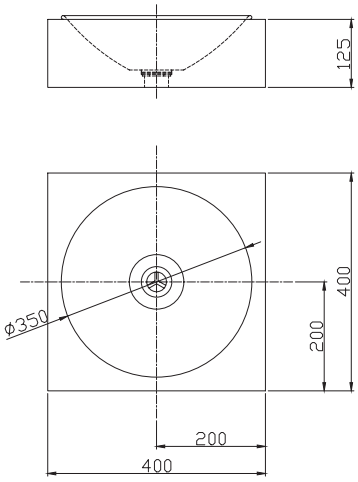
ステンレス平鉢
407



ステンレス中鉢
405



アールパンS スクエア 413



ガーデン

水栓パン

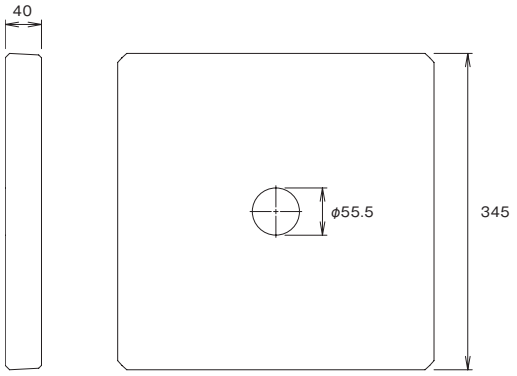
施工要領　寸法図

【スクエアパン】

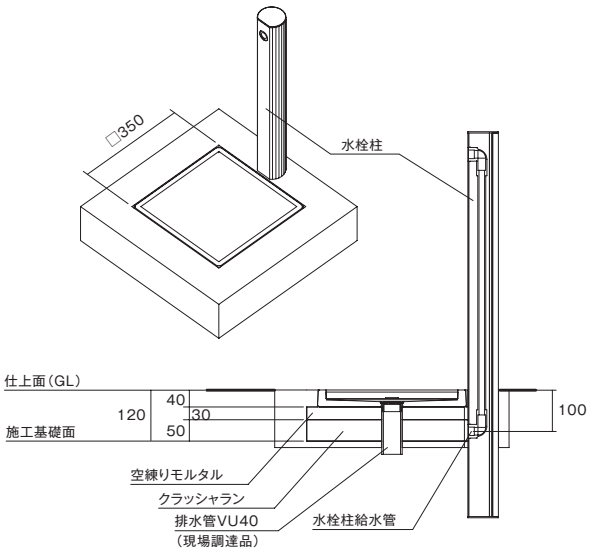
■ 施工前の確認

＜設置場所の確認＞
●ガーデンパンは、必ず安定した砂利、モルタル、コンクリの上等に設置して下さい。
●水栓柱の給水配管に干渉しないよう、水栓パン、及び排水設備を施工して下さい。

＜排水管のサイズ＞
●水栓パンの排水金具は塩ビパイプＶＵ40対応品です。
排水管は塩ビパイプＶＵ40を用意して下さい。
※排水管（塩ビパイプＶＵ40）は現場手配となります。



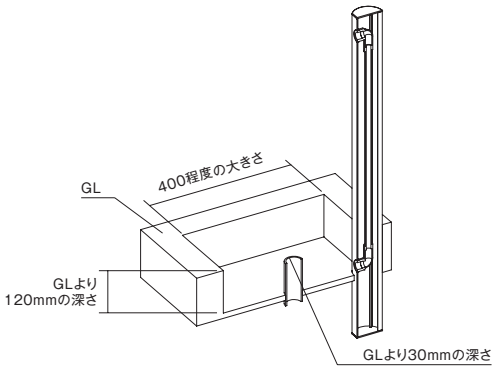
＜施工完了例＞（単位:mm）



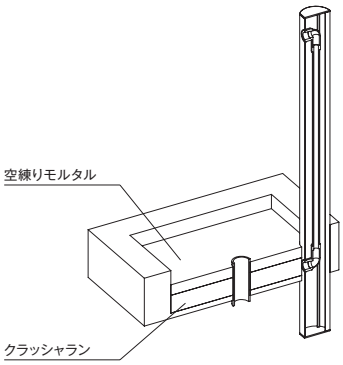
■ 施工手順

ＧＬとツラ位置で、埋め込んで施工する場合の施工方法となります。
お好みで埋め込み深さを浅くする場合は、希望する埋め込み深さに合わせて寸法の調整を行って下さい。

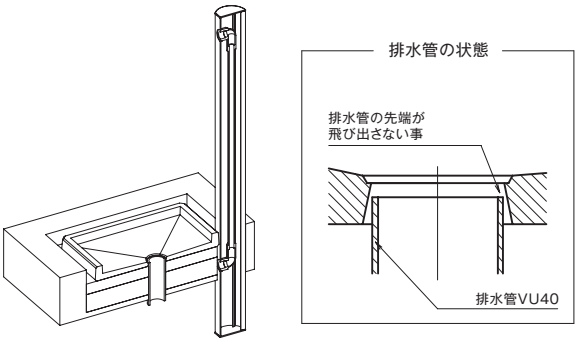
1 パンの大きさより周囲100mm大きく、120mmの深さで床堀し、充分に転圧します。このとき排水管（塩ビパイプＶＵ40。現場調達品）をパンの穴位置にあわせ埋設しておきます。排水管の上端はGLより30mm低くして下さい。また、水栓柱の給水管と干渉しないよう、排水パイプの位置を検討して下さい。



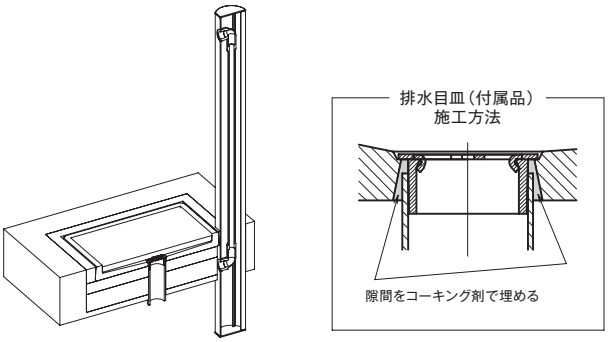
2 クラッシャランを50mm敷設し転圧した後、その上に空練りモルタルを30mm敷設します。



3 パンをセットし、パンの高さを調整します。この時、排水管が飛び出さないようにします。飛び出した場合、適切な高さへ切断、または空練りモルタルで高さを調整し、問題の無い事を確認してから、パンの周囲を埋め戻して下さい。



4 排水管とパンの隙間をシリコン系コーキング剤で充填し、排水金具を差込みます。水はね防止マットをセットし、完成です。

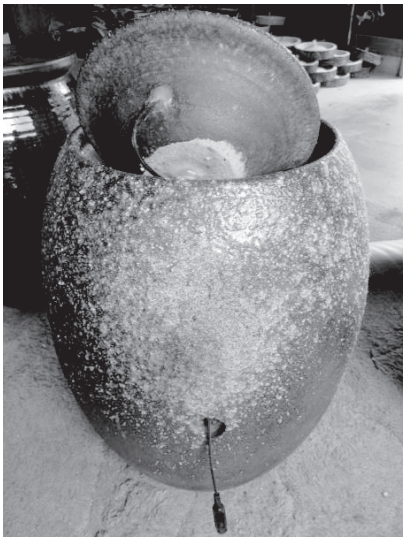


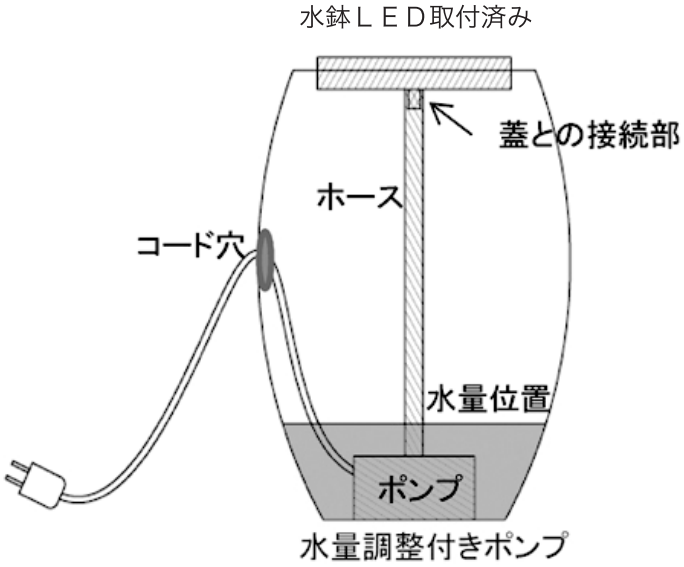
ガーデン

利休信楽水琴窟（屋内用）

【光の琴音・琴音B】

■信楽焼重蔵窯が物販型開発に成功した水琴窟構造略図





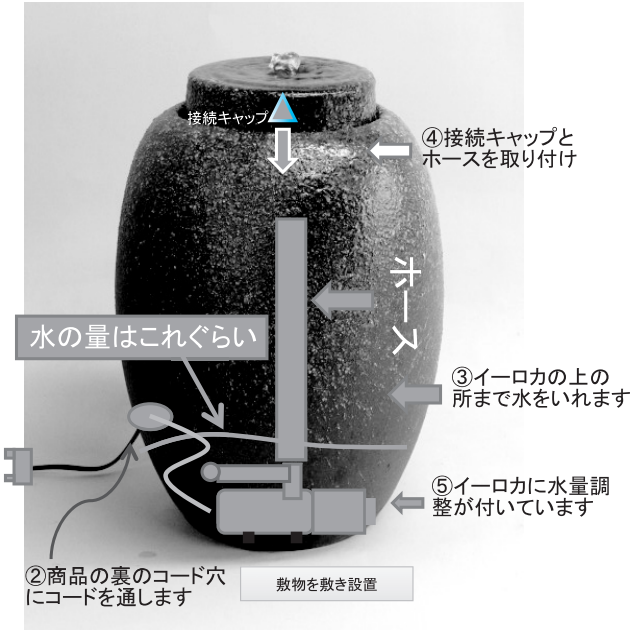
①水琴窟本体を設置する。

②水中ポンプフィルター＜イーロカ＞を本体底部に置き、
商品の裏の穴にコードを通します。
＊ホースが長い場合はポンプが傾く事がございますが支障ございません。

③水琴窟本体に＜イーロカ＞上部が隠れる所まで
水を入れて下さい。

④水琴窟の蓋裏部に接続キャップと
ホースを取り付けて下さい。

⑤電源を入れて下さい。
（水の勢いが強い場合は、＜イーロカ＞にて水量調整をして下さい）

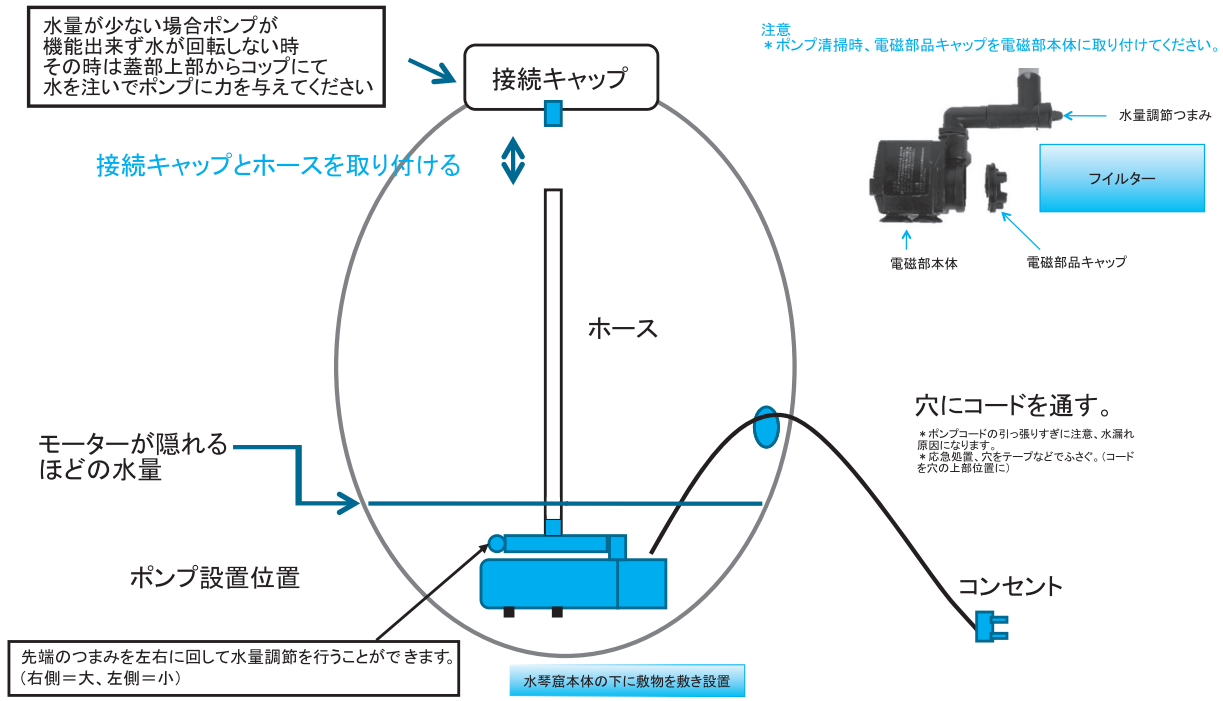


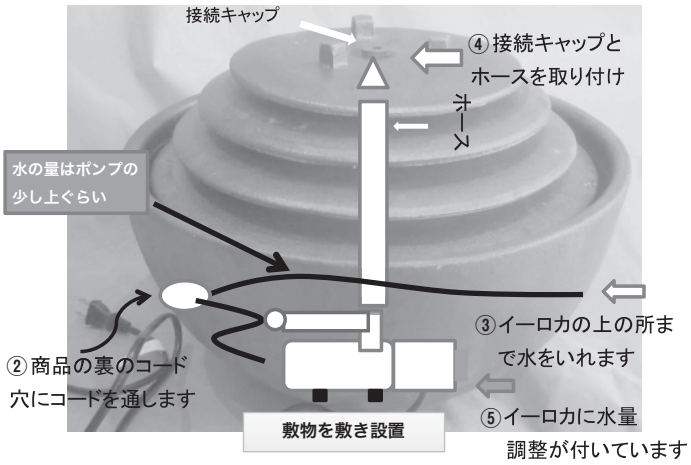
＜注意事項＞
設置の際には以下の点にご注意下さい
＊セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行って下さい。
（感電の原因になります）
＊ ＜イーロカポンプ＞電源部に水などがかからないようにして下さい。
＊水はねなど周辺に水が飛び散る場合がございます。飛び散る場合水量調節にて水量を小さくして下さい。
＊②ポンプのコードの引っ張りすぎに注意、水漏れ原因になります。
＊応急処置、穴をテープなどでふさぐ。（コードを穴の上部位置に）
＊屋外で使用した場合、雨水により感電の原因、コード穴まで雨水が入り込み反響音が変わる原因になります。
＊ポンプは購入店から購入できます。
＊不具合が生じた場合購入店にご相談下さい。
＊設置の時、水琴窟本体の下に敷物を敷き設置して下さい。直接設置すると床、畳などに傷、変色（拭きわすれ水、日当たりによる色落ち）する原因になります。
＊設置場所に似合うデザインの受け皿を設置することをお勧めいたします。（素材例、プラスチック、ガラス、石）

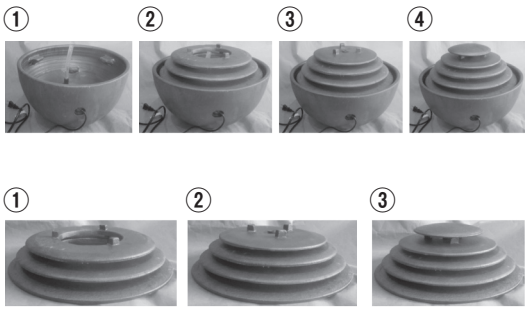
利休信楽水琴窟（屋内用）

施工要領

【信楽焼・琴音ボール】







①琴音ボール本体を設置する。
②水中ポンプフィルター<イーロカ>を本体底部に置き、商品の裏の穴にコードを通します。
＊ホースが長い場合はポンプが傾く事がございますが支障ございません。
③琴音ボール本体に<イーロカ>上部が隠れる所まで水を入れて下さい。
④琴音ボールの蓋裏部に接続キャップとホースを取り付けて下さい。
⑤電源を入れて下さい。（水の勢いが強い場合は、<イーロカ>にて水量調整をして下さい）

<注意事項>
設置の際には以下の点にご注意下さい
＊セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行って下さい。（感電の原因になります）
＊ <イーロカポンプ>電源部に水などがかからないようにして下さい。
＊水はねなど周辺に水が飛び散る場合がございます。
＊設置の時、琴音ボール本体の下に敷物を敷き設置して下さい。
＊直接設置すると床、畳などに傷、変色（拭きわすれ水、日当たりによる色落ち）する原因になります。
＊設置場所に似合うデザインの受け皿を設置することをお勧めいたします。（素材例、プラスチック、ガラス、石）
＊ポンプのコードの引っ張りすぎに注意、水漏れ原因になります。
＊応急処置、穴をテープなどでふさぐ。（コードを穴の上部位置に）
＊屋外で使用した場合、雨水により感電の原因、コード穴まで雨水が入り込み反響音が変わる原因になります。
＊ポンプは購入店から購入できます。
＊不具合が生じた場合購入店にご相談下さい。

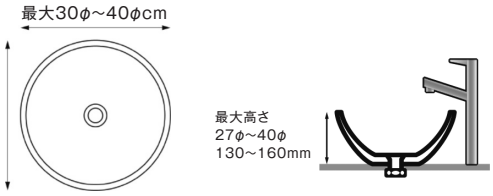
手洗い鉢

施工要領

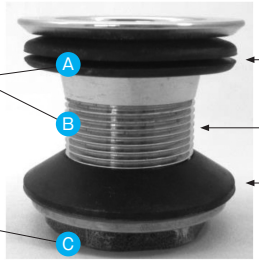
【手洗い鉢の施工要領】

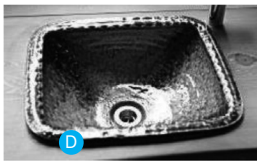
■ 手洗い鉢、ボウル排水金具取り付け手順

●丸鉢排水栓、パイプ径25mm使用
●手洗い鉢の排水金具は仮取り付けをした状態です。
①取り付ける手洗い鉢に排水金具を仮付けし、排水金具との相性を検証します。（出荷時に確認済みですが再確認。）
②排水金具を取り外しAとB２か所に防水処理材を塗布します。
　＊防水処理材例（ＴＯＴＯなどＰシール、市販のシリコンコーキング材）
③もう一度排水金具を取り付け、６角ナットをしっかりと本締めします。
　＊この場合事前にＦのネジ山にシリコン材を塗布して防水処理を行って下さい。
④最後にＣの箇所にメジ処理を施し手締めで取り付けます。
　＊メジ処理材例（ＴＯＴＯなどＰシール、市販のシリコンコーキング材）



【補足事項】
●上記方法を怠りますと水漏れする可能性が格段に上がります。
●①相性の調整、「パッキンA」を切って調整するか、取り外してＰシールやシリコンコーキング材などで防水処理を行って下さい。尚、「パッキンB」は絶対外さないで下さい。

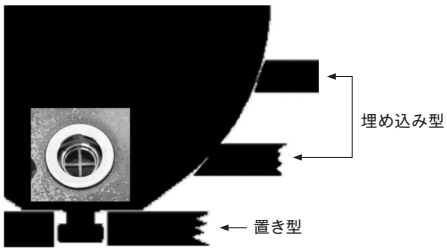




＊手洗い鉢と設置されたカウンターなどの
　Ｄ隙間に防水処理材にて防水処理をして下さい。
　水漏れする可能性があります。

（株）三栄水栓製作所　推奨立水栓　【撮影使用Y50750H-2T-13】
K4750NV-2T-13　シングルワンホール洗面混合栓　　K4750NK-2T-13　シングルワンホール洗面混合栓 寒冷地用
Y50750H-2T-13　立水栓　　Y5075H-2T-13　立水栓 ※止水栓との接続にT190-13X300ベンリーフレキを使用

手洗い鉢、置き型と埋め込み型図解
下記図解の様に、
各高さにより洗面台やカウンターに設置施工して下さい。
手洗い鉢現物の型紙を作成し、はめこみ施工して下さい。



●丸鉢排水栓、パイプ径
　25mm使用

（排水栓トラップ口径は
25mm用をご使用下さい）

＊取り付けに困られた場合、販売店にご相談下さい。

信楽焼照明（あかり）

施工要領

■ 設置方法

1 A照明器具を設置

2 本体陶器カバーを照明器にかぶせて完成

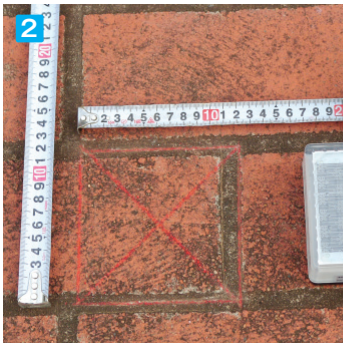
■ 注意
設置の際には以下の点にご注意下さい。
●この器具は防雨型です。浴室、サウナ風呂、高湿多湿の場所では使用できません。
●この器具は直置き型です。不安定な場所には設置されないようにお願いいたします。
●器具を改造したり、部品を追加、変更して使用しないで下さい。
●器具、本体の隙間や放熱穴などに金属類を差し込まないで下さい、又ふさがないで下さい。
●器具は高温のため触らないで下さい。
●照明を布等などで覆って使用しないで下さい。
●表示された電圧以外で使用しないで下さい。
●異常を感じた場合は早急に電源を切って下さい。
●温度の高くなる場所近くの取り付けはしないで下さい。

＊セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行って下さい。
　（感電の原因になります）
＊コードの引っ張りすぎに注意、転倒原因になります。

ソーラーライト

【ソーラーライトの施工要領】

工具類（参考）


墨出し

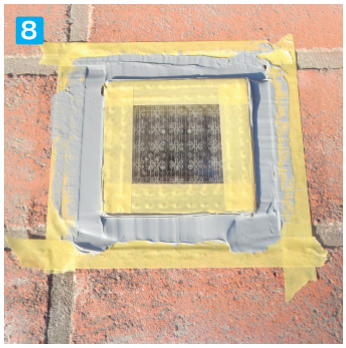
サンダー切込み

斫り

副資材（参考）

設置

バックアップ材充填


シーリング

完了

■ ソーラーライトについてのご案内

※**車乗り入れ不可**となります。

※ソーラーライトは直射日光のあたる場所で使われることを想定しています。常時建物の影になる場所、ピロティ、建物内部などには適していません。
設置場所は予め十分にご検討下さい。

※ソーラーライトは高耐荷重性能を有していますが、駐車場などへの設置により、タイヤの溝に挟まった石、ソーラーブリック直上でのハンドル操作、ブレーキ摩擦などにより、
ソーラーライトの破損を生じる恐れがあります。

※ソーラーライトは周囲が夜間でも明るい場所（約200ルクス以上）では点灯しないことがあります。街灯、庭園灯、その他外部照明との位置関係を十分に配慮してご計画下さい。

※ソーラーライトを直接土間コン打設時に埋設しないで下さい。コンクリートの硬化時に変形圧力がかかり、破損の原因となります。
必ず箱抜きをして、その空間部分に設置して下さい。

※ソーラーライトの周囲には必ず目地を設けて下さい。隣接する素材の膨張収縮率の違いから、夏季、冬季の伸び縮みにより、床仕上げ材へのクラック発生、
あるいはソーラーライトの破損の恐れがあります。

※水盤内の設置は、水深10㎝程度までとして下さい。また、透明度の低い池や海水には適しておりません。
製品の不具合が生じた場合などに、製品交換が出来るように、水盤内の水は排水できる構造とし、かつ、容易に取り外しが出来るシール止めとして下さい。

※夕刻の点灯時、朝方の消灯時において、一定時間点滅を繰り返すことがあります。これは周囲の明るさを検知して作動する商品の特性上、
切り替え時（約200ルクス）に起こり得る現象ですが、故障ではありません。

※工場出荷時は充電が空の状態です。設置直後は点灯が安定しません。満充電には晴天で3日ほどかかります。

※高輝度LEDは製造時に選定作業をしておりますが、個体別に微妙な色調のバラツキが生じる恐れがあります。LEDの特性としてご理解下さい。

※ソーラーライトは1つひとつが独立しており、個体差があります。複数個を同じ場所に設置した場合でも、点灯･消灯は完全には同期化しませんので、予めご了解下さい。

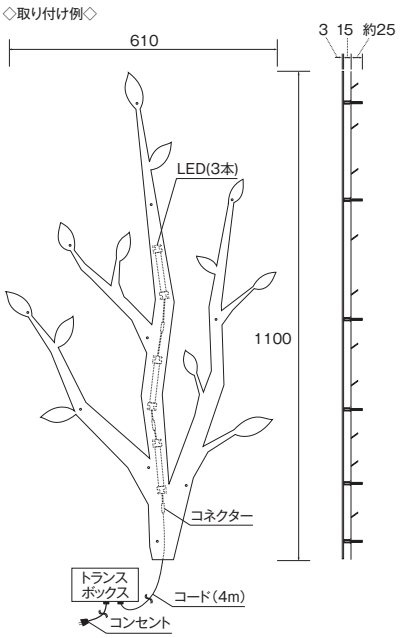
※365日点灯保証されるものではありません。冬季の日射不足や悪天候が続くなど、十分な日射が得られず、充電が切れた場合には夜間でも点灯しません。
晴天時に再度充電されることで点灯するようになります。一度充電が切れた場合、満充電になるには晴天で3日ほどかかります。

※設置後は、一般的な清掃等以外、特別なメンテナンス作業などは発生しません。透明養生フィルムは設置後、必ず剥がしてご利用下さい。

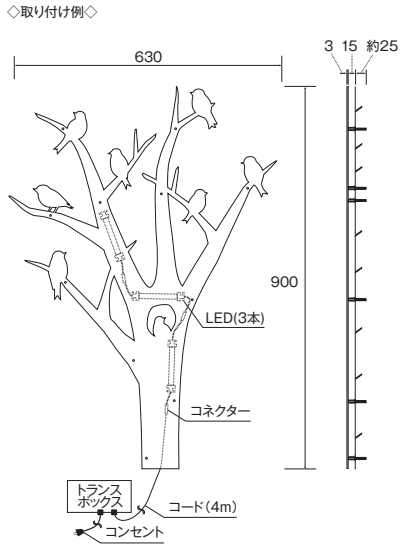
ツリーアート

【ツリーアートの寸法図】

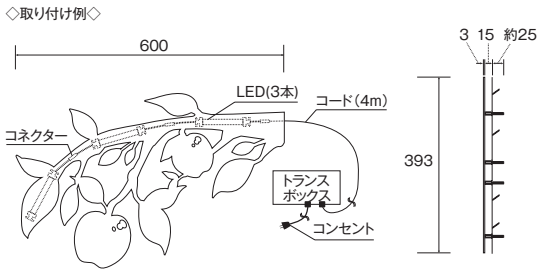
LED照明付き
GHOTA01LED



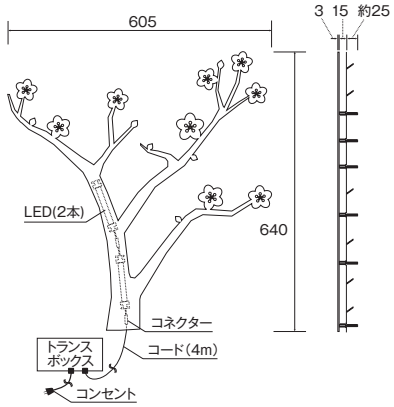
LED照明付き
GHOTA04LED



LED照明付き
GHOTA07LED



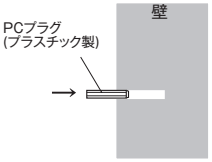
LED照明付き
GHOTA06LED



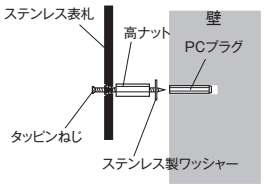
【ツリーアートの施工要領】

1 【壁に下穴をあける】
電動(振動)ドリルで直径7mm、深さ25mm強の穴を開けて下さい。
穴の中に残った削りクズは掃除機などで取り除いて下さい。

2 【PCプラグを壁に打ち込む】
力を入れず軽くハンマーで打ち込んで下さい。



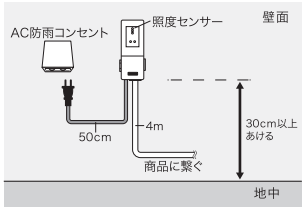
3 【表札を取り付ける】
タッピンねじを表札の表側から表札の穴に差し込み、次に高ナット、ステンレス製ワッシャーに通して下さい。
そして、壁のPCプラグに手廻しドライバーで回し込んで下さい。



【取り付け前のご注意】 下記の条件で設置場所を決めて下さい。

屋外での電源の供給には、必ずAC防雨コンセントを使用して下さい

- ●直射日光が当たらない、風通しの良い場所に設置して下さい。
- ●この商品には、センサー機能がついています。
  照度センサーに自然光が入るよう、本体を取り付けて下さい。
- ●トランス本体正面に、ライトを設置しないで下さい。ライトが点滅する原因となります。
- ●地面から最低30cm以上で、軒下など雨の直接かからない壁面へ取り付けて下さい。
- ●カバーの開閉のスペースを考慮して下さい。
- ●以下の場所には設置しないで下さい。
  - ○昼間でも暗いところ →接続したライトが日中から点灯し、消灯しない場合があります。
  - ○夜間でも明るいところ →接続したライトが点灯しない場合があります。
  - ○車のヘッドライトや照明の光が、照度センサーに直接当たる場所
    →照度センサーが反応し、設定した点灯時間通りの動作をしない場合があります。
- ●この商品は、防雨型・壁面取付専用です。
  「天井面」「据置き」
  「本体より小さい取付面」
  「補強のない薄い場所」「傾斜面」、
  以上のような取り付けの場合、
  火災・感電・落下の原因となります。

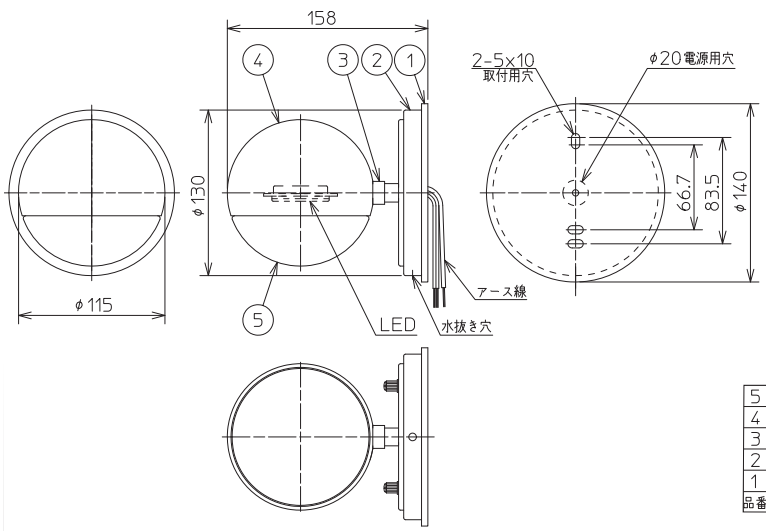


MARU（マル）／SANKAKU（サンカク）

施工要領　寸法図

【MARU（マル）の寸法図】

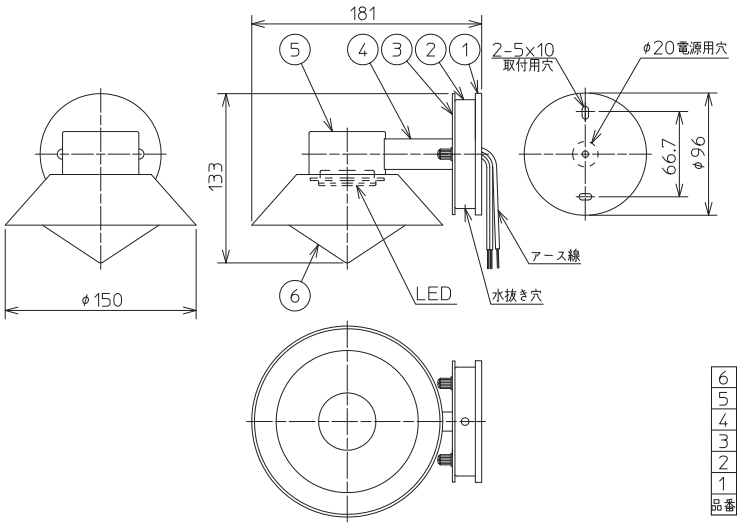
MAS-13602



品番	品名	材質	数量	摘　要
5	グローブ	ガラス	1	乳半マット
4	セード	アルミ	1	各色塗装
3	アーム	アルミ	1	各色塗装
2	フランジ	アルミ	1	各色塗装
1	ベースパッキン	EPTスポンジ	1	黒

【SANKAKU（サンカク）の寸法図】

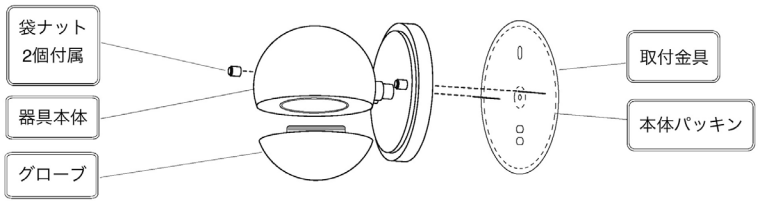
MAS-13603



品番	品名	材質	数量	摘　要
6	グローブ	ガラス	1	乳半マット
5	セード	アルミ	1	各色塗装
4	アーム	アルミ	1	各色塗装
3	化粧プレート	アルミ	1	各色塗装
2	フランジ	アルミ	1	各色塗装
1	ベースパッキン	EPTスポンジ	1	黒

【MARU（マル）/SANKAKU（サンカク）の施工要領】

各部名称と取付方法



1. 取付け前の確認

● 器具重量(カタログ記載値)に十分耐えるよう、取付部の強度を確保してください。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 本体パッキンを取付ける

● 取付面をシール剤等で凹凸のないようフラットに仕上げ、切り欠きが下方向になるよう本体パッキンを取付けて、取付面と本体パッキンのら水が入らないよう防水処理してください。
不備がありますと火災・感電の原因となります。

3. 取付金具を取付ける

● 本体パッキンの溝に取付金具をはめ込み、取付金具から突き出している2本のネジが水平になるよう角度を調整して取付金具を固定します。
不備がありますと火災・感電・器具落下の原因となります。

4. 口出線を電源線に接続する

● 口出線との接続は確実に行い、防水テープ等でジョイント部を保護してください。アース線を利用してD種(第3種)接地工事を行ってください。
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

5. 器具本体を取付ける

● 器具本体に取付金具のネジ(2本)を通し、袋ナット(2個)で確実に固定します。
取付が不完全な場合、浸水による感電・器具落下の原因となります。

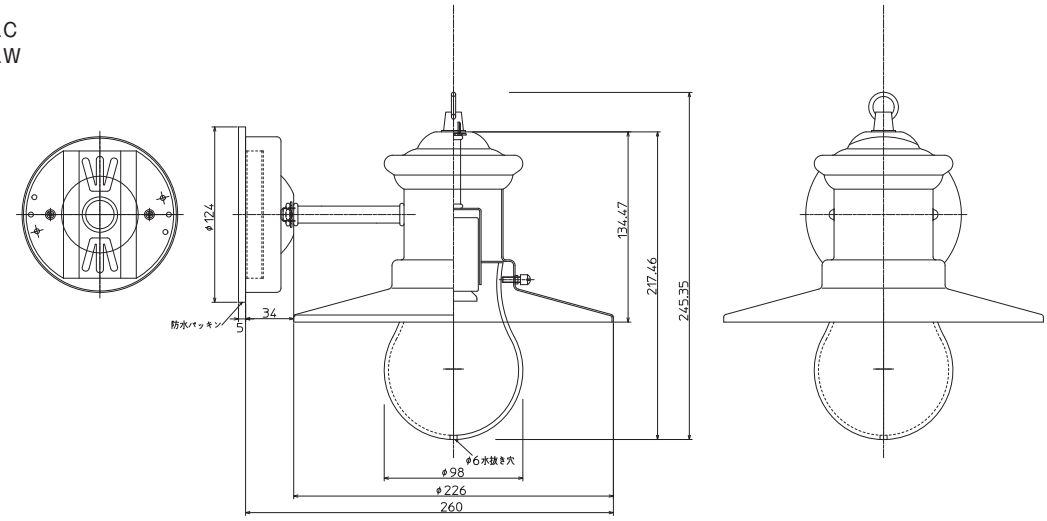
6. グローブを器具本体に取付ける

● 器具本体にねじ込んで確実に固定します。グローブ部はガラス製ですので落下や堅いものとの接触による破損に十分ご注意ください。

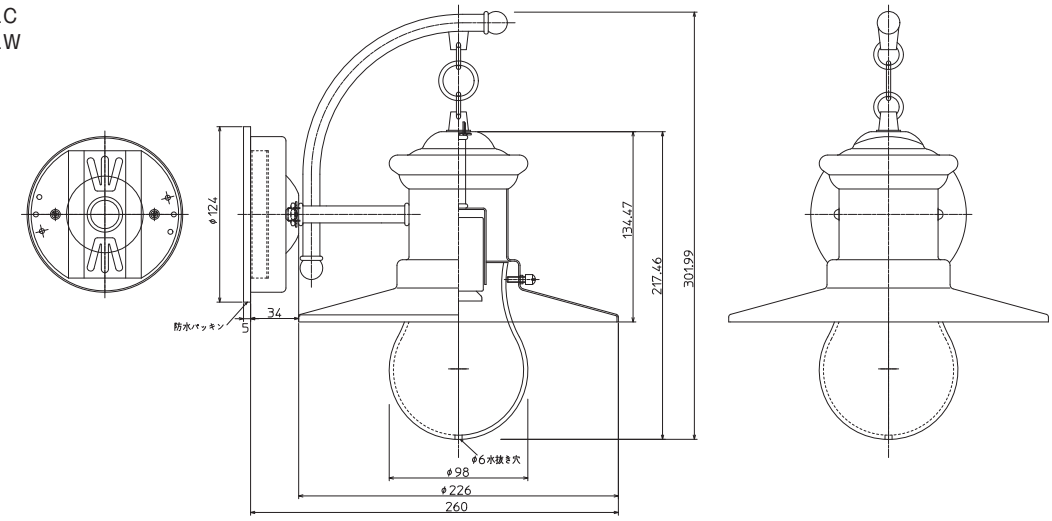
MARITIME（マリタイム）

【MARITIME（マリタイム）の寸法図】

E42005 HLC
E42005 HLW

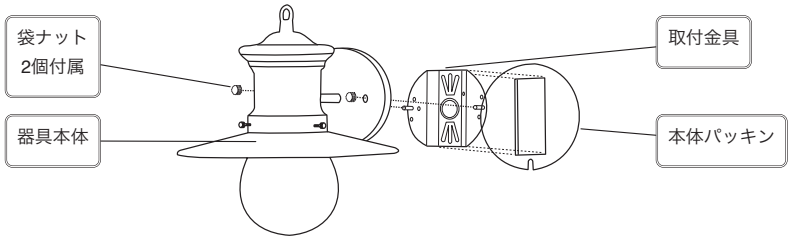


E42006 HLC
E42006 HLW



【MARITIME（マリタイム）の施工要領】

各部名称と取付方法



1. 取付け前の確認

● 器具重量(カタログ記載値)に十分耐えるよう、取付部の強度を確保してください。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 本体パッキンを取付ける

● 取付面をシール剤等で凹凸のないようフラットに仕上げ、切り欠きが下方向になるよう本体パッキンを取付けて、取付面と本体パッキンのら水が入らないよう防水処理してください。
不備がありますと火災・感電の原因となります。

3. 取付金具を取付ける

● 本体パッキンの溝に取付金具をはめ込み、取付金具から突き出している2本のネジが水平になるよう角度を調整して取付金具を固定します。
不備がありますと火災・感電・器具落下の原因となります。

4. 口出線を電源線に接続する

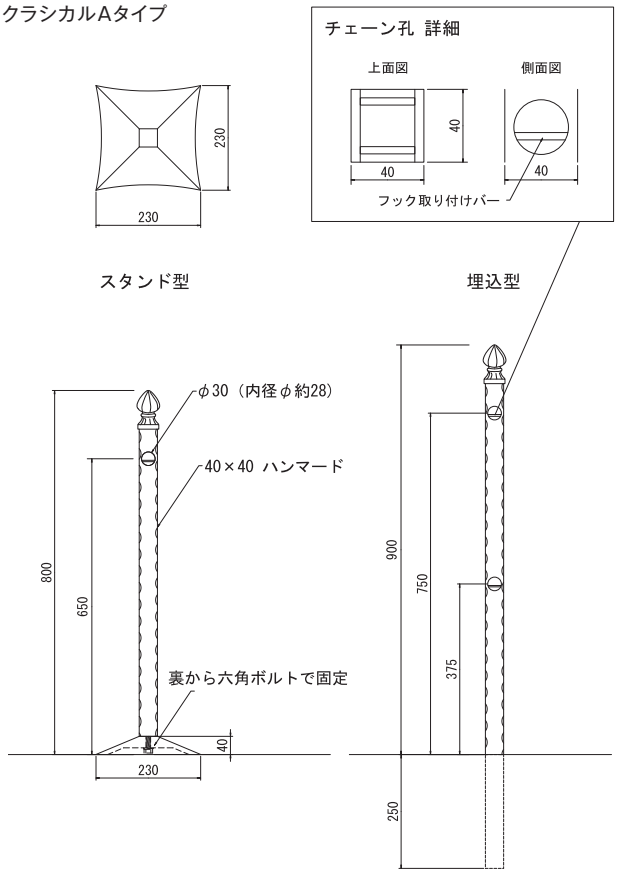
● 口出線との接続は確実に行い、防水テープ等でジョイント部を保護してください。アース線を利用してD種(第3種)接地工事を行ってください。
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

5. 器具本体を取付ける

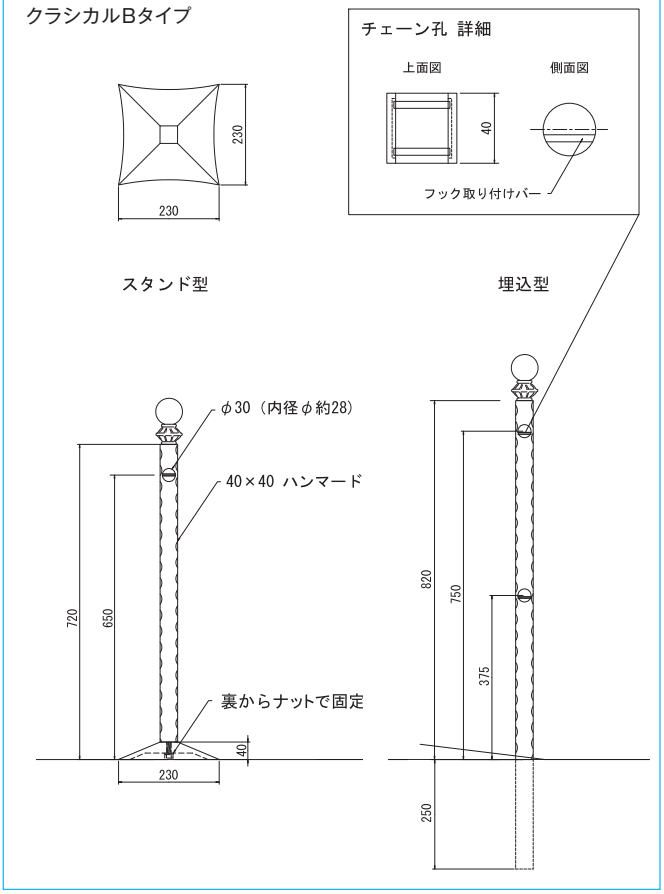
● 器具本体に取付金具のネジ(2本)を通し、袋ナット(2個)で確実に固定します。
取付が不完全な場合、浸水による感電・器具落下の原因となります。

ボーダーラインポール

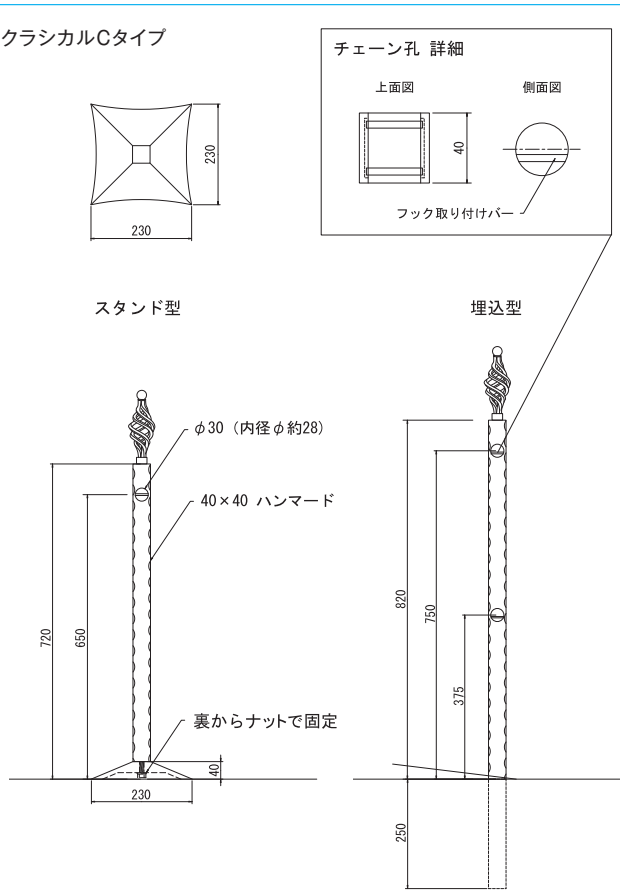
クラシカルAタイプ



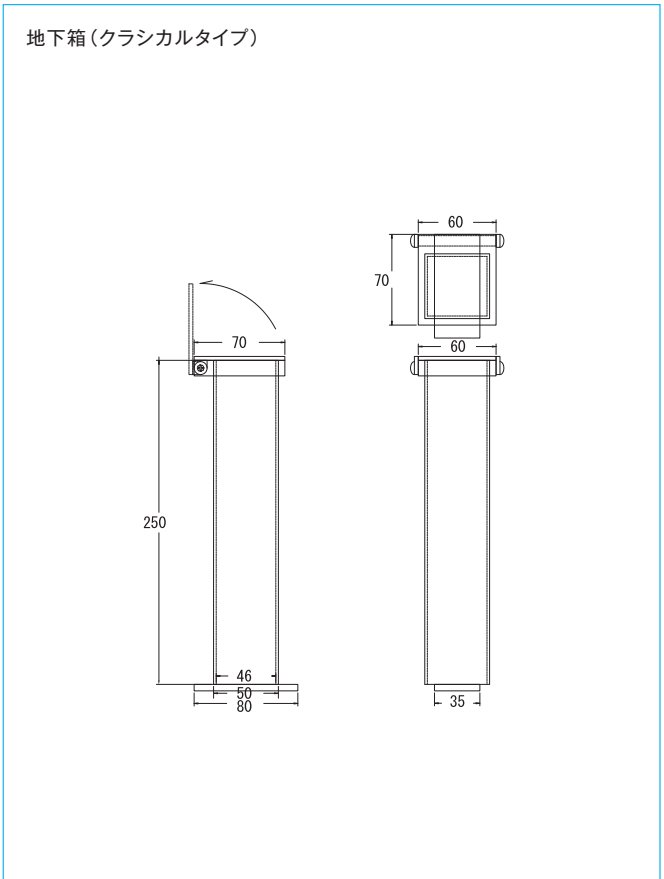
クラシカルBタイプ



クラシカルCタイプ



地下箱（クラシカルタイプ）

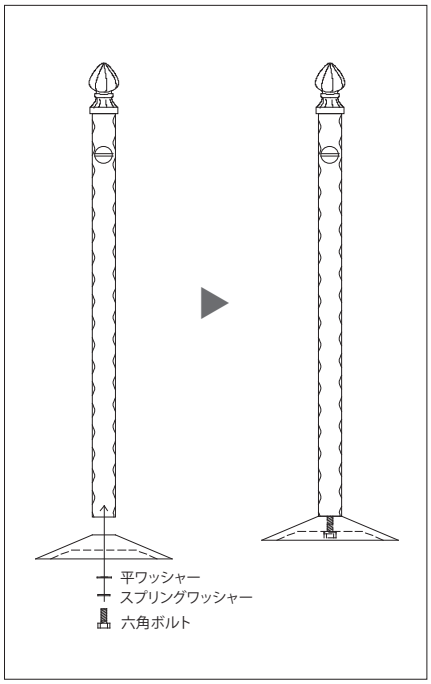


ガーデン

【スタンド型】

注意事項

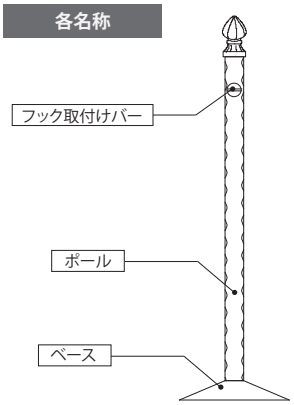
① 用途以外に使用しないで下さい。事故や怪我の原因になります。
② 水平で安定した場所に設置して下さい。不安定な場所で使用されますと製品が転倒し怪我や破損の原因になります。
③ 階段には使用しないでください。製品が転倒し怪我や破損の原因になります。
④ ポールとベースの接合はしっかりと固定した状態でご使用下さい。緩んだ状態で使用されますと怪我や破損の原因になります。
⑤ 異常を発見したまま使用しないで下さい。
⑥ 落としたりぶつけないでください。怪我や破損の原因になります。
⑦ 寄りかかったり乗ったりしないで下さい。怪我や破損の原因になります。
⑧ 物を乗せたりしないで下さい。怪我や破損の原因になります。
⑨ 製品を持って振り回さないで下さい。怪我や破損、事故の原因になります。
⑩ 万一転倒しても、人や物にぶつからない場所に設置して下さい。



組立方法

① 右図を参考に、ベースの穴とポールの穴の位置及び、お互いの角を合わせて下さい。
② 右図を参考に、六角ボルトスプリングワッシャーと平ワッシャーを通し、ベース中央の穴に下から差し込んで下さい。
③ 六角レンチを使用して、六角ボルトを時計回転方向に回し、確実に締め付けて下さい。

各名称



※イラストはAタイプです。

お手入れ方法

・簡単な汚れは毛羽のない柔らかい布で拭きとってください。
・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を付けて汚れを拭き取り、洗剤が表面に残らないように水拭きした後、柔らかい布で乾拭きして下さい。

【埋込型】

注意事項

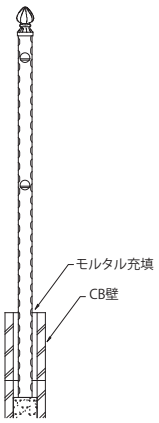
① 用途以外に使用しないで下さい。事故や怪我の原因になります。
② 本製品に寄りかかったり、チェーンやロープ部分に座らないで下さい。
③ チェーンやロープ部分に物を乗せたり、引っ掛けないで下さい。
④ 本製品の分解、修理、改造はしないでください。
⑤ 軟弱地では、本製品を使用しないで下さい。
⑥ 落としたりぶつけないでください。怪我や破損の原因になります。
※ 走行している車を物理的に止められる製品ではありません。
また、それらの強度基準はございません。

お手入れ方法

・簡単な汚れは毛羽のない柔らかい布で拭きとってください。
・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を付けて汚れを拭き取り、洗剤が表面に残らないように水拭きした後、柔らかい布で乾拭きして下さい。

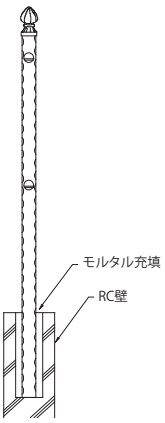
施工方法

コンクリートブロック（CB）壁への設置



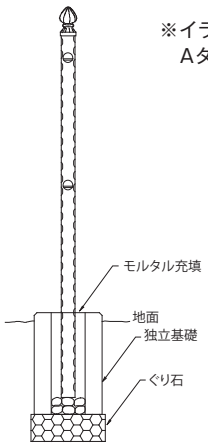
CBの穴に本製品を差し込み、高さ、垂直を十分に確認した上で、穴にモルタルを充填して固定してください。

鉄筋コンクリート（RC）壁への設置



RC壁にコア抜きした穴に本製品を差し込み、高さ、垂直を十分に確認した上で、穴にモルタルを充填して固定してください。

独立基礎を用いた地面への設置



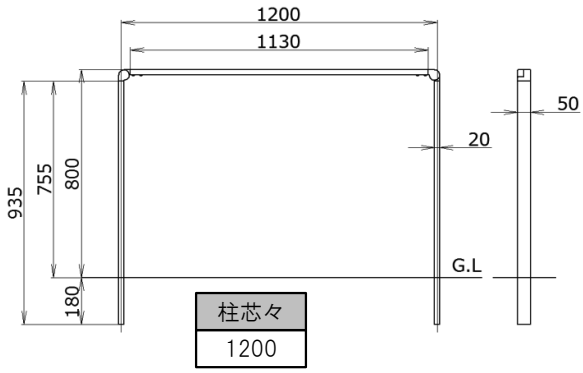
※イラストは
Aタイプです。

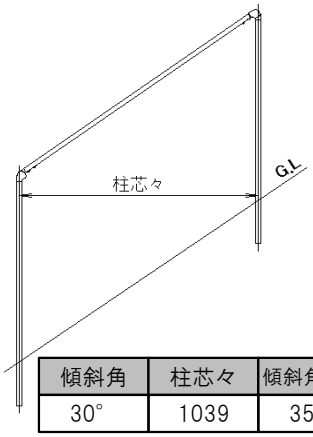
地面を掘り下げ、ぐり石の上に設置した独立基礎の穴に本製品を差し込み、高さ、垂直を十分に確認した上で、穴にモルタルを充填して固定して下さい。

アプローチ手すり

1 基本寸法

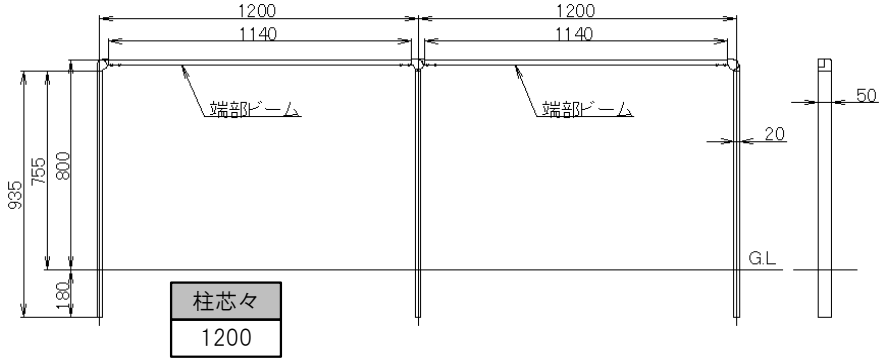
単独施工



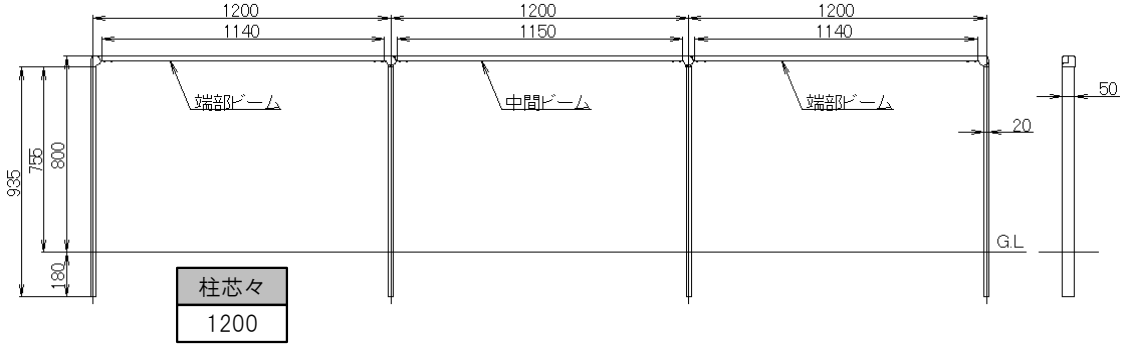


傾斜角	柱芯々	傾斜角最大	柱芯々
30°	1039	35°	987

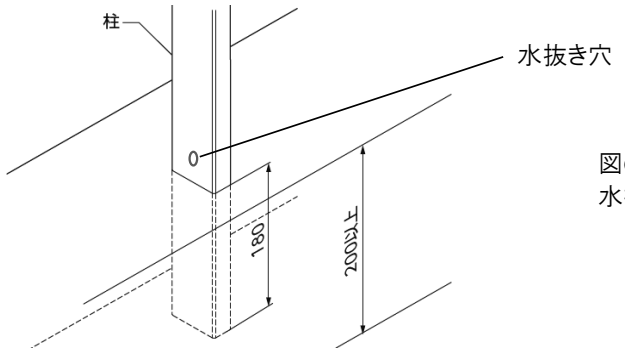
連続施工(2連)



連続施工(3連)

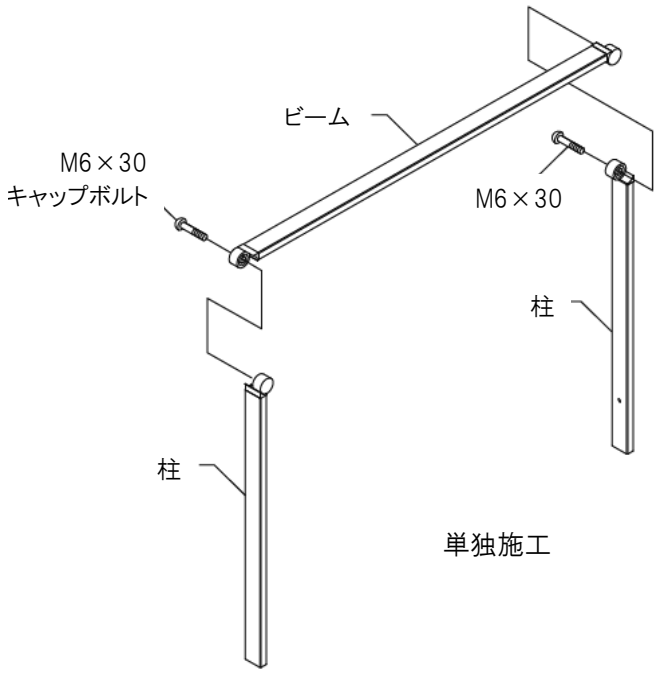


2 基礎の施工



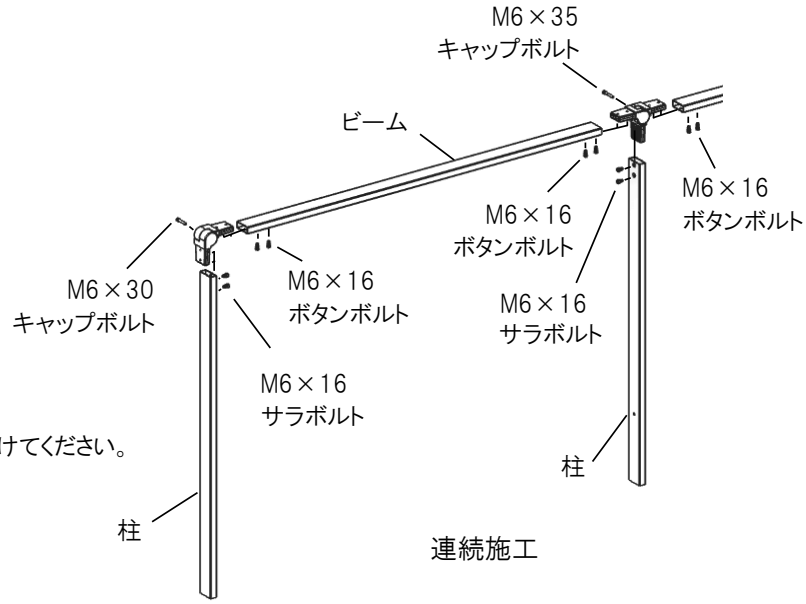
図のように本体を基礎に埋込んでください。
水抜き穴をふさがないように施工してください。

3 ビームと柱の取付



ネジの種類	
	キャップボルト （六角穴付キャップボルト）
	ボタンボルト （六角穴付ボタンボルト）
	サラボルト （六角穴付サラボルト）

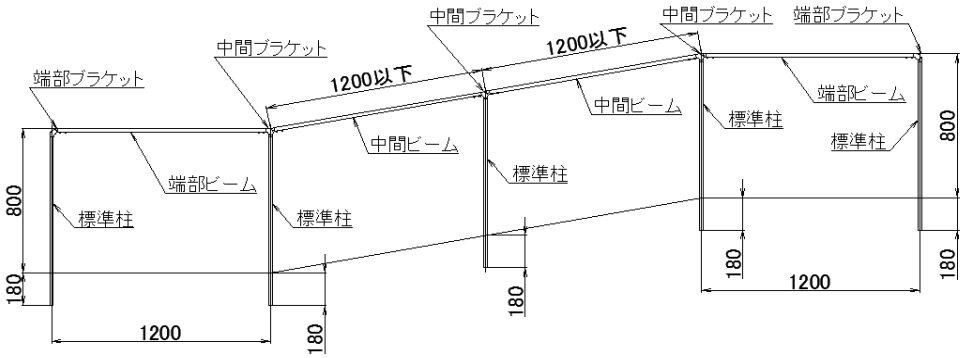
単独施工



図のように柱とビームを取り付けてください。

連続施工

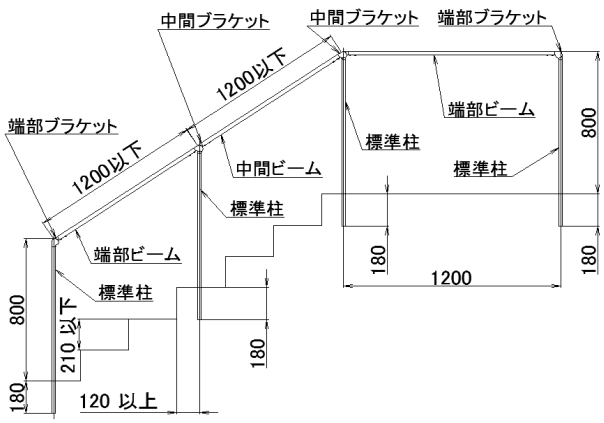
4 スロープ施工



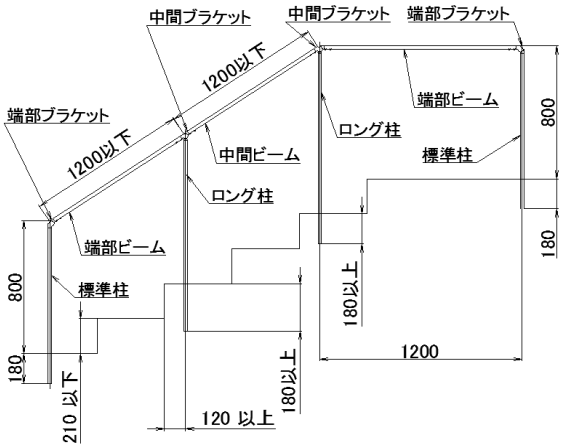
アプローチ手すり

5 階段施工

階段 標準柱施工例



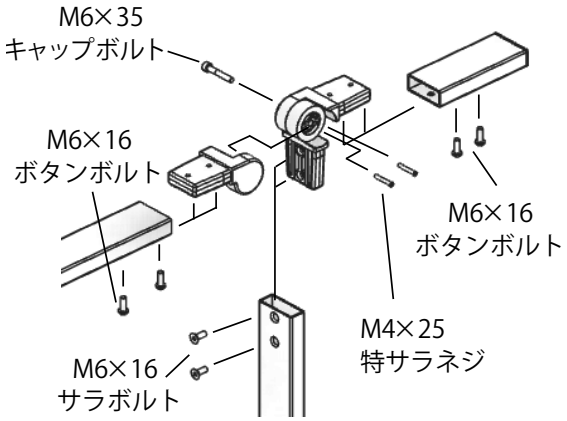
階段 ロング柱施工例



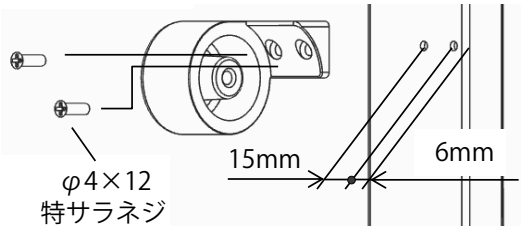
・ロング柱には、水抜き穴が加工されてません。
施工に合わせ、階段面から 20mm上部に Φ7の穴をあけてください。

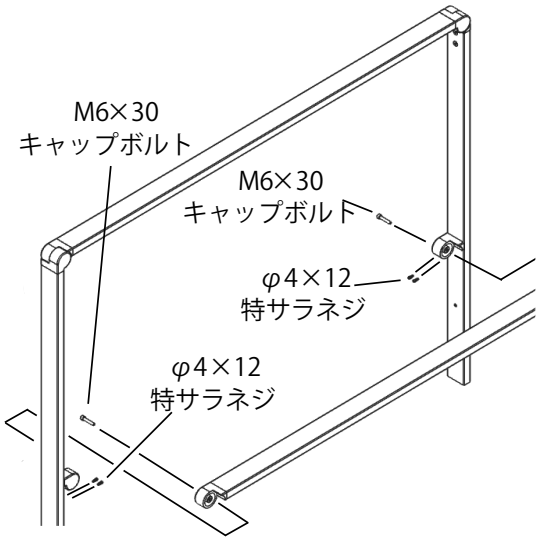
6 オプション

壁際ビームセット



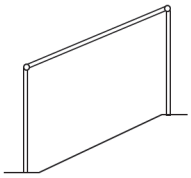
横桟セット



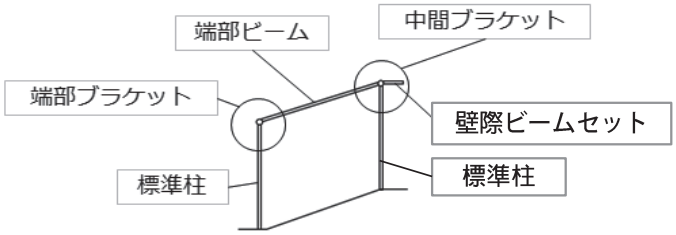


・横桟の高さは、任意です。ネジ下孔をあけ、
取り付けてください。
・ネジ下穴
アルミ形材: φ3.5
ステンレス: φ3.6
・下穴加工は、ブラケットの穴をガイドにすると
に穴あけできます。

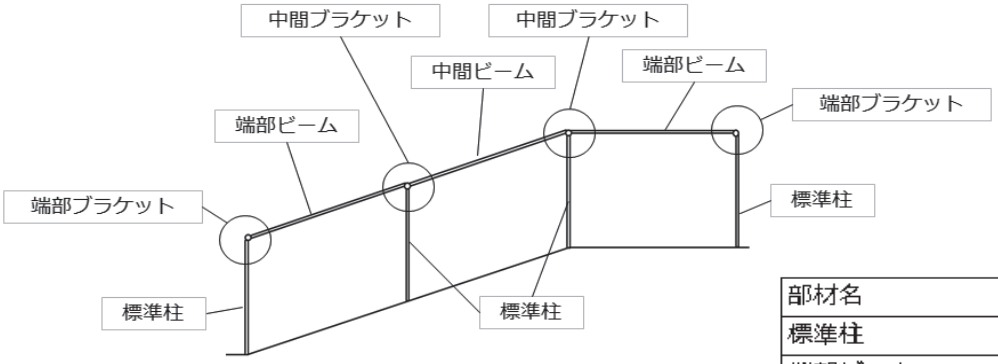
■ 拾いだし



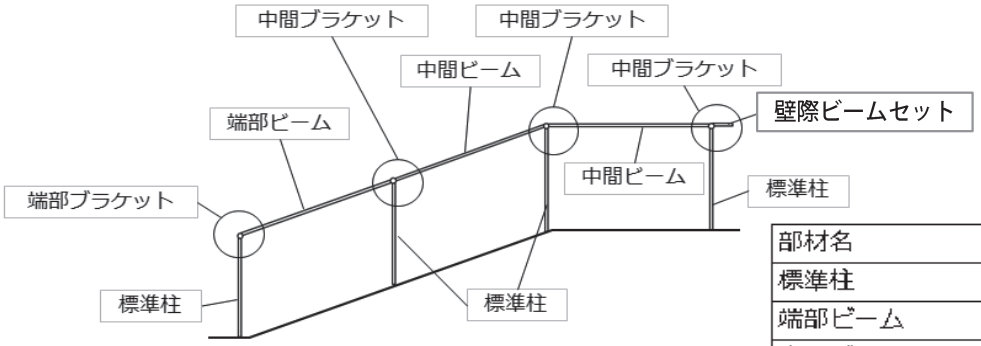
部材名	員数
単独セット	1



部材名	員数
標準柱	2
端部ビーム	1
壁際ビームセット	1
端部ブラケット	1
中間ブラケット	1



部材名	員数
標準柱	4
端部ビーム	2
中間ビーム	1
端部ブラケット	2
中間ブラケット	2

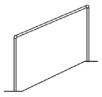


部材名	員数
標準柱	4
端部ビーム	1
中間ビーム	2
壁際ビームセット	1
端部ブラケット	1
中間ブラケット	3

アプローチ手すり

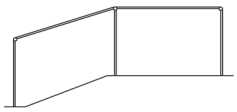
■セット価格

単独



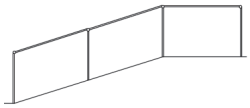
部材名	員数	アルミタイプ 小計	ステンレス 小計
単独セット	1	¥23,800	¥40,900

2連



部材名	員数	アルミタイプ 小計	ステンレス 小計
標準柱	3	¥12,900	¥27,900
端部ビーム	2	¥9,800	¥23,400
端部ブラケット	2	¥10,600	¥10,600
中間ブラケット	1	¥6,800	¥6,800
セット価格		¥40,100	¥68,700

3連



部材名	員数	アルミタイプ 小計	ステンレス 小計
標準柱	4	¥17,200	¥37,200
端部ビーム	2	¥9,800	¥23,400
中間ビーム	1	¥4,900	¥11,700
端部ブラケット	2	¥10,600	¥10,600
中間ブラケット	2	¥13,600	¥13,600
セット価格		¥56,100	¥96,500

4連

部材名	員数	アルミタイプ 小計	ステンレス 小計
標準柱	5	¥21,500	¥46,500
端部ビーム	2	¥9,800	¥23,400
中間ビーム	2	¥9,800	¥23,400
端部ブラケット	2	¥10,600	¥10,600
中間ブラケット	3	¥20,400	¥20,400
セット価格		¥72,100	¥124,300

5連

部材名	員数	アルミタイプ 小計	ステンレス 小計
標準柱	6	¥25,800	¥55,800
端部ビーム	2	¥9,800	¥23,400
中間ビーム	3	¥14,700	¥35,100
端部ブラケット	2	¥10,600	¥10,600
中間ブラケット	4	¥27,200	¥27,200
セット価格		¥88,100	¥152,100

施工される方へのお願い

1)ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

⚠ 注　意

製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項を厳守してください。

〈設置上の注意事項〉

1)本製品は、屋外通路へ設置し、歩行補助を目的にするもので、転落防止の機能はありません。転落などの大きな事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・GL 1m以下の高さで、ご使用ください。
・高い階段の外側や崖など、転落してケガをするおそれのある場所には設置しないでください。
・おおぜいの人が集まるおそれのある場所に設置しないでください。

2)地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

3)寒冷地で凍上するおそれがある地域でのご使用の際には、凍上線の下まで基礎を設けてください。

〈施工上の注意事項〉

1)施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

2)水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。

3)指定の組立てネジ・ボルトは指示に従って全て確実に締めてください。

4)指定の部品およびオプション品以外は、使用しないでください。

5)材料が固いので、ビスの取り外しを繰り返すと下穴が緩くなったり、ビスが折れる場合があります。

6)基礎は当社指示寸法以上にしてください。

7)コンクリート養生期間は十分(4～7日)にとり、養生期間中は重い物をのせたり、震動させたりしないよう支持してください。

8)基礎に海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。

9)凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食する恐れがあります。

施主様へのお願い

1)当社指定の付属部品以外は取付けないでください。
2)ボルト・ナット・ネジなどは絶対にゆるめないでください。
(使用中にゆるんだ場合は締め直してください)

梱包明細書(単独セット)

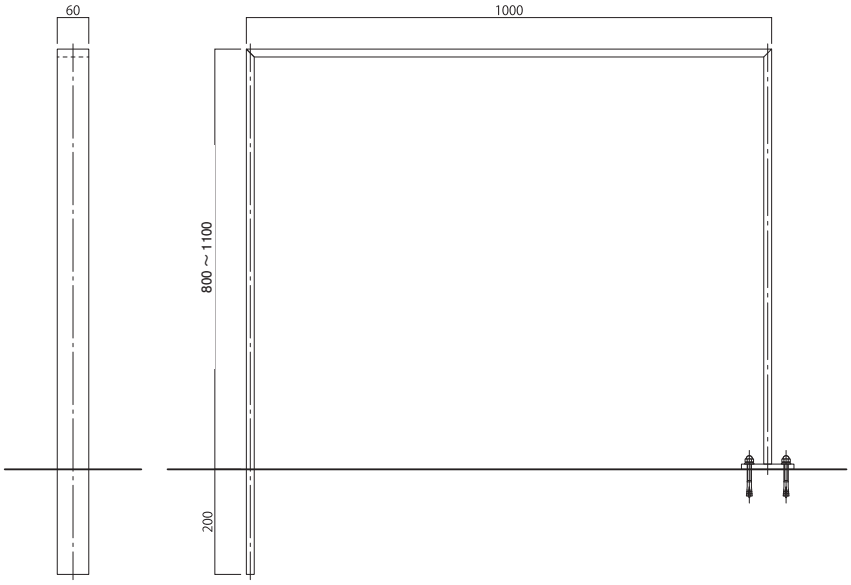
名　称	員　数
柱(端部ブラケットA組付)	1
柱(端部ブラケットB組付)	1
ビーム(端部ブラケットA、B組付)	1
M6×30 キャップボルト	2
取付・取扱説明書	1

梱包明細書(連続施工)

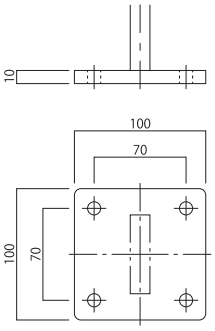
名　称	部品名称	員　数
標準柱		1
ロング柱		1
端部ビーム		1
中間ビーム		1
壁際ビームセット	壁際ビーム(端部キャップ組付)	1
	φ4×25 特サラネジ	2
横桟セット	横桟(端部ブラケットA、B組付)	1
	柱取付ブラケットA	1
	柱取付ブラケットB	1
	M6×30 キャップボルト	2
	φ4×12 特サラネジ	4
端部ブラケット	端部ブラケットA	1
	端部ブラケットB	1
	M6×30 キャップボルト	1
	M4×16 六角穴付サラボルト	2
	M4×16 六角穴付ボタンボルト	2
	取付・取扱説明書	1
中間ブラケット	中間ブラケットA	1
	中間ブラケットB	1
	柱中間ブラケット	1
	M6×35 キャップボルト	1
	M4×16 六角穴付サラボルト	2
	M4×16 六角穴付ボタンボルト	4

アルフラット

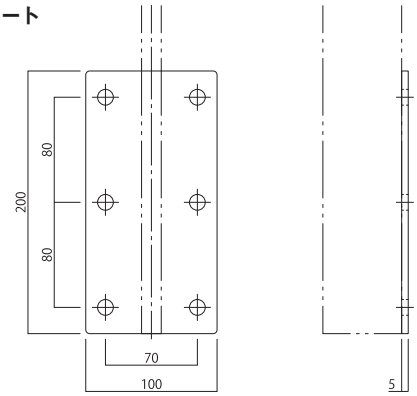
■ 寸法図　(01型の場合)



● ベースプレート



● 支柱壁面固定プレ ート



⚠ 設置上のご注意

●歩行補助手摺を目的にするものです。
歩行補助手摺以外への転用及び改造は行わないで下さい。

⚠ 施工上のご注意

●商品に傷をつけないようご注意下さい。
(傷は腐食の原因となりますのでタッチアップ塗料等で必ず補修を行って下さい)
●商品の施工については必ず施工要領書に従って下さい。
●製品の水平・垂直に注意して施工を行って下さい。
●基礎は当社指示寸法以上にして下さい。
●コンクリートモルタルの養生期間は十分(4日以上)とり、
養生期間中は重い物を乗せたり、振動させたりしないよう注意して下さい。
●施工後、ボルト及びねじ類にゆるみやガタつき、
その他使用上危険な箇所などないか点検して下さい。

■ 梱包内容

●セット内容

No.	同梱部品	数量	単位
1	手摺本体	1	セット

●ジョイントセット

No.	同梱部品	数量	単位
1	トラス小ねじ　M5×10	2	本

※開梱時に種類と数量を確認して**下さい。**
※商品に破損や異常が無いか確認して**下さい。**

●ベースプレートセット(オプション)

No.	同梱部品	数量	単位
1	ベースプレート※溶接済	1	枚
2	オールアンカー(8×70)	4	本
3	オールアンカー用ナット	4	個
4	ワッシャー(M8)	4	枚
5	スプリングワッシャー(M8)	4	枚
6	袋ナット(M8)	4	個

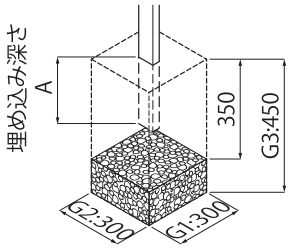
●壁面固定金具セット(オプション)

No.	同梱部品	数量	単位
1	壁面取付プレート※溶接済	1	枚
2	オールアンカー(8×70)	6	本
3	ワッシャー(M8)	6	枚
4	スプリングワッシャー(M8)	6	枚
5	袋ナット(M8)	6	個

■ 施工手順（埋め込み仕様の場合）

● 支柱の設置

下図を参考に支柱を固定して**下さい。**



●必要基礎寸法(表)

手摺高さ H	埋め込み深さ A	基礎寸法		
		G1	G2	G3
800～1100	200	300	300	450

● 本体の固定

基礎固定の場合

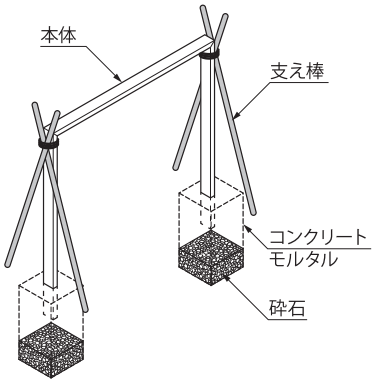
①基礎穴を掘り、水たまり防止のための砕石を敷いて**下さい。**
②本体をコンクリート・モルタルで固定します。

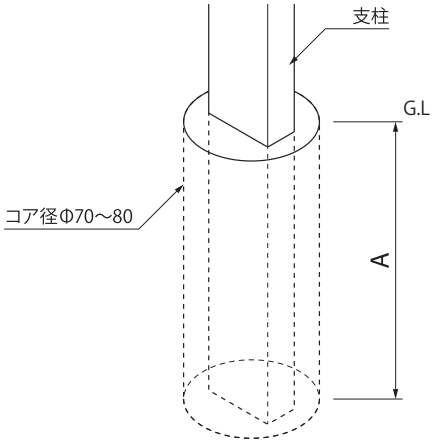
コア抜きの場合

①支柱の埋め込み深さを（A）mmとし、支柱を固定して**下さい。**
（コア径Φ70～80）
※本体の水平、垂直を確認するまで、固定しないで下さい。

⚠ ご注意

●本体を傷つけないよう養生した後、支え棒で自立させ、垂直・水平を確認してからコンクリートで打って**下さい。**

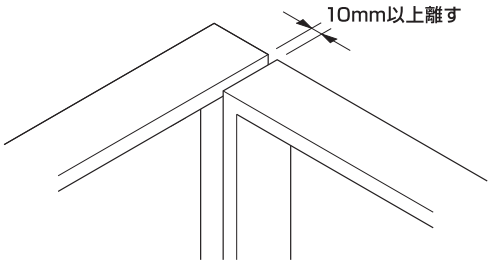




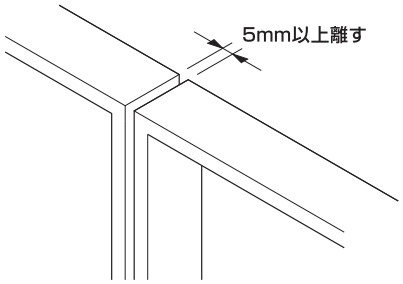
⚠ ご注意

●本製品を隣り合わせで設置する場合、笠木同士が接触し傷が付かないようにするため、笠木の端部を離して設置して**下さい。**

●コーナー部



●ストレート部



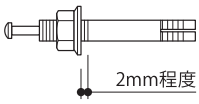
■ 施工手順（オーダー仕様）

● ベースプレートの場合

⚠ ご注意

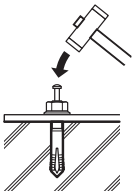
●アンカーを境界面から50mm以上離して設置して**下さい。**
●コンクリートブロック、レンガ等への設置はお避け**下さい。**

①オールアンカーのナット部分を、完全に締め込む手前（ねじ部が2mm程度残るくらい）までまわして**下さい。**

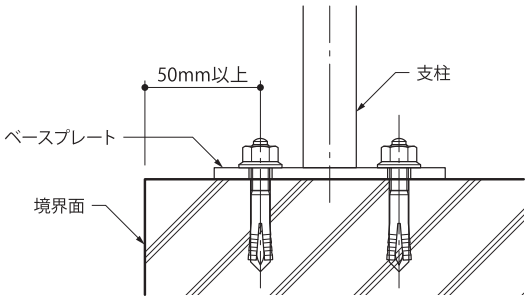


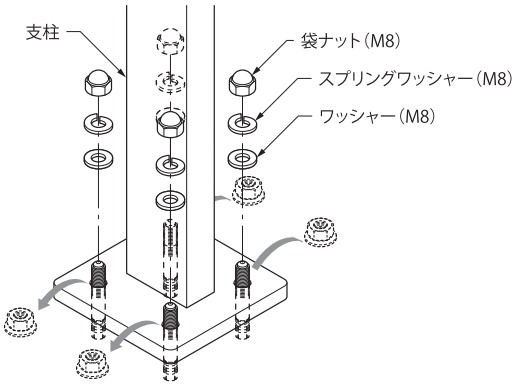
②取付け部4ヶ所の指定位置に、振動ドリルで穴（Φ8.5、深さ40mm）をあけ、孔内の切粉を除去します。

③本体を置き、アンカーを挿入します。芯棒が本体の頭部に接するまでハンマーを用いて打込みます。



④スパナ等でナットを締め付けた後、ナットを取り外し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順で取付けます。



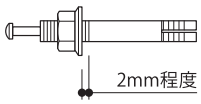


● 壁面ベースプレートの場合

⚠ ご注意

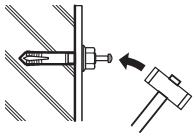
●アンカーを境界面から50mm以上離して設置して**下さい。**
●コンクリートブロック、レンガ等への設置はお避け**下さい。**

①オールアンカーのナット部分を、完全に締め込む手前（ねじ部が2mm程度残るくらい）までまわして**下さい。**

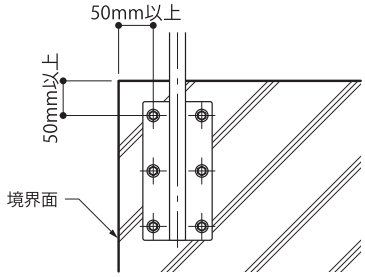


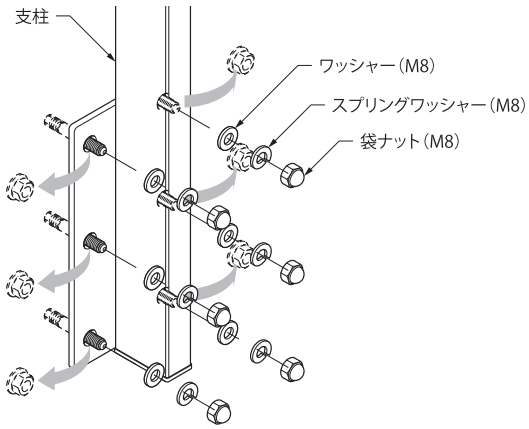
②取付け部6ヶ所の指定位置に、振動ドリルで穴（Φ8.5、深さ40mm）をあけ、孔内の切粉を除去します。

③本体を置き、アンカーを挿入します。芯棒が本体の頭部に接するまでハンマーを用いて打込みます。

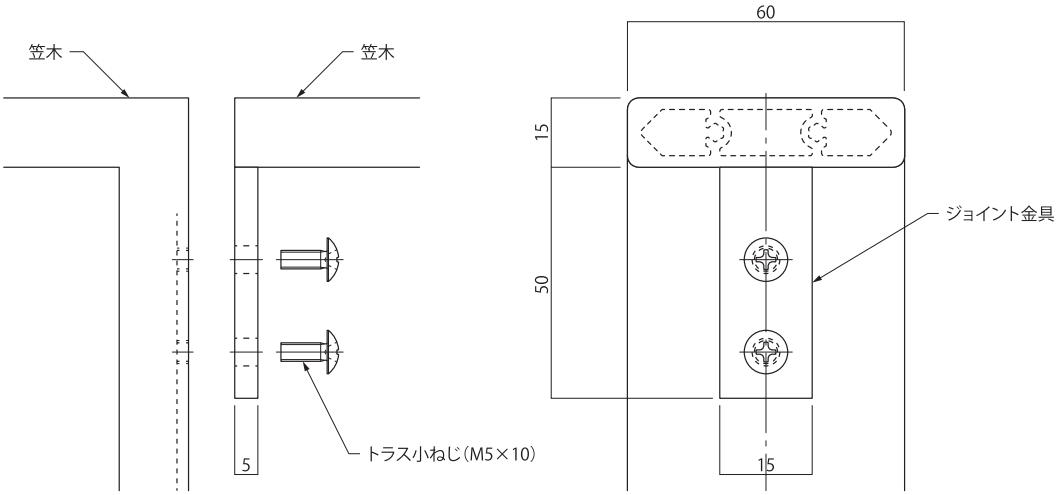


④スパナ等でナットを締め付けた後、ナットを取り外し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順で取付けます。





● ジョイントの場合



⚠ ご注意

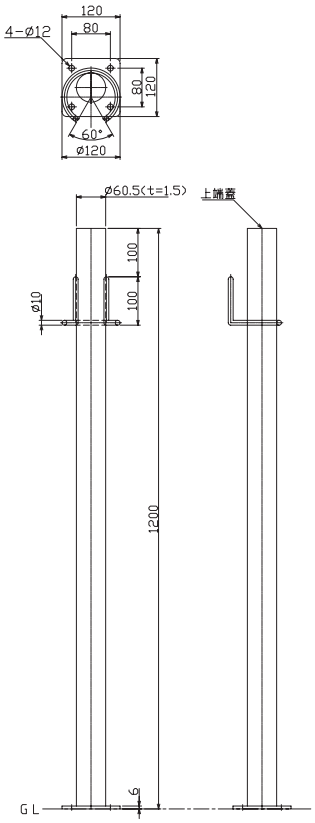
●タイプ及び施工現場の状況により寸法、形状等変わる場合があります。

ドッグポール

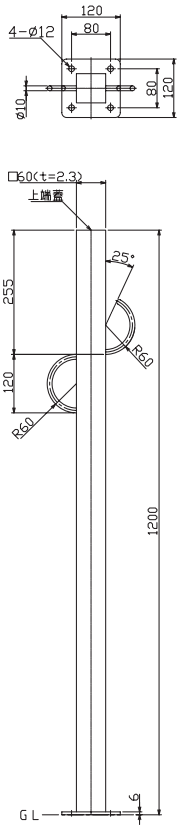
寸法図

【ドッグポール】

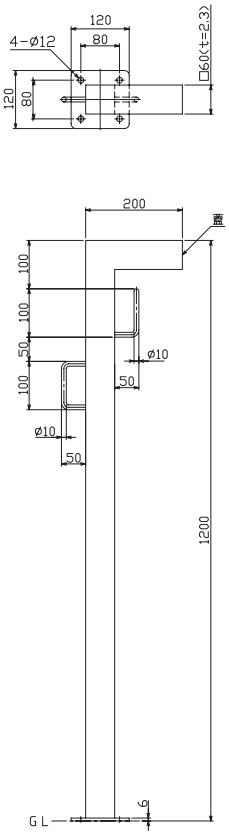
Aタイプ



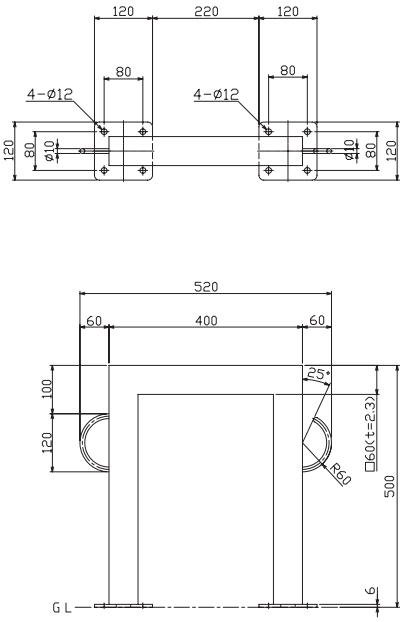
Bタイプ



Cタイプ



Dタイプ



ガーデン

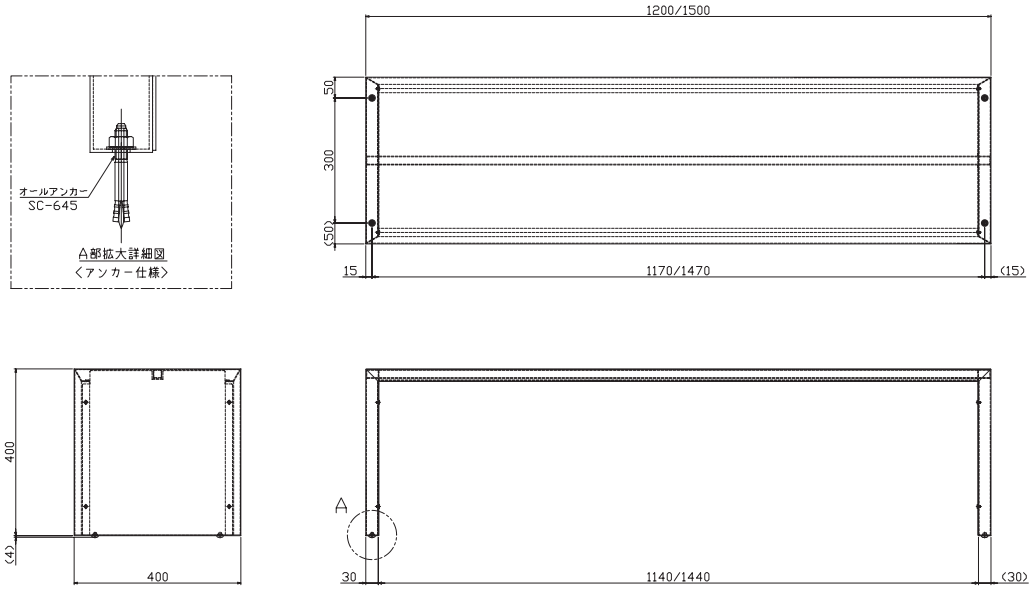
モダンベンチ

寸法図

【モダンベンチ1型】

W1200
W1500

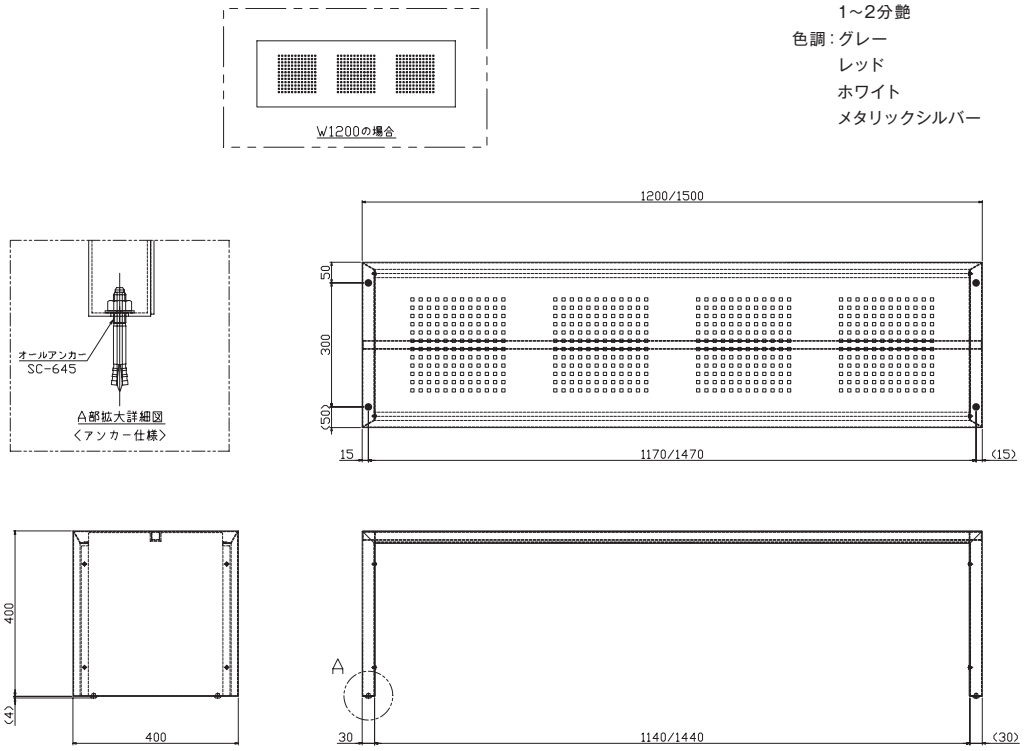
材質：SGCC t1.6
STKMR 28×28×t1.6
処理：焼付塗装　膜厚50μm以上　1～2分艶
色調：グレー
レッド
ホワイト
メタリックシルバー



【モダンベンチ2型】

W1200
W1500

材質：SGCC t1.6
STKMR 28×28×t1.6
処理：焼付塗装　膜厚50μm以上
1～2分艶
色調：グレー
レッド
ホワイト
メタリックシルバー



ガーデン

スリットフェンス

施工要領　寸法図

【1型・2型】

1 本体裏のねじ穴に寸切りボルトを差込みます。

2 本体取付け部の指定位置で、壁（RCの場合）に振動ドリルで穴（φ6、深さ50mm以上）をあけ、コンクリートボンド（市販品）を注入し、本体を差込み固定します。

※取付け面の素材が異なりますと取り付け方法も変わりますのでご注意下さい。

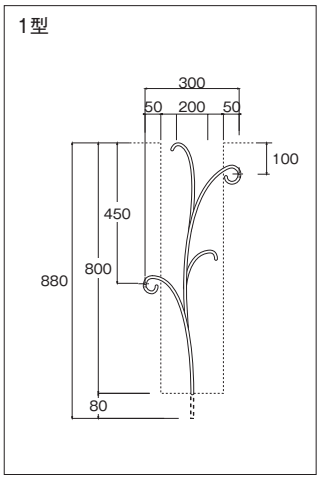
1型

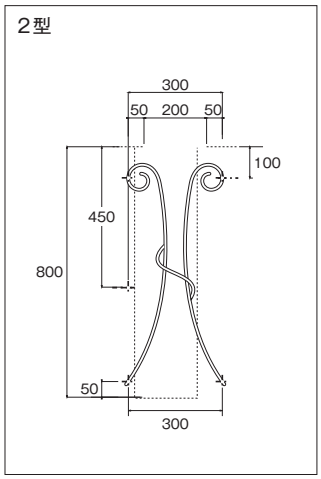
同梱部品	数量	単位
寸切りボルト(M4×50)	2	本

2型

同梱部品	数量	単位
寸切りボルト(M4×50)	4	本

■寸法図





【3型】

1 本体裏のねじ穴に寸切りボルトを差し込みます。

2 本体取付け部の指定位置で、壁（RCの場合）に振動ドリルで穴（φ6、深さ50mm以上）をあけます。

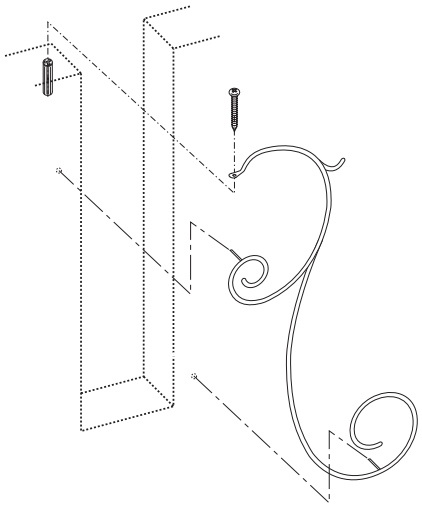
3 上部取付け部は穴（φ6、深さ40mm以上）をあけ、プラグを差込みハンマーで打ち込みます。

4 取付け穴に、コンクリートボンド（市販品）を注入し、本体を差し込み固定します。

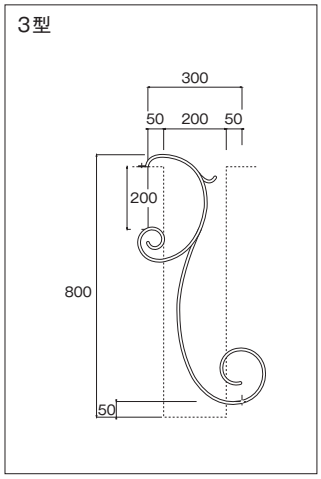
5 上部取付け部をタッピングねじで固定します。

※取り付け面の素材が異なりますと取り付け方法も変わりますのでご注意下さい。

同梱部品	数量	単位
寸切りボルト(M4×50)	2	セット
トラス頭タッピングネジ(M4×30)	1	本
プラグ(6×32)	1	本

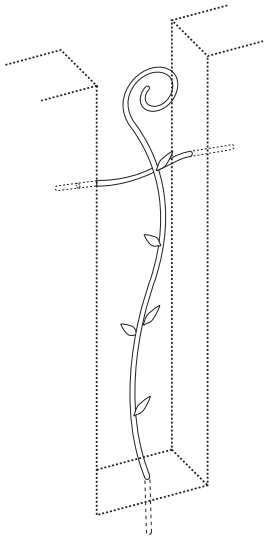


■寸法図

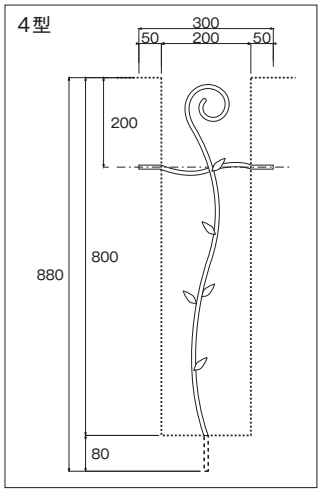


【4型】

1 本体の固定
本体をコンクリートモルタルで固定します。



■寸法図



ガーデン

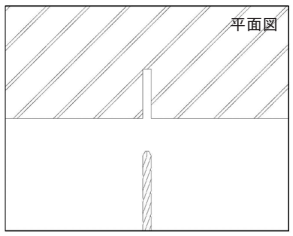
グリーンパネル／ステナ

施工要領　施工断面図　寸法図

【グリーンパネルの施工要領】

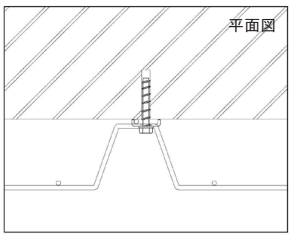
① 取り付け位置の確認、下穴開け加工

※グリーンパネルの取り付け位置を決めます。必要に応じて印をつけます。
※RC塀やALC壁、コンクリートブロック塀に深さ30～35mmの下穴開け加工を行います。下穴開けに使用するドリルは直径6mmを推奨します。

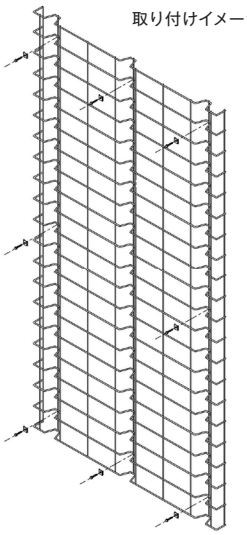


② 固定部材による取り付け

※固定金具とハイタップアンカーを使い固定します。ソケットのサイズは8mmを使用します。

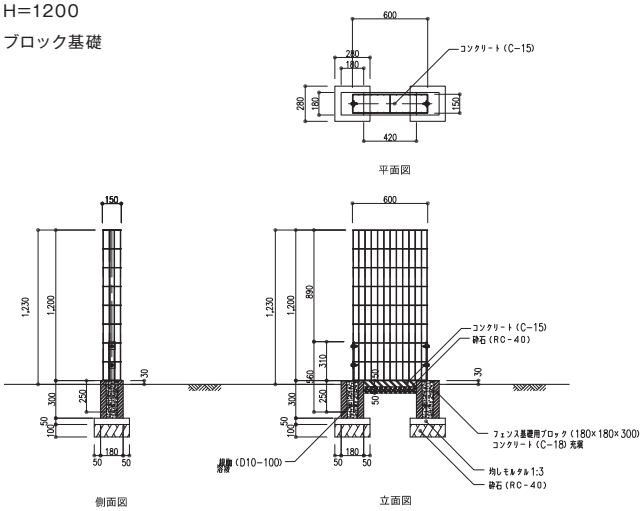


取り付けイメージ

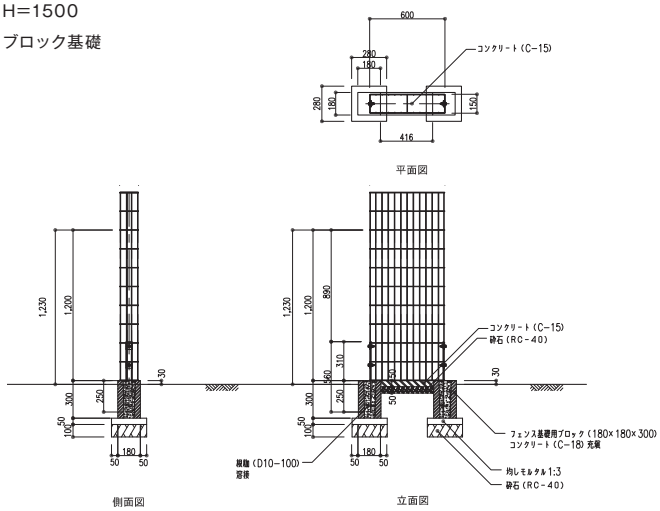


【ステナフラットバー緑化用の施工断面図】

FB支柱タイプ　砕石なし
H=1200
ブロック基礎



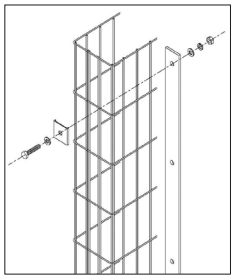
FB支柱タイプ　砕石なし
H=1500
ブロック基礎



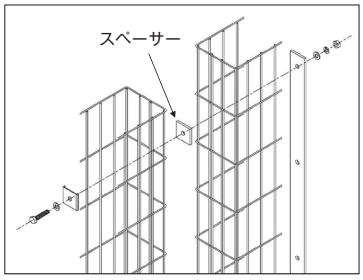
【ステナの施工要領】

ステナ本体とステナフラットバー・Lアングルの組み立て

※H1200タイプ・H1500タイプ共に埋め込み部250mmが下から出る位置でフラットバーを固定します。H1800タイプも同様にLアングルを固定します。フラットバー・Lアングルと座金でメッシュフレームを挟み込む様に組み立てます。
※連結設置中間部は隣接するメッシュの食い込みを防ぐため、スペーサーをメッシュフレームの間に使用します。
※石材を投入せず緑化フェンスとしてご使用する際は、H1200タイプ・H1500タイプ・H1800タイプ共に緑化用フラットバーをご使用下さい。



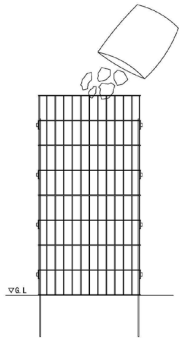
単独設置、連結設置 端部の場合



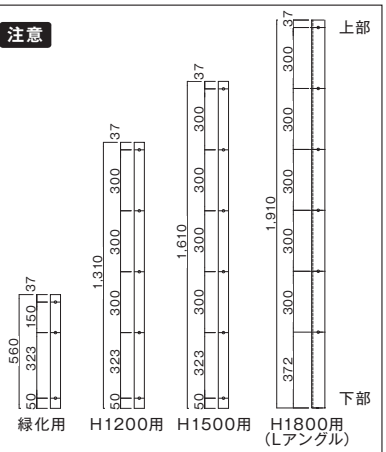
連結設置 中間部の場合

本体の取り付けと石材の投入

※フラットバーの埋め込み部を基礎へ固定します。養生したのち石材を投入し完成となります。



注意



フラットバー・Lアングルは上下があり、端の穴位置が上下で異なります。組み立ての際はご注意下さい。

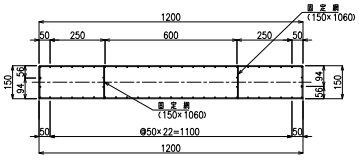
ガーデン

ステナ

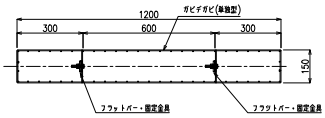
【ステナの施工断面図】

H=1200タイプ
フラットバー仕様

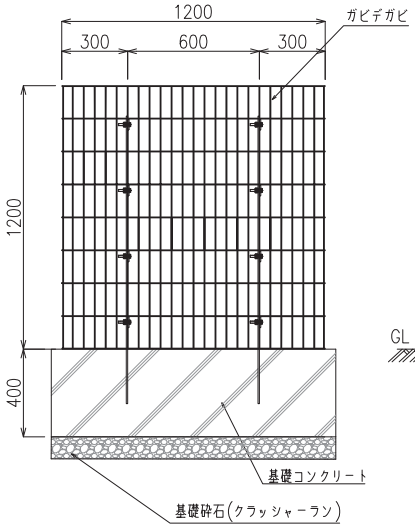
平面図



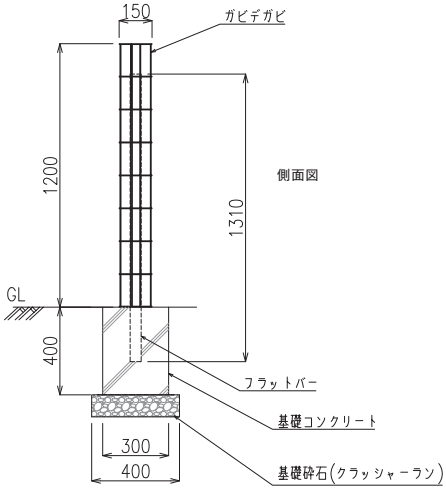
固定金具設置
平面図



正面図

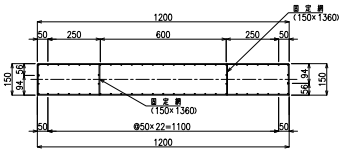


側面図

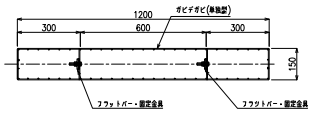


H=1500タイプ
フラットバー仕様

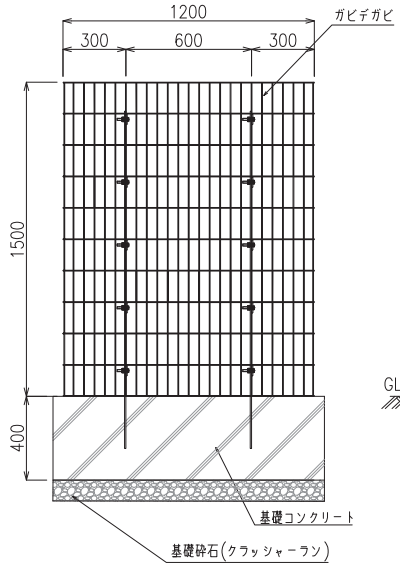
平面図



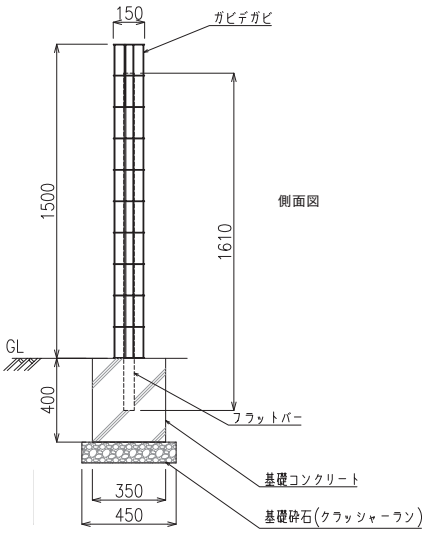
固定金具設置
平面図



正面図

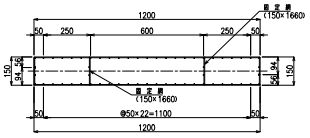


側面図

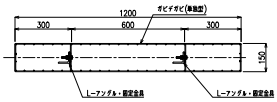


H=1800タイプ
Lアングル仕様

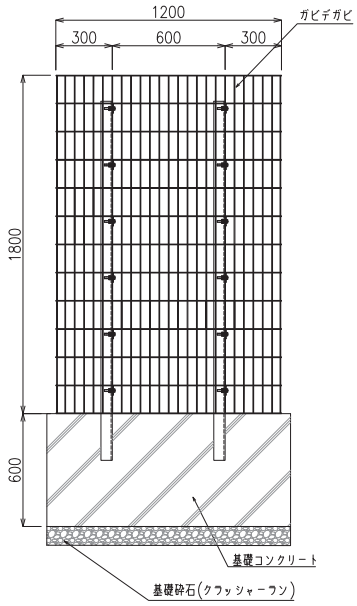
平面図



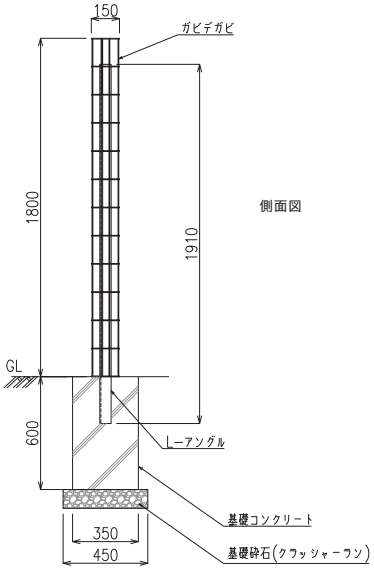
固定金具設置
平面図



正面図

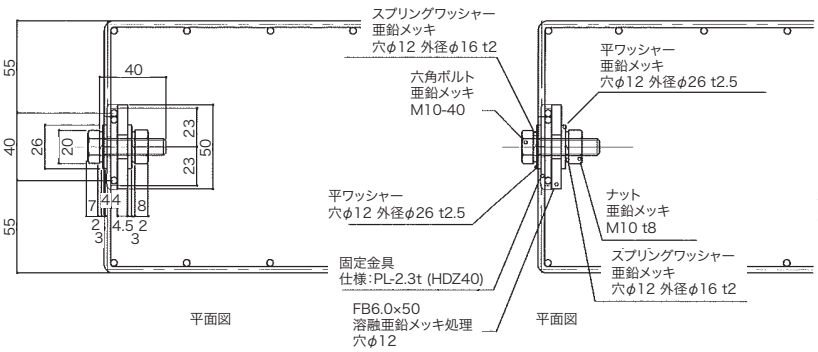


側面図



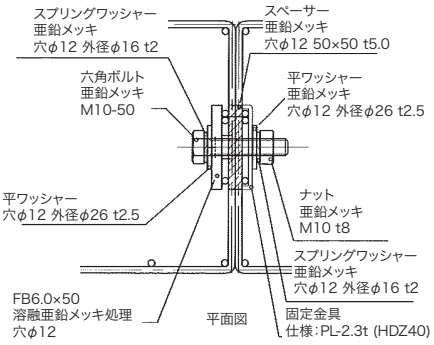
フラットバー仕様
端部・連結部

端部詳細図

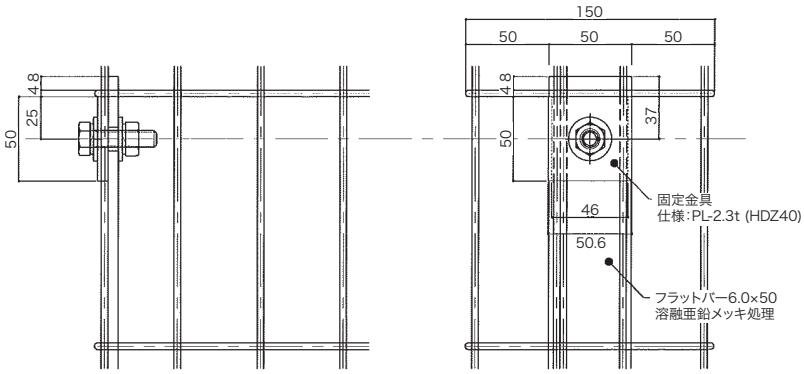


平面図　平面図

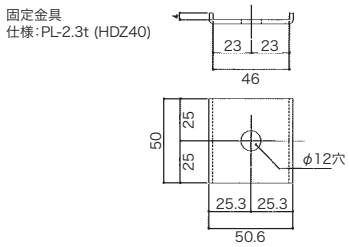
連結部詳細図



平面図

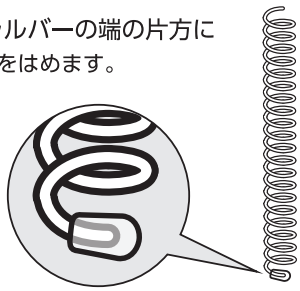


正面図　側面図

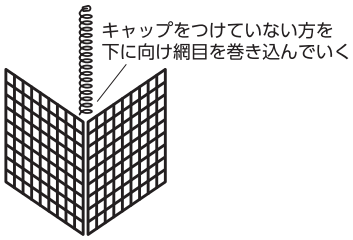


[組み立て方] 底面にパネルを使用して施工する場合

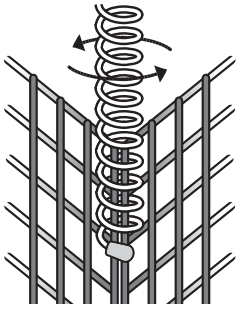
① スパイラルバーの端の片方に
キャップをはめます。



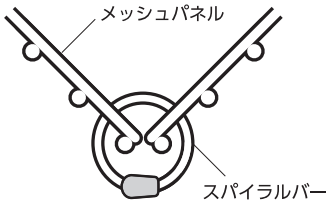
② 側面になるメッシュパネル2枚の端を合わせ、
立ち上げて持ちます。



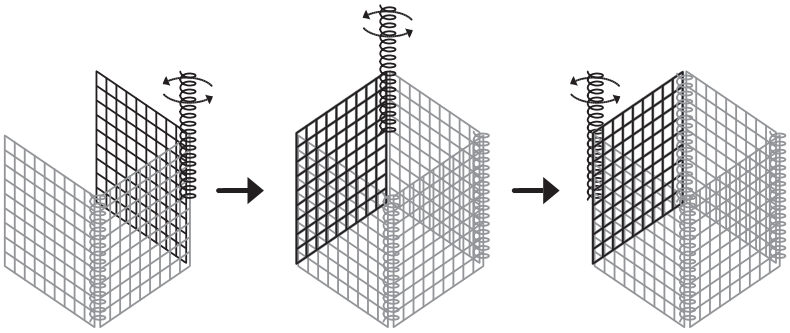
③ 合わさる辺のメッシュパネルの上にスパイラルバーを立てて持ち
スパイラルバーを回転させながら、パネル2枚の網目を巻き込み進めます。
最後まで巻き込み作業が終わったらスパイラルバーの先にキャップを被せておきます。



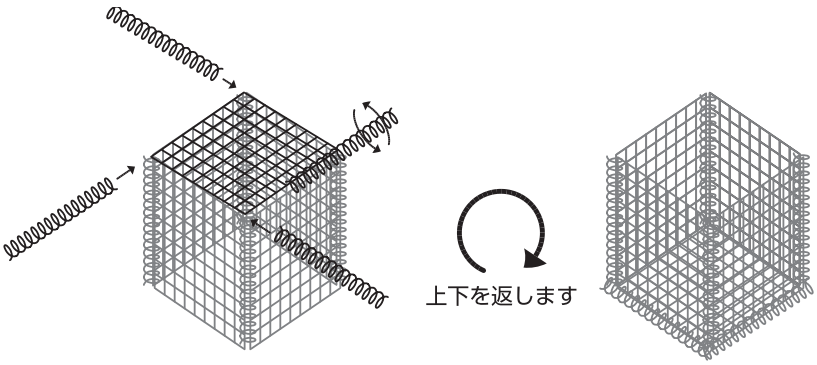
仕上がりを上から見た図



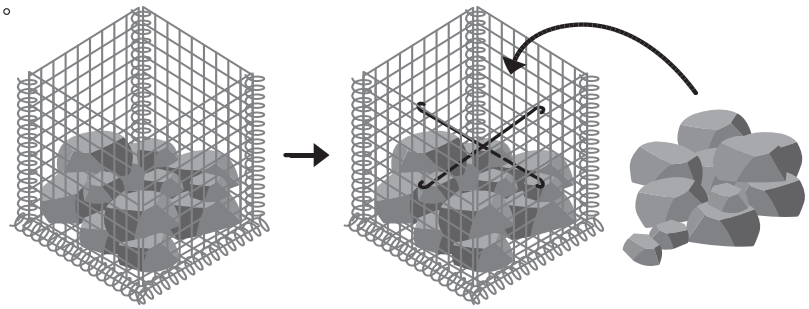
④ ③の要領で側面のメッシュパネル4枚をスパイラルバーで連結します。
底面のメッシュパネルを使わない場合は設置場所に置いて⑥の充填作業へ。



⑤ 底になるメッシュパネルを④の上に置き、側面パネルと合わさる4辺すべてを
スパイラルバーで連結して、ひっくり返して設置場所に置きます。

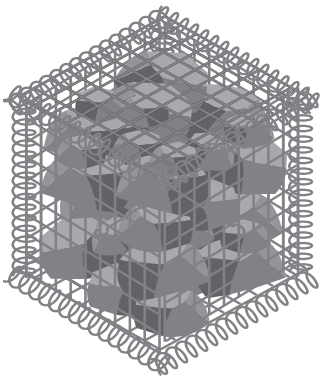


⑥ 石などの内容物を半分ほど充填します。
たわみ防止のためのテンショナーを向き合う面の網目に引っ掛けセットします。
残りの充填を行います。



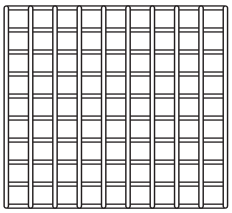
※内容物の最小サイズは直径50mm以上必要です
※テンショナーの長さは、ペンチ等で引っ掛けの曲げ位置を調整してお使いください。

⑦ 充填が終わったら上面になるメッシュパネルをかぶせ、
側面メッシュパネルとの4辺を
スパイラルバーで連結して完成です。



パッケージ内容と名称

メッシュパネル
サイズは下記の表をお確かめください



×6枚

スパイラルバー
(接続金具)

×12本

テンショナー(たわみ防止金具)

×2～8本
本数はサイズごとに違います
下記の表でお確かめください

スパイラルバーキャップ

×24個+予備

サイズ表

製品サイズ(仕上がるサイズ) どの方向でも使えます	テンショナーの長さ別本数				テンショナー合計本数
	300㎜	450㎜	900㎜	1200㎜	
450×450×450㎜	—	2本	—	—	2本
900×450×300㎜	2本	2本	2本	—	6本
900×450×450㎜	—	2本	2本	—	4本
1200×300×900㎜	4本	—	2本	2本	8本

製品仕様

材　質
スチール5mm径
300g/㎡ドブ漬亜鉛メッキ

組立
パネル式+スパイラルバー

メッシュサイズ
50mm×50mm

⚠ ◎スパイラルバーの先端が尖っていますので、保護具(軍手など)着用のうえ作業を進めてください。
◎組み立て作業は二人以上が効率よく安全です。

《設置場所について》

倒れやすい傾斜地や軟弱で不安定な場所は避け、設置場所は施工前に、サイズにあわせて平らに均し、必要であれば、基礎を打ち、アンカーを使用するなど、カビオーネが倒れないように施工してください。石など充填後にカビオーネの移動はできません。お気をつけください。